

令和2年度第1回

さいたま市地域包括支援センター

運営協議会資料

## 一 目 次

さいたま市地域包括支援センター運営協議会設置要綱……………	1
さいたま市地域包括支援センター運営協議会及びさいたま市区地域包括支援センター連絡会会議運営要領……………	4
さいたま市地域包括支援センター運営協議会委員名簿……………	6

### 【議題（１）】

令和２年度第１回さいたま市区地域包括支援センター連絡会について……………	8
--------------------------------------	---

### 【議題（２）】

介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成について……………	52
-------------------------------	----

### 【報告（１）】

令和２年度さいたま市地域包括支援センター運営方針について……………	56
-----------------------------------	----

### 【報告（２）】

令和元年度さいたま市地域包括支援センター運営状況について……………	64
-----------------------------------	----

令和元年度さいたま市地域包括支援センター介護者サロン実施一覧について……………	74
---	----

令和元年度さいたま市地域包括支援センター決算状況について……………	82
-----------------------------------	----

令和元年度さいたま市地域包括支援センター業務評価について……………	86
-----------------------------------	----

令和元年度在宅介護支援センター実績報告及び自己評価表について  
..... 104

令和2年度さいたま市地域包括支援センター予算状況について  
..... 108

令和2年度さいたま市地域包括支援センター事業計画書について  
..... 112

【報告(3)】

一般介護予防事業について ..... 224

【報告(4)】

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について  
..... 230

## さいたま市地域包括支援センター運営協議会設置要綱

### (設置)

第1条 さいたま市内の地域包括支援センターの中立公正な事業運営を確保するため、さいたま市地域包括支援センター運営協議会(以下「運営協議会」という。)を設置する。

### (委員)

第2条 運営協議会は、保健・医療・福祉関係者によって構成され次の各項に掲げる者の中から選出する。

- 2 運営協議会の委員は25人以内とし、介護保険サービスの事業者、医師及び職能団体の関係者、利用者・被保険者、介護保険以外の地域資源や地域における権利擁護・相談事業を担う関係者、学識経験者及びセンターの中立性・公正性を確保する観点から必要と認められる者によって構成する。
- 3 運営協議会の委員は市長が委嘱する。委員の任期は3年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 前項の規定にかかわらず本要綱施行後の最初の委員の任期は、委嘱の日から平成21年3月31日までとする。

### (会長及び副会長)

第3条 運営協議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選により選出する。

- 2 会長は、会議を総括し、運営協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第4条 運営協議会の会議は、必要に応じて会長が招集し、その議長となる。ただし、会長が選出されていないときは、市長が会議を招集する。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、運営協議会に関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。
- 3 会議は公開とする。ただし、必要があると認めるときは、委員の過半数の同意により会議を非公開とすることができる。

(協議事項)

第5条 運営協議会は、地域包括支援センターに関する次に掲げる事項を協議する。

(1) 設置（選定・変更）に関する事項

(2) 運営・評価に関する事項

(3) 職員の確保に関する事項

(4) さいたま市区地域包括支援センター連絡会に関する事項

(5) その他地域ケア及び市全域において調整を必要とする事項

(謝金の額)

第6条 委員が会議等に出席したときは、謝金として1日につき、別表に定める額を支給する。

(事務局)

第7条 運営協議会の事務局は、保健福祉局長寿応援部内運営協議会担当所管課に置く。

(区連絡会)

第8条 各区にさいたま市区地域包括支援センター連絡会（以下「区連絡会」という。）を置く。

2 区連絡会の運営に関する事項は、さいたま市区地域包括支援センター連絡会運営要領（平成18年保福介事要領第1号）において定める。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年6月1日から施行し、平成24年4月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年11月1日から施行する。

別表（第6条関係）

区 分	支 給 額
会 長	8 , 8 0 0 円
会長以外の委員	8 , 2 0 0 円

さいたま市地域包括支援センター運営協議会及びさいたま市区地域包括  
支援センター連絡会会議運営要領

平成 18 年 4 月 1 日保福介事要領第 2 号

(趣旨)

第 1 条 この要領は、さいたま市地域包括支援センター運営協議会及びさいたま市区地域包括支援センター連絡会（以下「協議会及び連絡会」という。）の会議の運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(会議録)

第 2 条 会議の会議録を作成しなければならない。

(会議の公開)

第 3 条 会議は公開とする。ただし、必要があると認めるときは、協議会及び連絡会委員の過半数の同意により会議を非公開とすることができる。

(傍聴の許可)

第 4 条 会議を傍聴しようとするものは、開会前までに、自己の住所、氏名その他会長及び委員長が必要と認める事項を告げて、会長及び委員長の許可を受けなければならない。

2 傍聴人の人数は、傍聴席の状況により、会長及び委員長が定める。

3 傍聴席の許可は、先着順に行うものとする。

(傍聴できない者)

第 5 条 次の各号のいずれかに該当する者は、傍聴することができない。

(1) 酒気を帯びていると認められる者

(2) 会議の妨害となると認められる器物を携帯している者

(3) 前各号に掲げるもののほか、会長及び委員長が傍聴を不相当と認める者

(禁止行為)

第 6 条 傍聴人は、次に掲げる行為をしてはならない。

(1) みだりに傍聴席を離れること。

(2) 私語、談話又は拍手等を行うこと。

(3) 議事に批評を加え、又は賛否を表明すること。

(4) 飲食又は喫煙すること。

(5) 許可なく録音機、写真機、撮影機その他これらに類するものを持ち込み、使用すること。

(6) 前各号に掲げるもののほか、会議の妨害となるような挙動をすること。

(退場)

第 7 条 傍聴人は、会長及び委員長が傍聴を禁じたとき又は傍聴人の退場を命じたときは、速やかに退場しなければならない。

(指示)

第8条 この要領に定めるもののほか、傍聴人は、会長及び委員長の指示に従わなければならない。

附 則

この要領は、平成18年4月1日から施行する。



さいたま市地域包括支援センター運営協議会委員名簿

役職	委員氏名	フリガナ	所属団体等	役職等
会長	藤谷 克己	フジタニ カツミ	文京学院大学大学院保健医療研究科	教授
副会長	保坂 由枝	ホサカ ヨシエ	さいたま市介護支援専門員協会	研修・ネットワーク委員会 副委員長
	天野 政則	アマノ マサノリ	さいたま市民生委員児童委員協議会	理事
	新井 茂	アライ シゲル	公募委員	
	伊藤 美佐子	イトウ ミサコ	埼玉県看護協会	
	大熊 克信	オオクマ カツノブ	埼玉県理学療法士会	地域包括ケア推進部員
	岡 邦雄	オカ クニオ	さいたま市薬剤師会	常務理事
	岡村 信子	オカムラ ノブコ	認定NPO法人ケア・ハンズ	理事
	小椋 恭子	オグラ キョウコ	さいたま市社会福祉協議会	第1層地域支え合い推進員
	新藤 享弘	シンドウ タカヒロ	さいたま市老人クラブ連合会	副会長
	杉田 裕司	スギタ ヒロシ	さいたま市老人福祉施設協議会	
	高柳 敏代	タカヤナギ トシヨ	公募委員	
	田中 悠美子	タナカ ユミコ	立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科	助教
	月岡 朗	ツキオカ アキラ	埼玉弁護士会	
	角田 丈治	ツノダ ジョウジ	さいたま市歯科医師会	
	長塩 礼子	ナガシオ レイコ	埼玉県社会福祉士会	
	西間木 幹子	ニシマキ ミキコ	さいたま市社会福祉協議会	浦和区事務所 所長
	伴 茂之	バン シゲユキ	さいたま市4医師会連絡協議会(浦和医師会)	浦和医師会 理事
	藤高 祥子	フジタカ ショウコ	認知症のひと家族の会	世話人
	三次 宣夫	ミツギ ノブオ	さいたま市自治会連合会	副会長
	山本 光彦	ヤマモト ミツヒコ	埼玉県柔道整復師会	常務理事 学術部長

※敬称略

空白のページ

令和2年度第1回  
さいたま市区地域包括支援センター  
連絡会について

令和2年度 第1回 西区地域包括支援センター連絡会  
報告書

開催日時	令和2年6月5日（金）	
開催場所	*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面のやり取りによる会議を行った。	
出席者 (敬称略)	委員（全13名）：出席13名	
	西区自治会連合会治会	木下 國臣<副委員長>
	西区民生委員・児童委員協議会 兼 西区南部圏域地域支援会議	久保木 央
	大宮医師会	湯澤 俊<委員長>
	大宮歯科医師会	湯澤 眞
	西区老人クラブ連合会	清宮 健夫
	地区社会福祉協議会	岡田 悟
	さいたま市老人福祉施設協議会	吉眞 功人
	西区北部圏域地域支援会議	茂木 敬子
	さいたま市介護支援専門員協会	宮本 好彦
	指扇公民館	芳賀 善久
	西区北部圏域地域包括支援センター三恵苑	最上 尚人
	西区南部圏域地域包括支援センターくるみ	長谷川 道子
	認知症の人と家族の会埼玉県支部	牛丸 尚剛
その他：出席3名	西区北部地域包括支援センター地域支え合い推進員	石塚 利夫
	西区南部地域包括支援センター地域支え合い推進員	森谷 千賀子
	さいたま市社会福祉協議会西区事務所	神原 丘幸
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度 事業実績について</li> <li>2 令和2年度 事業計画について</li> <li>3 地域支え合い推進員の活動報告について</li> <li>4 その他</li> <li>5 報告事項 令和元年度第2回さいたま市地域包括支援センター運営協議会について</li> </ol>	

## 令和2年度 第1回 西区地域包括支援センター連絡会 報告書

要旨	<p>1 令和元年度 事業実績について</p> <p>○両包括より、令和元年度の事業実績、権利擁護実績、サロン実施状況、地域支援会議実施状況、地域課題等について報告。</p> <p>三恵苑：地域支援会議の中で、認知症カフェに認知証の方の参加が少ない、介護者の介護者サロンへの参加を増やすにはどうすればいいか、成年後見制度の相談について需要はあると思うが周知されていないとの意見があった。地域活動、介護者サロン共に2月末から新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、活動を自粛し、回数が減少している。継続見守り支援については、対象人数は増加しているが、相談を受け付けてもサービスにつながらないケースが増えており、その結果、見守りにて対応するため増加している。関係機関との連携では、医療機関との連携はほぼ変わりはないが、その他の機関との連携は減少している。これは、包括に地域支え合い推進委員が配置され、民生委員や、地区社協との連携を推進委員が行なうことが増えたため減少していると思われる。</p> <p>くるみ：介護者サロンは、既存の自治会サロン等に出張する形態を増やして、地域の方が参加しやすいようにした。内容も福祉用具の展示や宅配弁当の試食、施設見学など体験型にすることで、多くの方に関心を持って参加いただいた。</p> <p>権利擁護については、同居家族による身体的虐待や金銭搾取などの経済的虐待、介護放棄やゴミ屋敷のような劣悪な住環境などの支援困難ケース対応が目立った。行政をはじめ保健所、福祉課など関係機関と連携して支援してる。</p> <p>また、直接の被害には及ばなかったものの、消費者被害関連の相談や情報提供も増えており、消費生活センターや警察と連携して地域への注意喚起を行っている。</p> <p>認知症の方への成年後見制度の相談や首長申立て支援も増えてる。身寄りの無い方やキーパーソンのいない方がほとんどなので、制度の説明から専門医への受診支援、行政とのやり取りなどの支援を行っている。</p> <p>地域課題については、認知症の親と同居している子が無職で中高年のケース（8050問題）が目立ってきた。親への支援とともに、子の受診や就労、生活保護申請の支援などもしていくことから、保健センターや福祉課など多機関との連携が必要になっている。</p> <p>要支援認定者の家事を支援してくれる介護保険のヘルパーサービス事業所が少なくなっており、調整が困難になってきている。住民主体の生活支援サービスもまだほとんど立ち上がっていない状況である。</p> <p>昨年の台風19号の避難状況から、災害時に備えた支援を考える必要がある。</p> <p>新型コロナウイルスの影響から外出や地域活動を自粛することで、高齢者のフレイルの進行が心配される。</p> <p>○意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地域については、高齢者虐待、困難事例の件数が相変わらず多い。「困った困った」を関係者で共有するだけでなく、法制度や仕組みについて提言できないか。</li> </ul>
----	---

## 令和2年度 第1回 西区地域包括支援センター連絡会 報告書

- ・今後、老人夫婦、独居老人が増々増加すると考えられる。地域包括支援センターに於いても夫々趣向をこらし、相談業務、地域ネットワーク等、数多く活動されていること、年々件数が増加しており、また、難問も多くなっており、心より感謝している。今年度は新型コロナの問題で大変なことになると思われる。2次、3次感染も心配している。会場設営についても考えておられると思う。

### 2 令和2年度 事業計画について

○両包括より、令和2年度の重点取組事項について説明。

三恵苑：成年後見制度があまり周知されていないので、周知していきたい。認知症を起因とする近所の人との関係悪化が増えているので、認知症サポーター養成講座の実施をしていきたい。

くるみ：権利擁護への支援や、高齢化地域への支援を地域の関係者や関係機関と情報交換の場を作り、進めていく。地域支え合い推進員としては、自主グループの活動支援や、家事支援を地域住民の活動に結びつけていきたい。また認知症の人やその家族の心身・経済的負担を軽減できるよう、社会資源や制度の情報提供をしていきたい。

○意見等

- ・8050問題が喫緊の課題だと思う。親にではなく子どもサイドへのアプローチについて広い分野から叡智を集めてはいかがか。
- ・西大宮駅近くの人口流入、増加は顕著である。当地域では民生委員のなり手もないと聞いている。高齢者より現役世代人口のほうが多数なのは想像に易いところ。集いの場の立ち上げや協力者の保護にはシニアサポートセンターより役所の関わりが必要と思う。
- ・高齢化率は下がっても高齢者は増加し、要介護者も伴って増加すると考える。三恵苑、くるみ様共に種々の講座、会合等計画されており、大変良いことだと思う。ただ今年度は初頭よりコロナウイルスの関係で一同に多数集まることはできず、会場設営にあたって大変苦勞されていると思う。高齢者夫婦、独居老人も多く計画されておられる各種団体との横の連絡も計画されている様大切と思う。

令和2年度 第1回 西区地域包括支援センター連絡会  
報告書

<p>3 地域支え合い推進員の活動報告について</p>
<p>○両包括の地域支え合い推進員より、令和元年度における活動について報告。</p>
<p>三恵苑：社会資源の発掘及び活用、協議体と連携してサロン活動の充実化、世代間交流事業の3つを念頭において活動した。グループの自主運営化が進んできて、包括は支援に回る体制が多くなってきた。</p>
<p>くるみ：グループ交流会や地域福祉研修会を開催し、意見交換をした。地域福祉研修会では住民主体の移動サービスについて日高市武蔵台お助け隊の方から活動報告をして頂いた。加茂川団地自治会のサロンに見守り活動連絡会を発足。見守り活動を広げていく。</p>
<p>○意見等</p>
<p>・良く頑張ってく頂き、感謝している。自治会ごとに温度差があり、あまり急がず進めて頂きたい。</p>
<p>・「いきいき活動リスト」を見ると、その数とバラエティに富んだ内容に感心する。そこに参加する“最初の一歩”について働きかけと工夫に期待する。団塊世代ならず80歳代でもインターネットを使用している人が増えているように感じる。このコロナ禍に便乗し、オンラインでの広報や参加（入口）契機づくりはいかかであろうか。</p>
<p>・最近はいち自治体に於いてサロンや自主グループに於いて頭の体操、また体を動かす体操最高である。社会資源を見つけ、つなげていく。多くの人と顔合わせ、会話が老化防止にもなる。</p>
<p>4 その他</p>
<p>○一般介護予防事業の令和元年度実施状況と令和2年度の実施予定、及び新型コロナウイルス感染防止による中止状況について事務局から報告。</p>
<p>○意見等</p>
<p>・コロナ禍の続く中で三蜜を避けるため、より小規模な事業展開が求められると思う。場所、リーダーの選定にご苦労されると思うが、よろしく願いたい。</p>
<p>・三恵苑、くるみ両支援センター共に、各自治体、各種団体また、各グループ等、積極的に支援交流は最高の予防事業と思う。西区にはグラウンドゴルフコース、健康福祉センター西楽園等介護予防の施設が多い。</p>
<p>5 報告事項 令和元年度第2回さいたま市地域包括支援センター運営協議会について</p>
<p>事務局から報告</p>
<p>○意見等</p>
<p>・免許証を返納した高齢者が外出しなくなり、タクシーを利用して外出する事もない。タクシーを使わないことの詳細を調査し、利用促進策としての市の施策が検討できないものか。</p>

令和2年度 第1回 北区地域包括支援センター連絡会  
報告書

開催日時	令和2年6月8日(月)～6月15日(月)	
開催場所	*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面のやり取りによる会議を行った。	
出席者 (敬称略)	委員(全13名):出席13名 <span style="float:right">敬称略、五十音順</span>	
	さいたま市北区老人クラブ連合会	内堀 寛
	さいたま市歯科医師会	大木 忠明
	さいたま市シルバー人材センター	佐藤 まゆみ
	さいたま市北区民生委員児童委員協議会	島田 壽子
	さいたま市北区宮原地区社会福祉協議会	嶋村 茂 <副委員長>
	さいたま市北区自治会連合会	嶋村 豊
	さいたま市老人福祉施設協議会	高橋 一広
	さいたま市介護支援専門員協会	中村 圭佑
	認知症の人と家族の会埼玉県支部	藤高 祥子
	大宮医師会	松本 雅彦 <委員長>
	北区北部地域包括支援センター緑水苑	荒瀬 裕一
	北区東部地域包括支援センター諏訪の苑	永松 幸子
	北区西部地域包括支援センターゆめの園	藤川 裕史
	その他:出席3名	
北区北部圏域地域支え合い推進員	山本 能理子	
北区東部圏域地域支え合い推進員	駒崎 恵美子	
北区西部圏域地域支え合い推進員	渡邊 真一	
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度第2回地域包括支援センター運営協議会について</li> <li>2 令和元年度活動報告について</li> <li>3 権利擁護事業実績について</li> <li>4 令和元年度業務評価について</li> <li>5 予算・決算等について</li> <li>6 令和2年度地域包括支援センター事業計画について</li> </ol>	



令和2年度 第1回 北区地域包括支援センター連絡会  
報告書

要旨	<p>1 令和元年度第2回地域包括支援センター運営協議会について</p> <hr/> <p>令和元年度第2回地域包括支援センター運営協議会の議事内容について報告。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・意見等 特になし</li></ul>
	<p>2 令和元年度活動報告について</p> <hr/> <p>5年間の月次報告書の数値をまとめ、各数値の傾向について報告。 令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために縮小・中止している事業があり、各数値にその影響が出ていることを説明。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・意見等 継続見守り支援の訪問連絡回数の減少理由も新型コロナウイルス感染症の影響か。</li></ul>
	<p>3 権利擁護事業実績について</p> <hr/> <p>権利擁護事業の実績を報告。 地域包括支援センターから、困難事例については会議等で支援方法について検討をしても解決の道筋が見えないものが目立ったとの意見があったことを報告。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・意見等 地域によって相談内容や件数に違いがあるが、(高齢者虐待が多い地域や成年後見制度の相談の多い地域など) 地域環境にもよるのか。</li></ul>

令和2年度 第1回 北区地域包括支援センター連絡会  
報告書

4 令和元年度業務評価について
<p>全国平均とさいたま市平均のレーダーチャートを用いて、業績評価の結果報告及び数値について説明。</p> <p>平成30年度に課題となっていた「個人情報の持出時の管理簿における管理」については、改善されていることを報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見等 全国やさいたま市の平均と比べても北区の地域包括支援センターの評価は良好であり、今後もより一層の向上をお願いしたい。</li> </ul>
5 予算・決算等について
<p>令和元年度の収支決算書、令和2年収支予算書を包括毎にお示しし、令和元年度の収支管理は適正であることを報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見等 特になし</li> </ul>
6 令和2年度地域包括支援センター事業計画について
<p>各地域包括支援センターの事業計画書をお示しした。</p> <p><b>【重点目標要旨】</b></p> <p>北部圏域：地域のケアマネジャーを対象にした勉強会等を実施。またケースについての相談ができるツールの構築。 圏域内各所に体操・運動クラブを発足させる。</p> <p>東部圏域：新しい活動の立ち上げ及び立ち上げから2年目以降の地域活動を参加者が主体となって運営できる活動にしていく。活動の担い手となる人材の発掘、育成に取り組む。 自立支援、介護予防のためのケアマネジメント力の向上に取り組む。</p> <p>西部圏域：活動が少ない地域に通いの場を作る。 認知症になっても住み慣れた地域で生活を続けられるように地域でサポートする体制をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見等 新型コロナウイルス感染症の影響も考慮し取り組んでいただきたい。</li> </ul>

令和2年度 第1回 北区地域包括支援センター連絡会  
報告書

	<p>7 その他</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 大変な仕事で、市内には人員確保に苦勞されている包括もあるようだが、地域包括支援センターは地域にとって無くてはならないものであり、安定した運営が望まれる。</li><li>・ 新型コロナウイルス感染症への対処もあり大変苦勞されていると思うが、今後も体調に気を付けて活動していただきたい。</li></ul>
--	---

令和2年度 第1回 大宮区地域包括支援センター連絡会  
報告書

開催日時	令和2年5月29日（金） ～ 6月5日（金）	
開催場所	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面のやり取りによる会議を行った。	
出席者 (敬称略)	委員（全14名）：出席14名	
	大宮医師会	三谷 雅人 <委員長>
	さいたま市老人福祉施設協議会	五十嵐 樹里奈
	さいたま市歯科医師会	岸本 康三
	三橋地区社会福祉協議会	松本 敏雄
	埼玉弁護士会	池上 雅弘
	大宮区民生委員児童委員協議会	深川 和子
	さいたま市大宮区自治会連合会	鈴木 直春
	さいたま市大宮区老人クラブ連合会	谷島 洋
	さいたま市介護支援専門員協会	新田 真由美 <副委員長>
	(社) 認知症の人と家族の会埼玉県支部	小林 正子
	シニアライフ研究会	横田 康祐
	さいたま市食生活改善推進員協議会	内田 敦子
	大宮区東部圏域地域包括支援センター	岩田 尚子
大宮区西部圏域地域包括支援センター	橋本 和美	
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度第2回さいたま市地域包括支援センター運営協議会の報告について</li> <li>2 令和元年度各地域包括支援センターの事業報告について</li> <li>3 令和2年度各地域包括支援センターの事業計画について</li> <li>4 令和元年度各地域包括支援センターの決算報告及び令和2年度予算について</li> <li>5 令和元年度地域支え合い推進員（高齢者生活支援コーディネーター）活動報告及び令和2年度活動計画について</li> <li>6 令和元年度一般介護予防事業等報告及び令和2年度事業計画について</li> <li>7 その他</li> </ol>	

令和2年度 第1回 大宮区地域包括支援センター連絡会  
報告書

要旨	<p>1 令和元年度第2回さいたま市地域包括支援センター運営協議会の報告について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>・要旨 令和2年1月23日に開催された、令和元年度第2回さいたま市地域包括支援センター運営協議会の内容について報告した。</p> <p>・意見等 特になし</p>
	<p>2 令和元年度各地域包括支援センターの事業報告について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>・要旨 両圏域から提出された総合相談業務件数や地域支援会議実施状況等が記載された統計資料により報告した。 さらに、権利擁護業務については、両圏域から提出された事例が記載された資料についても報告した。</p> <p>・意見等 令和2年度は同等のことができないので心配。</p>
	<p>3 令和2年度各地域包括支援センターの事業計画について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>・要旨 両圏域から提出された事業計画書により報告した。</p> <p>・意見等 このような情勢なので、計画通りにはいかないと思うが、地域の情報を把握し関係機関と相談しながら業務を進めていく。</p>

令和2年度 第1回 大宮区地域包括支援センター連絡会  
報告書

<p>4 令和元年度各地域包括支援センターの決算報告及び令和2年度予算について</p> <hr/> <p>・要旨等 両圏域から提出された令和元年度収支（決算見込）書・収支（決算見込）内訳書及び令和2年度収支（予算）書・収支（予算）内訳書により報告した。</p> <p>・意見等 特になし</p>
<p>5 令和元年度地域支え合い推進員（高齢者生活支援コーディネーター）活動報告及び令和2年度活動計画について</p> <hr/> <p>・要旨等 両圏域から提出された地域支え合い推進員（高齢者生活支援コーディネーター）活動報告・計画書により報告した。</p> <p>・意見等 このような情勢なので、計画通りにいかないこともあるが、地域の情報をこまめにキャッチしながら日々の業務に活かしていく。</p>
<p>6 令和元年度一般介護予防事業等報告及び令和2年度事業計画について</p> <hr/> <p>・要旨等 令和元年度一般介護予防事業等実施状況及び令和2年度一般介護予防事業等計画により報告した。</p> <p>・意見等 特になし</p>
<p>7 その他</p> <hr/> <p>・意見等 役員会、民児協、自治会などの連絡会が開かれていないため、今後の見通しが考えられない。6月1日に会長のみのが開かれるので、秋に向けてできる事を考える。 さいたま市食生活改善推進員協議会で行っている桜木ヘルスマイトの調理実習が、コロナウイルスの影響で4、6月と中止になった。大勢で食べることが出来ないで、いつ再開できるかわからない。早く収束するといい。</p>

\* 見沼区地域包括支援センター連絡会につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止としました。

令和2年度 第1回 中央区地域包括支援センター連絡会  
報告書

開催日時	令和2年5月25日（月）～6月3日（水）	
開催場所	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面のやり取りによる会議を行った。	
参加者 (敬称略)	委員（全12名）：出席12名	
	＜役職＞	＜氏名＞
	さいたま市与野医師会	丸木 雄一 <委員長>
	与野歯科医師会	樋口 広嗣 <副委員長>
	中央区民生委員児童委員協議会	松田 領子
	中央区老人クラブ連合会	品川 惣壽
	認知症の人と家族の会	横田 章子
	さいたま市老人福祉施設協議会	松澤 実
	さいたま市社会福祉協議会	植村 俊幸
	地区公民館（鈴谷公民館）	掛川 雅世
	中央区介護保険被保険者代表	奥田 由江
	さいたま市介護支援専門員協会	杉山 忍
	中央区北部圏域地域包括支援センター	黒川 愛
	中央区北部圏域地域包括支援センター	山崎 真裕
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度第2回地域包括支援センター運営協議会報告について</li> <li>2 令和元年度地域包括支援センター決算報告及び令和2年度予算について</li> <li>3 令和元年度地域包括支援センター事業報告及び令和2年度事業計画について</li> <li>4 個別事例から見える地域課題について</li> <li>5 令和元年度高齢者生活支援体制整備事業実施報告及び令和2年度事業計画について</li> <li>6 令和元年度介護予防事業の実施状況及び令和2年度介護予防事業について</li> <li>7 令和元年度認知症対策の実績報告について</li> <li>8 その他</li> </ol>	



令和2年度 第1回 中央区地域包括支援センター連絡会  
報告書

要旨	<p>1 令和元年度第2回地域包括支援センター運営協議会報告について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>&lt;高齢介護課&gt; 令和2年1月23日に開催された、令和元年度第2回地域包括支援センター運営協議会の議題及び報告事項について資料を提示</p> <p><b>【議題】</b></p> <p>(1) 介護予防給付等のケアマネジメントに係る委託居宅支援事業所の承認について</p> <p>(2) 令和元年度第2回さいたま市区地域包括支援センター連絡会について</p> <p>(3) 令和2年度さいたま市地域包括支援センター運営方針(案)等について</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <p>(1) 令和元年度上半期さいたま市地域包括支援センター運営状況等について</p> <p>(2) 令和元年度さいたま市地域包括支援センターにおける介護予防支援業務の公正・中立性の評価について</p> <p>意見等 特になし</p>
	<p>2 令和元年度地域包括支援センター決算報告及び令和2年度予算について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>&lt;北部圏域：ナーシングヴィラ与野&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費増税に伴うコストの影響はそれほど大きなものではないが、定期昇給に伴う人件費高騰のウエイトが大きい状況となっている。</li> <li>・業務繁忙により、介護予防プランを地域の居宅介護支援事業所に委託せざるを得ない状況にある。今後、介護保険収入の減少で経常活動の収支がマイナスとなる可能性が考えられる。</li> </ul> <p>&lt;南部圏域：きりしき&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度と比し、委託料の増加に対し人件費や事務費など、とりわけ委託費の増加が顕著となっている。法人として毎期の経費節減は行っているものの、物の価格上昇や最低賃金の毎年度上昇し、人件費の高騰による影響が大きくなっている。</li> <li>・多岐にわたる業務のバランスを見極めることが重要であり、介護予防プランの作成委託数を減らし、自センターでの作成を増やす必要性が生じている。</li> </ul> <p>意見等 特になし</p>

令和2年度 第1回 中央区地域包括支援センター連絡会  
報告書

3 令和元年度地域包括支援センター事業報告及び令和2年度事業計画について

<北部圏域：ナーシングヴィラ与野>

(1) 令和元年度事業報告

- ・上半期は前年度に比し数値的にマイナスの項目が多かった。
- ・下半期の回復が期待されたが、2月頃より発生した新型コロナウイルスの対策で事業や地域活動の縮小を余儀なくされ、目標を達成できなかった。
- ・地域とのネットワーク構築に関しては、特に民生委員の改選に合わせて、地域支援会議を開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響で滞ってしまった。

(2) 令和2年度事業計画

- ・地域支援会議の充実のため多様な機関や団体とのネットワークづくりによる地域課題の検討・解決に向けた協働を進めていく。また、自立支援型ケアマネジメントの強化を図る。
- ・社会参加への支援として住民が主体的に活動に参画できる仕組みづくりを構築する。

<南部圏域：きりしき>

(1) 令和元年度事業報告

- ・地域からの相談内容は、高齢者に関するだけでなく複雑多様化しており、家族の精神的な問題を含む事例も増加している。
- ・医療、介護、司法等の多職種連携による対応が必要であり、ケアマネ会議では、司法との連携強化を目的としたプログラムを取り入れケアマネのニーズに対応している。
- ・地域支援会議では、「中央区の防災対策」や「台風19号の振り返り」をテーマとし、自治会、民生委員、老人会、社協、区の総務課の協力のもと開催した。

(2) 令和2年度事業計画

- ・高齢者世帯の孤立化防止を含めた、災害対策をテーマとした地域支援会議を今年度も実施する。コロナ禍においては、この会議の開催方法の在り方を検討していく。
- ・介護予防のための自主グループが各地域で立ち上がっているが、充実度に関しては地域によりバラツキがある。公民館以外での教室開催の検討や自主グループの活動場所の確保のため、高齢介護課と協働して、学校、高齢者施設など地域への働きかけを行い、圏域内全域での介護予防の普及を図っていく。

意見等 特になし

令和2年度 第1回 中央区地域包括支援センター連絡会  
報告書

4 個別事例から見える地域課題について

<北部圏域：ナーシングヴィラ与野>

- ・新大宮バイパスを挟んだ東側地区は、新旧問わずマンションが多く立ち並び、高齢者の孤立化が懸念される。見守りや住民相互の支え合いには限界があり、生活が窮してから認知（発見）されることが多く、支援が後手に回ってしまう。
- ・介護保険サービスは高齢者向けに提供されており、若年性認知症の人には馴染みにくい性質がある。せつかく介護認定を受けてもサービス利用に繋がるまでに空白期間が生じてしまい、悪化の進行に拍車がかかってしまう。
- ・地域によっては移動手段が不十分で買物や通院に事欠き、閉じこもりがちになる高齢者がいる。
- ・地域によってはコミュニティスペースが不足し、高齢者の社会活動に支障が出ている。
- ・市内他区と比べ高齢化率が低く若い世代も多いが世代間交流が少ない。

<南部圏域：きりしき>

- ・高齢者に限らず、家族や世帯として複合的な問題が増えている。8050問題を例にとると、子供が引きこもりの世帯で、障がいをもつ子供と主介護者である親の高齢化の進行や生活困窮の世帯が挙げられる。また、令和元年度は、飲酒に関連した問題が目立っている。
- ・高齢者を狙った詐欺が増加しており、「民事訴訟最終通知書」のハガキが地域の高齢者宅に届いているので、高齢者サロンなどで参加者と情報交換し、西警察生活安全課や消費者センターと連携を図り、注意喚起を行っている。
- ・身寄りのない方や家族が海外に在住のため介助者がいない単身高齢者を支えていくため、ケアマネジャーと民生委員との連携強化が何よりも重要となっている。
- ・南部圏域は、地形の影響から東西に生活道路の起伏が激しく、高齢者の移動に支障をきたしており、支援体制の整備を進めていく必要がある。（ふれあい会食への参加、医療機関の受診、買い物等への支援や援助）

意見等 特になし

令和2年度 第1回 中央区地域包括支援センター連絡会  
報告書

5 令和元年度高齢者生活支援体制整備事業実施報告及び令和2年度事業計画について

<北部圏域：ナーシングヴィラ与野>

(1) 令和元年度事業実施報告

- ・住民のニーズに沿って新たな自主活動の場を確保できたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策で利用開始までは至らない施設もあった。
- ・自主グループ化に向け『百歳体操体験会』を開催するも活動場所の施設とのマッチングは至らず。地域への広報活動を広く展開したことで地域活動の中心的担い手が増加している。

(2) 令和2年度事業計画

- ・通いの場について新型コロナウイルス感染拡大防止対策等のため公民館などで利用制限がある。適宜、交渉・連携を継続しており再開を目指している。
- ・自主グループ（体操、茶話会等）の活動支援のため、代表者交流会の開催を予定している。また、住民のフレイル(虚弱)予防のための広報活動を展開する。

<南部圏域：きりしき>

(1) 令和元年度事業実施報告

- ・高齢者生活支援コーディネーター（以下、コーディネーター）の変更に伴い地域との関係性の構築を行ってきた。
- ・新規のいきいき百歳体操自主グループを1件立ち上げに向けて活動を支援した。
- ・いきいき百歳体操自主グループ（全9グループ）の合計参加者が前年度120名から160名へと増加の支援を行った。
- ・ますます元気教室の開催がない上峰地区での開催を実現するため高齢介護課へ働きかけ、令和2年度からの開催が決定した。
- ・地域活動の情報発信と新たなネットワークを構築するため、Twitter を開設した。

(2) 令和2年度事業計画

- ・チラシやTwitter を活用して、コーディネーターの活動や支援などについて地域住民へ周知を徹底する。
- ・コロナ禍においては、対面ではなく Twitter を通して情報を発信して感染予防を進めていく。
- ・認知症カフェの開催では企業連携を実践している。今後は、高齢者サロンの開催においても企業連携を図っていく。また、いきいき百歳体操自主グループの開催場所の確保や世代間交流を目的とした小中学校（教育機関）との連携を強化していく。
- ・Google My Map 等を活用した「地域資源の見える化」を強化する。
- ・関東直撃の台風19号以後、地域での災害に対する意識が高まっている。これを機に、地域の潜在的ニーズを把握して課題解決に向けた協議体の再構築を進めていく。

意見等 特になし

令和2年度 第1回 中央区地域包括支援センター連絡会  
報告書

6 令和元年度介護予防事業の実施状況及び令和2年度介護予防事業について

<高齢介護課>

(1) すこやか運動教室等の開催状況について

・令和元年度は、6月の早い時期から記録的な猛暑が続き、熱中症を防ぐため野外（公園）の7月開催をとりやめた。また、高齢者施設（きりしき、いこい荘）など室内での8月開催についても、自宅から会場への外出移動で体力低下や熱中症が懸念されたため開催を見合わせた。

・令和2年2月下旬以降は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため全ての開催を中止とした。以上の理由から参加者数が前年と比較し大幅な減少となった。

(2) 一般介護予防教室の開催状況について

・ますます元気教室や健口教室などそれぞれの活動（参加者数）について、前年と比較しても大きな変化はありません。どの教室においても女性に比べ、男性の参加者が少なく課題の1つに挙げられる。

・上峰地区には公民館がないために、ますます元気教室への参加の機会を得ることができない高齢者が多いことから、令和2年度からは上峰コミュニティーホールを会場として開催を企画した。また、小学生と触れ合いながら体を動かすことで、心身の健康維持に繋がられないかとの理由から上落合小学校の空き教室を借用しての開催も計画している。

意見等 特になし

7 令和元年度認知症対策の実績報告について

<高齢介護課>

(1) 認知症サポーター養成講座の開催状況について

・令和元年度の開催実績の合計が、開催件数17件、受講者数が579人となった。

・その内、ナーシングヴィラ与野が8件を開催し393人の受講となった。きりしきが2件を開催し81人の受講となった。

・その他、介護施設等の職員で講座の講師の資格を持つ方などが、独自に企画して開催した講座や本課の調整により講師を依頼されて開催した講座について、5件が開催され78人の受講となった。区役所職員に対しては講師の資格を持つ職員が2件を開催し27人の受講となった。

・今後とも、開催実績が上向きになるよう、周知を図っていく。

(2) 認知症初期集中支援チームの活動状況について

・令和元年度1年間で、ナーシングヴィラ与野が全部で14件の活動実績があり、きりしきが全部で1件の活動実績があった。

・対象実人数としては、ナーシングヴィラ与野が新規事案として1人、きりしきが新規事案として1人だったので合計で2人となった。

意見等 特になし

令和2年度 第1回 中央区地域包括支援センター連絡会  
報告書

8 その他

樋口委員からの意見

(1) 地域包括支援センターの活動等の周知について

地域包括支援センター（以下センター）の活動状況や介護保険の利用方法に関して、多くの関係者が様々な手法を用いて市民へ周知を図っているが認知度が低く、一般高齢者や若い世代、学生など市民全体へ浸透しているとは言えないので、自治会、地域の医療機関、薬局、高齢者施設、学校などと連携して関係機関からアンケートなどで意見を募り、センターの認知度を高めるための手法や住民のニーズを把握して、センターの運営に役立ててはどうか。

(2) 新型コロナウイルスの感染予防について

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されており、地域の高齢者もその発生・流行に対して大きな不安を抱いている。専門家の意見では第二波、第三波の流行も大いにありうるという見解が示されている。そこで、今後の対策に役立てるため、地域包括支援センターのコロナへの対処方法や成功事例、改善点についての経験について報告いただけないだろうか。

令和2年度 第1回 桜区地域包括支援センター連絡会  
報告書

開催日時	令和2年6月5日（金）～6月16日（火）	
開催場所	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面のやり取りによる会議を行った。	
出席者 (敬称略)	委員（全12名）：出席12名	
	浦和医師会	伴 茂之 <委員長>
	さいたま市老人福祉施設協議会	深松 之雄 <副委員長>
	桜区自治会連合会	梅澤 圭司
	桜区民生・児童委員協議会	天野 政則
	桜区老人クラブ連合会	岡崎 憲次
	大久保地区社会福祉協議会	齋島 康之
	土合地区社会福祉協議会	長谷川 秀一
	浦和歯科医師会	小田 尚孝
	認知症の人と家族の会	山本 栄子
	さいたま市介護支援専門員協会	多田 功文
	桜区北部圏域地域包括支援センター 彩寿苑	金子 寿男
	桜区南部圏域地域包括支援センター ザイタック	彦坂 祐輔
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域包括支援センターの令和元年度決算及び事業報告について</li> <li>2 地域包括支援センターの令和2年度予算及び事業計画について</li> <li>3 一般介護予防事業について <ol style="list-style-type: none"> <li>① 令和元年度一般介護予防事業実績</li> <li>② 令和2年度一般介護予防事業（予定）</li> </ol> </li> <li>4 地域包括支援センター業務評価について</li> <li>5 その他 地域課題について</li> </ol>	

令和2年度 第1回 桜区地域包括支援センター連絡会  
報告書

要旨	<p>1 地域包括支援センターの令和元年度決算及び事業報告について</p> <p>(意見あり 2人、意見なし 8人)</p> <p>・包括の概要等          北部圏域：決算は収支差額 2,543,952 円。事業報告としては総合相談件数は 896 件で前年比 1.1 倍と増加しているが、権利擁護業務は 63 件で前年比 0.4 倍など件数が減少している。          南部圏域：決算は収支差額 448,321 円。事業報告としては総合相談件数は 1,599 件で前年比 1.2 倍、権利擁護業務は 942 件で前年比 1.3 倍など件数が増加している。</p> <p>・意見等          収支差額は何を意味するのか。繰越金額なのか分からない。          退職給付費用は将来支出するだろうとする金額なのかどうか。          北部圏域と南部圏域の事務費の土地建物等の賃借料と委託料に差がある。          北部圏域と南部圏域の権利擁護業務件数に差がある。</p>
	<p>2 地域包括支援センターの令和2年度予算及び事業計画について</p> <p>(意見あり 2人、意見なし 8人)</p> <p>・包括の概要等          ・北部圏域：今年度は、認知症サポーター養成講座を 5 回以上開催する。また、サロンや出張相談、百歳体操自主グループ等を通して包括支援センターのPRに努める。          ・南部圏域：今年度は、多世代が集まれるような居場所づくりに向けた意見交換の場に 1 か所以上にかかわる。また、認知症サポーターが交流し、情報交換できる会を 1 回以上開催する。</p> <p>・意見等          予算のうち前期の残高が繰越金の計上に無いのはどうしてか。          北部圏域が認知症高齢者への早期対応や認知症サポーター、養成講座等、認知症関連に力を入れてくれてありがたい。</p>



令和2年度 第1回 桜区地域包括支援センター連絡会  
報告書

<p>3 一般介護予防事業について</p> <hr/> <p>(意見あり 1人、意見なし 9人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より 一般介護予防事業の平成30年度の開催・参加実績及び今年度の実施予定を報告。また、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、現時点で開催中止になっている教室を報告。</li> <li>・意見等 ICTの活用を試験的にでもやってみるのはいかがでしょうか。</li> </ul>
<p>4 地域包括支援センター業務評価について</p> <hr/> <p>(意見あり 0人、意見なし 10人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より 評価結果について、市平均と各包括の比較としてレーダーチャートを用いて報告。</li> <li>・意見等 特になし</li> </ul>
<p>5 その他（地域課題）</p> <hr/> <p>(意見あり 1人、意見なし 9人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括の概要等 北部圏域 (相談内容) 独居高齢者や高齢者世帯の相談が増加し、代行申請を行う事が多い。市外や区外から転入してくる困難ケースが多い。医療機関に受診しないまま介護が必要になるケースが増えている。家族の意向で介護申請を行ったが、本人はサービス利用を拒否する為、サービスに繋がらず保留となっているケースが多い。 (社会資源) 近隣の介護施設が地域活動の場所として協力してくれるが、地域活動となかなか結びつかない。空き家が多くなっているが活用できない。独居高齢者で親族と疎遠の場合の病院受診について代行で行うサービスが無い。交通の便が悪く、店舗も無いエリアは移動手段がなく乗り合いタクシーなどのサービスもない。大久保地区は高齢者が増え、ふれあい会食や敬老会の会場が不足している。既に立ち上がっている百歳体操のグループは定員が一杯となっているため百歳体操の活動をしたい人の受け皿がない。</li> </ul>

令和2年度 第1回 桜区地域包括支援センター連絡会  
報告書

南部圏域

(相談内容)

独居や認知症の方の相談が多く、支援拒否の方の相談も増えている。家族や近隣住民とトラブルがある方は支援につながりにくい。同居で介護者が男性の場合、虐待につながりやすい。男性介護者で相談する家族がいない、相談窓口が分からない方も多い。食べるものがない、お金がないなど生活困窮の相談が増えている。

(社会資源)

台風発生時などの行政、住民との連携体制の確認。(例) 住民の避難場所や移動方法、罹災証明の手続きの簡素化など。認知症サポーター養成講座修了者の活動の場が確保されていない。認知症サポーター同士の情報交換や交流できる機会が少ない。オレンジカフェ、介護者サロンの周知や運営方法の検討。福祉分野以外の関係者(医療、障害、児童、NPOなど)との連携強化。コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛後の通いの場の再開。

・意見等

「家族の意向で介護申請を行ったが、本人はサービス利用を拒否する為、サービスに繋がらず保留となっているケースが多い」について、最近、多種多様な施設も増えているが、拒否する理由の共通点を知りたい。

令和2年度 第1回 浦和区地域包括支援センター連絡会  
報告書

開催日時	令和2年6月9日(火) ～ 令和2年6月18日(木)	
開催場所	*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面のやり取りによる会議を行った。	
出席者 (敬称略)	委員(全15名)	
	浦和医師会	石井 利明 <委員長>
	浦和区地区社会福祉協議会連絡会	柿塚 一二三 <副委員長>
	浦和区老人クラブ連合会	高桑 稔
	浦和区自治会連合会	藤枝 陽子
	認知症の人と家族の会	坂口 公子
	浦和歯科医師会	宮川 剛
	さいたま市老人福祉施設協議会	岡本 克則
	さいたま市介護支援専門員協会	谷内田 純一
	浦和区民生委員児童委員協議会	渡邊 廣次
	領家介護を考える会	野辺 由郎
	埼玉青年司法書士協議会	廣瀬 隆
	浦和区北部圏域地域包括支援センター かさい医院	小林 誠
	浦和区東部圏域地域包括支援センター スマイルハウス浦和	西澤 映美子
	浦和区中部圏域地域包括支援センター ジェイコー埼玉	鈴木 まり
浦和区南部圏域地域包括支援センター 尚和園	桑原 徹	
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度第2回さいたま市地域包括支援センター運営協議会の報告について</li> <li>2 令和元年度各地域包括支援センターの事業報告及び令和2年度事業計画について</li> <li>3 令和2年度地域支え合い推進員事業計画について</li> <li>4 令和元年度一般介護予防事業報告について</li> <li>5 令和元年度各地域包括支援センター業務評価について</li> <li>6 その他</li> </ol>	

令和2年度 第1回 浦和区地域包括支援センター連絡会  
報告書

要旨	<p>1 令和元年度第2回さいたま市地域包括支援センター運営協議会の報告について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要旨 令和2年1月23日に開催された、令和元年度第2回さいたま市地域包括支援センター運営協議会の内容について報告した。</li> <li>・意見等 介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成について、過大なケアプラン作成は業務全体を増大させるだけでなく、総合相談業務などの他の業務を圧迫するのであれば、市が何らかの対策を講ずるべきではないか。</li> </ul>
	<p>2 令和元年度各地域包括支援センターの事業報告及び令和2年度事業計画について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要旨 各地域包括支援センターから提出された総合相談件数等の統計資料、介護者サロン実施一覧、令和2年度事業計画書、令和元年度収支決算書、令和2年度収支予算書により報告した。 また、権利擁護業務については、各地域包括支援センターから提出された事例が記載された資料についても報告した。</li> <li>・意見等 高齢者虐待及び困難事例の件数が浦和区内の他包括と比較して多いように思う。「高齢者虐待」、「困難事例」の基準があれば教えていただきたい。</li> </ul>

令和2年度 第1回 浦和区地域包括支援センター連絡会  
報告書

3 令和2年度地域支え合い推進員事業計画について
<p>・要旨 各地域包括支援センターから提出された令和2年度地域支え合い推進員事業計画書により報告した。</p> <p>・意見等 特になし。</p>
4 令和元年度一般介護予防事業報告について
<p>・要旨 令和元年度の一般介護予防事業につき各事業の参加者数、いきいき百歳体操自主グループの状況を報告した。</p> <p>・意見等 特になし。</p>
5 令和元年度各地域包括支援センター業務評価について
<p>・要旨 令和元年度の各地域包括支援センター業務評価につき、浦和区平均・さいたま市平均と比較できる形でレーダーチャートとともに報告した。</p> <p>・意見等 特になし。</p>

令和2年度 第1回 浦和区地域包括支援センター連絡会  
報告書

	<p>6 その他</p> <hr/> <p>・意見等</p> <p>新型コロナウイルスの影響で要介護者が外に出ることが出来ないため、体力の衰えが懸念される。今後体力をどのように回復させていくか、課題が多くある。また、認知症の方がデイサービスが休止となる等で介護者の負担も増えている。</p> <p>報告書類には力を入れ過ぎず、具体的な行動に力点を置いてほしい。</p> <p>地域包括支援センターの業務量が増大していると思われ、また浦和区の人口も増加しているので、地域包括支援センターの数を増やしてはどうか。</p> <p>災害時・緊急事態時における高齢者への対応について考えていく必要がある。</p>
--	---

令和2年度 第1回 南区地域包括支援センター連絡会  
報告書

開催日時	令和2年6月1日（月） ～ 令和2年6月19日（金）	
開催場所	*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面のやり取りによる会議を行った。	
出席者 (敬称略)	委員（全13名）：出席13名	
	浦和医師会	北濱 博之<委員長>
	さいたま市歯科医師会	角田 丈治
	さいたま市老人福祉施設協議会	萩原 淳子
	さいたま市介護支援専門員協会	保坂 由枝<副委員長>
	南区自治連合会	石川 憲次
	南区社会福祉協議会連合会	岡田 方之
	日赤奉仕団さいたま市地区本部	郡司 眞代
	南区民生委員・児童委員協議会	野口 良輝
	認知症の人と家族の会埼玉県支部	花俣 ふみ代
	さいたま市老人クラブ連合会	宮崎 三津子
	東部圏域地域包括支援センター社協みなみ	鈴木 憲一
	中部圏域地域包括支援センターハートランド浦和	曾原 麻紀子
	西部圏域地域包括支援センターけやきホームズ	松本 明子
	その他：出席0名	
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度第2回さいたま市地域包括支援センター運営協議会報告</li> <li>2 令和元年度事業報告・決算</li> <li>3 令和元年度業務評価について</li> <li>4 令和2年度事業計画・予算</li> <li>5 地域支援会議の報告</li> <li>6 高齢者生活支援体制整備事業について</li> </ol>	

令和2年度 第1回 南区地域包括支援センター連絡会  
報告書

要旨	<p>1 令和元年度第2回さいたま市地域包括支援センター運営協議会報告</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>・ 意見等</p> <p>その他報告事項の「3 介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成について」、居宅介護支援事業所としては、採算確保が厳しく待遇面でも介護職員に比べ改善されていない。また、資格要件があがったため人員も確保できない状況。ケアプランの作成基準の検討に当たっては、市からの受託要請だけでなく、制度について再考が必要。</p> <p>包括の業務内容であるケアプラン作成については、早急な検討がなされることを期待する。また、人材確保についても同様と考える</p>
	<p>2 令和元年度事業報告・決算</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>・ 包括の概要等</p> <p>東部圏域：民生委員とケアマネジャーの交流を図る機会を設け、顔の見える関係づくりを行った。また、虐待事例が増加傾向なことから、サービス事業所を対象とした研修を行い、知識・技術の向上及び関係を深めた。事業実績としては、介護予防件数が毎年増加しているが、圏域内・隣接圏域に予防プランの受託可能な居宅介護支援事業所が少なく、委託できずに直営作成率が高い。包括的支援業務に支障が出かねない状況であり、予防プランの積極的な受託については、居宅介護支援事業所への市からの要請をお願いしたい。</p> <p>中部圏域：事業実績としては、総合相談業務が微増傾向継続。昨年度の2月に事務所を移転したが、電話番号の変更が無かったためか2月、3月の相談件数は例年比変わらず、また来所相談も8件、10件とむしろ少し増えており、事務所移転の影響はあまりなかったと考える。地域におけるネットワーク構築のうち、継続見守り支援では、在宅介護支援センターの埼玉ライフサービスが令和元年度にて業務終了となり、これまで担当していた分の引継ぎにより増となっている。決算額について、事務所移転に伴い、新事務所への引越費用、工事費、備品購入、賃料や保証金等の初期費用、移転広告費を計上したことにより、収支差額が大幅な赤字となっている。</p> <p>西部圏域：地域活動では、新たに小学生を対象に出前講座を行い、授業の一環で小学生に地域包括支援センターに立ち寄って頂くなど、子供を通じて子育て世代に地域包括支援センターを知って頂く機会が増えた。権利擁護業務では、親族が疎遠のため問題解決までに時間を要する事例が増えており、将来の備えについて元気なうちから個々で考えておくことの重要性を地域活動で話していく。介護予防ケアマネジメント業務の総件数は年々増加しているが、居宅介護支援事業所への委託が難しく、直営でケアマネジメントを行わざるを得ない状況にあり、業務が多忙となる要因となっている。決算額について、収支差額が400万円を超える黒字となったが、直営でのケアプラン作成に係る事業収入による部分が大きく、昨年と比較しても250件強、約118万円増加している。</p>



令和2年度 第1回 南区地域包括支援センター連絡会  
報告書

	<p>・ 意見等</p> <p>介護予防プランを受託してくれる居宅介護支援事業所が少ないので、最低限の受託数を求めるなど、受託してもらえるような仕組みづくりをお願いしたい。</p> <p>予防プランの直営作成率の増加は大きな課題であり、総合相談等、その他の業務への影響が心配される。</p>
	<p>3 令和元年度業務評価について</p> <p>・ 意見等</p> <p>各包括とも概ね適切に業務を実施していると評価する。</p>
	<p>4 令和2年度事業計画・予算</p> <p>・ 包括の概要等</p> <p>東部圏域：高齢者に対する支援だけでは解決が難しい多問題ケースの相談が増えてきているため、関係機関との連携を深めて多問題ケースの早期発見・早期対応ができる地域づくりに取り組む。長期目標として、活動者の発掘、関係機関との連携・ネットワークを深める活動を継続する。</p> <p>中部圏域：ホームページ開設によりスピーディに情報発信が行えるようにする。ケアマネジャーとサロン・教室を主催するボランティア、民生委員、自治会等の方々との連携強化、権利擁護事例検討会やインフォーマルサービスを取り入れた事例の検討会、ケアマネジャーと民生委員との研修会を実施する。これにより高齢者が介護保険サービスと住民主体のインフォーマルサービスをともに利用できるようにしていく。</p> <p>西部圏域：新しい住宅が増えているが、働く世代であるため地域の方同士、特に世代を超えた交流が希薄であることが課題と考えている。地区社協、育成会、学校などと連携し、世代間の交流を図ることによって、新しく転居してきた住民と以前から住んでいる住民との顔の見える関係を築き、幅広い世代の方の地域活動参加促進を目指す。</p> <p>・ 意見等</p> <p>転居してきた住民と以前から住んでいる住民との交流方法を考えてほしい。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で地域の活動ができない状況から、年度後半に重症化しないか心配。地域の居宅介護支援事業所に協力を要請しても良いのではないか。コロナ禍の影響は今後も続くことが予想される。新しい生活様式に配慮しつつ、目標に向け、通常の計画と並行して何ができるか。何をするかを具体的に検討し提案して頂きたい。</p>

## 令和2年度 第1回 南区地域包括支援センター連絡会 報告書

### 5 地域支援会議の報告

#### ・ 地域支援会議の概要

東部圏域：第2回開催では、介護予防のための地域支援個別会議と困難事例のための地域支援個別会議の報告を行い、困難事例については、支援機関の輪が繋がって良かった。関係性を構築するのがとても大変だったのではないかな等の声を頂いた。日々、関係機関との連携に努めていることがこのような意見につながっていると考えている。なお、3月に予定していた第3回目の開催は、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

中部圏域：第3回目12月開催予定の会議を11月5日に繰り上げて開催。地域包括支援センターの事務所移転となる経緯、今後の予定を報告、移転先についてのご意見をうかがった。3月に第4回目を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。そのため、会議にて移転による影響等についての報告は行えていないが、各地域団体や関連団体に対し、きめ細かく移転について説明・周知を行うことができたため、場所が変わったことによる支障はほぼなかったと考えている

西部圏域：年3回の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため2回のみ開催となった。第2回目では「台風19号の経験を踏まえてみえてきたこと」をテーマに課題や対策について話し合った。介護度の高い方をどのように避難させるか。ケアマネジャーがついている方の安否確認は、ケアマネジャー、民生委員どちらがするのが明確ではない。高齢者には情報が入りにくいという点が課題として明らかになった。このため、防災マップの活用、テレビ埼玉のデータ放送の活用などを地域活動や個別訪問の際に周知し、自分の避難所はどこか、いつ、どのように避難するかを日頃からシミュレーションしておくこと、自分の身は自分で守るという意識を持つよう働きかけていくこととした。また、安否確認に関してはケアマネジャーと民生委員の連携が不可欠であることから、交流する機会の設定について検討していく。

#### ・ 意見等

この場で出た意見、課題等についての情報を生かして欲しい。

夏の熱中症対策、台風時の身を守る行動は今後も必要と思うので、情報伝達、広報をして広めて、安心して住める地域づくりをして欲しい。

西部圏域の報告における「台風19号の経験を踏まえて見えてきたこと」には、リアルな状況と課題が抽出されており、今後の対応にしっかりと活かしていただきたい。

令和2年度 第1回 南区地域包括支援センター連絡会  
報告書

6 高齢者生活支援体制整備事業について

・ 包括の概要等

東部圏域：地域包括支援センターの知名度は、高齢者や高齢者に関わっている団体や個人については、相談件数の増加を見ても上がってきていると考えられる。しかし社会資源の聞き取り調査で商店などを訪問すると、思った以上に知られていない。また、認知症の方への対応や介護保険サービスで支援できないケースなどに関わると、地域包括支援センター職員と地域支え合い推進員がより一層、認知症の方を支える地域づくりを推進する必要があると感じる。

中部圏域：住民の方より「サークル立上げにあたり、活動場所が見つからず困っている。」と相談があり、有料老人ホームを提案したところ、話が進み、趣味活動のサークルが立ち上がった。共通の趣味活動を通じて、有料老人ホーム入居者と地域の参加者とのつながりの場にもなっている。地域住民や関係者への情報発信として、地域活動に出向く回数を増やし、当センターの移転などの説明を行い、地域住民の不安や心配の声を受け止めた。中には、「今まで気になっていたが、聞けなかった。」と話される方もおり、その場に出向いたからこそ、聞かせてくれる住民の方々の生の声があることを実感した。地域活動に出向く意味を考え、今後も顔の見える関係作りを大切にしていきたい。

西部圏域：ボランティア活動の場として、新たにオレンジカフェを立ち上げ、ボランティアに傾聴を行ってもらったところ、介護者から「誰かに話を聞いてもらうことで気持ちが晴れた。話せてよかった。」との声をいただき、ボランティアのやりがいやモチベーションの向上につながるなど、双方にとってメリットのある交流の場となっている。このような機会が地域の方々を元気にしていくと思うので、これからも住民同士が繋がれる場づくりに取り組んでいく。

・ 意見等

ボランティアサークルが立ち上がったときに、ちょっとした手伝いができる機会があると地域で活躍していける。

新型コロナウイルス禍での地域活動について苦慮していると思うが、その様な状況での活動の方法について検討してほしい。

地域の方やサロンの方とスマートフォンもしくは携帯電話での情報発信や連携について模索してほしい

令和2年度 第1回 緑区地域包括支援センター連絡会  
報告書

開催日時	令和2年5月29日（金）～ 6月10日（水）	
開催場所	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面のやり取りによる会議を行った。	
出席者 (敬称略)	委員（全12名）：出席12名	
	浦和医師会	関山 達也 <副委員長>
	浦和歯科医師会	荒川 匠 <委員長>
	さいたま市老人福祉施設協議会 白寿園	高岡 美由紀
	さいたま市介護支援専門員協会	野崎 直良
	認知症の人と家族の会	駒橋 明子
	緑区民生委員・児童委員協議会	鳥海 修一
	緑区自治会連合会	星野 孝男
	美園地区社会福祉協議会	笠原 信男
	介護保険被保険者	平澤 君子
	さいたま市社会福祉事業団 グリーンヒルうらわ	志満 誠治
	さいたま市社会福祉協議会 緑区事務所	田中 克幸
	大古里公民館	島村 光一
次第	<p>1 報告</p> <p>◎高齢介護課</p> <p>(1) 令和元年度第2回地域包括支援センター運営協議会について</p> <p>(2) 令和元年度一般介護予防教室実績について</p> <p>(3) 提案管理表について</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止による事業への影響について</p> <p>◎地域包括支援センター（北部圏域 リバティハウス、南部圏域 浦和しぶや苑）</p> <p>(5) 令和元年度緑区地域包括支援センターの活動状況及び令和2年度の事業計画について</p> <p>(6) 地域支援会議について</p> <p>(7) 地域支え合い推進員（高齢者生活支援コーディネーター）の活動について</p>	

令和2年度 第1回 緑区地域包括支援センター連絡会  
報告書

要旨	<p>1 (1) (高齢介護課) 令和元年度第2回地域包括支援センター運営協議会について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑区連絡会から運営協議会への意見具申はなし</li> <li>・開催結果について</li> </ul>
	<p>1 (2) (高齢介護課) 令和元年度一般介護予防教室実績について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「すこやか運動教室」「ますます元気教室」他の参加人数</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため教室の一部が中止</li> <li>・「ますます元気教室」で介護施設の9日間コースを新たに設定</li> </ul>
	<p>1 (3) (高齢介護課) 提案管理表について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>&lt;介護予防教室の勧誘方法の提案について&gt; 自治会へアプローチした効果を報告。今後も働きかけを継続していく。</p> <p>&lt;ボランティア活動をワンストップで採せる仕組みの提案について&gt; 新設されたセカンドライフ支援センターのマッチング件数を報告</p>
	<p>1 (4) (高齢介護課) 新型コロナウイルス感染症拡大防止による事業への影響について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議・イベントの中止状況について <ul style="list-style-type: none"> <li>市：ますます元気教室、すこやか運動教室他</li> <li>区：百歳体操自主グループ交流会、地域支援個別会議他</li> <li>包括：地域支援会議、介護者サロン、転倒予防教室他</li> </ul> </li> <li>・地域の自主グループ活動も地域支え合い推進員より自粛を呼びかけ</li> <li>・介護保険業務への影響について（個別訪問への支障、認定有効期間の延長他）</li> <li>・介護サービスの停止等について</li> </ul>

令和2年度 第1回 緑区地域包括支援センター連絡会  
報告書

<p>1 (5) (地域包括支援センター) 令和元年度緑区地域包括支援センターの活動状況及び令和2年度の事業計画について</p>
<p>令和元年度活動状況</p>
<p>(北部圏域 リバティハウス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関や関係機関との連携及び協働 (さいたま市立病院での介護相談会開催等)</li> <li>・小中学生を対象に認知症サポーター養成講座を開催</li> <li>・困難ケースについて、区高齢介護課、権利擁護センター等と連携し対応</li> <li>・「介護予防のための」地域支援個別会議の定期開催</li> <li>・令和元年度決算書</li> </ul>
<p>(南部圏域 浦和しぶや苑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さいたま市立病院との連携 (介護相談会開催等)</li> <li>・「介護予防のための」地域支援個別会議の定期開催</li> <li>・介護者サロンを減らし、オレンジカフェを新たに立ち上げ</li> <li>・令和元年度決算書</li> </ul>
<p>令和2年度事業計画</p>
<p>(北部圏域 リバティハウス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民・医療機関や関係機関との連携及び協働 (在宅介護支援センター、市立病院、自治会、地区社協他)</li> <li>・認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援する (認知症サポーター養成講座、介護者のつどい、オレンジカフェ)</li> <li>・令和2年度予算書</li> </ul>
<p>(南部圏域 浦和しぶや苑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主体の通いの場の継続・立ち上げを地域支え合い推進員と行っていく (不足している地域に1か所以上)</li> <li>・認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生活できる地域作りを行う。 (小中学校や地域住民のための認知症サポーター養成講座を2回以上開催)</li> <li>・令和2年度予算書</li> </ul>
<p>1 (6) (地域包括支援センター) 地域支援会議について</p>
<p>(北部圏域リバティハウス・南部圏域浦和しぶや苑) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止 (各委員へ資料送付)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度 事業実績</li> <li>・令和2年度 事業計画</li> <li>・地域支え合い推進員の活動報告</li> </ul>

令和2年度 第1回 緑区地域包括支援センター連絡会  
報告書

1 (7) 地域支え合い推進員（高齢者生活支援コーディネーター）の活動について

（北部圏域地域支え合い推進員）

- ・地域支え合い推進員の交代について（4月1日より）
- ・百歳体操自主グループの活動状況について（現在23団体）
- ・新型コロナウイルス感染症流行による自主グループ活動の停止と地域支え合い推進員の対応について  
（電話連絡、感染症予防及び介護予防啓発チラシのポスティング等）
- ・今後、資源開発につながる関係者間のネットワーク構築を行っていく

（南部圏域地域支え合い推進員）

- ・百歳体操自主グループの活動状況について（現在20団体）
- ・新型コロナウイルス感染症流行による自主グループ活動の停止と地域支え合い推進員の対応について  
（電話連絡、感染症予防及び介護予防啓発チラシのポスティング等）
- ・新型コロナウイルス感染症流行により公民館などの公共施設が利用できなくなると、高齢者の閉じこもりが心配される

意見等

- ・支え合い推進員配布のチラシにある“あったらいいな”について、各委員も地域内の“あったらいいね”を出し合い、連絡会で議論してはどうか。
- ・高齢者が外出できず不活発となり、機能低下になることが心配される。今後の地域支援において、新たな形を考えていく必要がある

令和2年度 第1回 岩槻区地域包括支援センター連絡会  
報告書

開催日時	令和2年6月3日（水）～令和2年6月17日（水）	
開催場所	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面のやり取りによる会議を行った。	
出席者 (敬称略)	委員（全14名）：出席14名 ※五十音順	
	岩槻区医療介護連携支援センター	小笠原 千春
	さいたま市老人福祉施設協議会	岡田 弘俊
	さいたま市歯科医師会	金沢 ひより
	目白大学 地域連携・研究推進センター分室	小林 幸治
	さいたま市岩槻区中部圏域 地域包括支援センター社協岩槻	清水 由紀子
	さいたま市岩槻区北部圏域 地域包括支援センター松鶴園	鈴木 崇之
	さいたま市介護支援専門員協会	関根 克一
	さいたま市社会福祉協議会岩槻区事務所	高野 正直
	岩槻医師会	田中 洋次郎 <委員長>
	岩槻区障害者生活支援センターささぼし	長岡 明美
	さいたま市岩槻区南部圏域 地域包括支援センター白鶴ホーム	中村 智子
	岩槻区民生委員児童委員協議会	根本 淑枝
	認知症の人と家族の会	山戸 真紀子
さいたま市岩槻区自治会連合会	若谷 富雄 <副委員長>	
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度各地域包括支援センター決算報告について</li> <li>2 令和元年度地域包括支援センター権利擁護事業について</li> <li>3 令和元年度各地域包括支援センター業務評価について</li> <li>4 令和2年度各地域包括支援センターの事業計画、予算について</li> <li>5 令和2年度一般介護予防事業について</li> <li>6 令和元年度介護者サロン実施状況について</li> <li>7 各地域包括支援センター地域支援会議と地域支援個別会議の報告について</li> <li>8 地域支え合い連絡会（高齢者生活支援推進会議）の報告について</li> <li>9 その他</li> </ol>	



令和2年度 第1回 岩槻区地域包括支援センター連絡会  
報告書

要旨	<p>1 令和元年度各地域包括支援センター決算報告について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要旨 3圏域から、令和元年度決算について報告を行った。</li> <li>・意見等 特になし。</li> </ul>
	<p>2 令和元年度地域包括支援センター権利擁護事業について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括の概要等 傾向として高齢者虐待、成年後見制度、困難事例と相談実件数は概ね減少しているが、相談延べ件数は増加している。</li> </ul> <p><b>【北部圏域】</b> 高齢者虐待の事例において、担当ケアマネジャーから、担当する方の同居する長男から本人が暴力を振るわれており、現在本人が入院している病院から退院調整の依頼があるが、退院後自宅に戻すのは危険と考え包括に相談。 担当ケアマネジャーと同行訪問し長男と面会。その後、担当ケアマネジャーから継続的に様子を伺うが、新たに長男から暴行を受けたとの言動はなし。見守り継続を行った。</p> <p><b>【中部圏域】</b> 成年後見人の事例において、担当ケアマネジャーからの相談。 脳血管認知症があり、書類管理や服薬管理、金銭管理も困難な状態。短期記憶の低下も著しく、もの盗られ妄想もある。他県に兄弟がいるが日常生活の支援は難しい。 サービス担当者会議にて、今後の入院や施設入所の契約に際し、後見人等が必要になるため、本人の了承を得て、精神科の受診同行。現在は市長申立にて保佐人がつき、ショートステイを利用しながら施設を検討した。</p> <p><b>【南部圏域】</b> 困難事例において、福祉課ケースワーカーから、ゴミ屋敷でライフラインが止まっている高齢夫婦がいるとの相談。訪問すると尿臭がひどくゴミが散乱している部屋に真っ暗で寒い中、髪がボサボサで汚い布団にくるまっている夫婦を発見。ライフラインの復旧手続きを行い、食料調達と年末年始の見守りを近隣市在住の長男に依頼。家族の協力のもと生活環境を整え、介護保険申請も行った。ヘルパー利用に向け、調整していたところ、夫が死亡。妻一人を家に置いておける状態でないため、養護老人ホームへの措置入所となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見等 特になし。</li> </ul>

令和2年度 第1回 岩槻区地域包括支援センター連絡会  
報告書

3 令和元年度各地域包括支援センター業務評価について

- ・ 包括の概要等  
3 圏域の業務評価についてレーダーチャートのR1年度調査全国（センター）と比較すると「組織運営体制等」、「包括的・継続的ケアマネジメント支援」が平均値を超えている。
- ・ 意見等  
特になし。

4 令和2年度各地域包括支援センターの事業計画、予算について

3 圏域から、令和2年度事業計画および予算について報告を行った。

- ・ 包括の概要等

【北部圏域】

《現状と課題》

岩槻区北部圏域の高齢化率は31%を越え、介護保険認定率も17%と高水準。高齢者の独居世帯、高齢者夫婦のみの世帯数が増加、また公共交通機関の弱体化の影響に伴い、運転免許の返納が出来ない高齢者ドライバーの問題、及び閉じこもり高齢者の問題等、数々の課題が混在している

《長期目標》

今後ますます地域の高齢化が進んでいくなかで、介護予防の充実と世代間の分け目なく地域住民同士が互いに助け、支え合う仕組み作りが重要になるため、地域の担い手を増やし、若い世帯も巻き込んだ地域住民主体の事業の立ち上げを推奨、補助し、世代関係なく住民の一人一人が地域との繋がりを持ち続けられるような社会の具現化を目指す。

【中部圏域】

《現状と課題》

独居高齢者等の介護・生活相談において、未受診や受診中断により生活課題が複雑多岐にある相談が増加傾向にあり、介護予防や地域での活動等への参加につながらない高齢者への働きかけ、およびその周知等をさらに積極的に行っていくことが必要である。

《長期目標》

引き続き包括内で共有を図り4職種で包括的に視野の広い支援を進め、自立支援型地域ケア会議の取り組みを充実させ、地域全体の支援資質向上を図っていく。また定例の連絡会を活用し、医師会や医療機関との積極的な医療連携を進めていき、さらに地域活動を通じ地域住民、多職種とのつながりを強化し、様々な活動を開発・支援を進めていく。

令和2年度 第1回 岩槻区地域包括支援センター連絡会  
報告書

【南部圏域】

《現状と課題》

岩槻区南部圏域の高齢化率が29.3%と27センター中、4番目に高齢化率が高い。当圏域は6つの地区からなり、なかでも、東岩槻地区は急速に高齢化が進んでいる。そのため、地区社会福祉協議会や自治会を中心に見守り活動や高齢者サロン等の地域活動が盛んに行われているが、農村地域においては、過疎化が深刻な問題となっており、マンパワーや社会資源不足による孤独死や老老介護による介護負担の増加、公共交通機関の不足による引きこもりなどの課題がある。

《長期目標》

6つの地区において課題に大きな違いがあるため、それぞれの地区に合った対応が必要であるため6つの地区社会福祉協議会との連携を深めていく。また、農村地域においては歩いて行ける距離にサロンが数多く立ち上がるよう、サロン立ち上げの支援や百歳体操を広く展開し、マンパワーや社会資源不足に対応するため、ボランティアの育成に向けた研修会の実施や介護保険サービス以外の社会資源の発掘に努めていく。

- ・意見等  
特になし

5 令和2年度一般介護予防事業について

・要旨

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月までますます元気教室、健口教室、いきいきサポーター養成講座、すこやか運動教室、地域運動支援員派遣事業の中止を予定している。9月以降は、厚生労働省が提示する「新しい生活様式」や県の方針等に基づきながら、各種の介護予防事業についても段階的に再開できるよう引き続き検討していく予定。

- ・意見等  
特になし。

6 令和元年度介護者サロン実施状況について

・包括の概要等

昨年度のサロンの数は前年と同じ件数。開催回数、利用者延べ人数ともにほぼ横ばいを推移している。また、参加者の主な声は、多くの好評を得ている。

- ・意見等  
特になし。

令和2年度 第1回 岩槻区地域包括支援センター連絡会  
報告書

7 各地域包括支援センター地域支援会議と地域支援個別会議の報告について
・包括の概要等
【北部圏域】
困難事例として、①独居高齢女性。近隣住民に対する嫌がらせや畑、商店等で窃盗行為を繰り返す。行政が県外在住の息子に事情を説明するが息子は介入に拒否的。2月本人が近隣住民所有の自家用車の一部を破損させた疑いで警察が介入。その際本人は他害行為を行った為、保護の後、県内病院へ措置入所となるケースと、②夫は県内精神科入院後、独居となる。本人は精神的な衰弱がみられ、意欲低下の訴えや自殺願望の主張、及び昼夜逆転現象による睡眠薬の乱用等がみられる。しかし、本人は精神科への受診は断固拒否を続けているケースの報告および検討した。
【中部圏域】
困難事例として、①世帯の多額の負債・困窮により本人への医療及びサービス利用が困難な世帯のケースと、②アルコールにより急に寝たきり状態、失禁で自宅も汚れ、一時的にサービスの利用中、自宅に戻れない状況になったケースについて、今後の支援方針を検討した。
【南部圏域】
困難事例として、①一人暮らし。うつ病とメニエール病により、体調不良の訴えや転倒が多い。訪問リハビリは本人希望でキャンセル。②一人暮らし。肺気腫。労作時息切れあり。閉じこもりがち。③夫婦共に障害年金受給。体重減少、食事量が少なく体力がない。痛みや体調不良の訴え多い。閉じこもり。④インスリン実施。内服やインスリンが自己流で血糖値が安定しない。閉じこもりによる下肢の筋力低下あるケースについて検討した。
・意見等 特になし。
8 地域支え合い連絡会（高齢者生活支援推進会議）の報告について
・包括の概要
【北部圏域】
高齢者の閉じこもり予防について、高齢者の1人暮らし、高齢者のみの世帯は人と接しない傾向にある。介護予防の視点として、外に出る習慣をつけることが大切。特に男性をいかに参加に促すかが課題となった。
【中部圏域】
認知症サポーター養成講座内容の確認と役割分担。認知症徘徊模擬訓練のフロアの使い方、認知症の人の設定についての検討を行った。
【南部圏域】
グループワークにて「県総合治水事務所による（総合的な治水対策）を受けて、具体的な対応策を考える」、「移手段の問題とその解決方法について」を行い、地域資源リストおよび活動インフォメーションの紹介、事業の活動状況報告を行った。
・意見等 特になし。

令和2年度 第1回 岩槻区地域包括支援センター連絡会  
報告書

9 その他（テーマ：新しい生活様式を踏まえた今後の高齢者支援について）

厚生労働省から高齢者への対策として新型コロナウイルス感染症に気をつけつつ、健康を維持するために今できる工夫として「新しい生活様式」が提示されている中、高齢者に対し生活様式の変容を促すにあたり、実際にアプローチする方法やどのように働きかけるか等について、委員より意見を伺った。

・意見等

「新型コロナウイルスの影響で会議やサロンの多くが実施できない状況がある中、高齢者はリハビリの中止が寝たきりに直結することもある。できる限り早期に医師と相談しながらリハビリ、サロンを始められることを願う。

地域包括支援センターは担当地域内の介護事業所と日頃から、関わる機会があるので各介護事業所が取り組んでいる感染防止策で有効性が高いと思われるものがあつたら、その取り組みを他事業所に紹介し広めていくことで地域の感染予防が強化されると思う。

介護予防事業やサロン活動は人数制限しながら、感染症予防対策をとり行っていく。どのような対策をとるのか具体策を提示する。

ネット環境が整っている家族も多く、高齢者の方もスマートホンやタブレットの操作ができる方が増えてきている。百歳体操等で健康を維持するための動画配信が今後進むことを願う。

新しい生活様式に関する内容を視覚的にわかりやすい、イメージが湧きやすいチラシ、ポスターの作成。（新しい生活様式にかかる5箇条など）楽しみながら取り組めるよう3密を避ける工夫をする。

空白のページ

介護予防サービス計画（ケアプラン）の  
作成について

## 介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成について

### 1. 地域包括支援センターのケアプラン作成に関する現状と課題

・地域包括支援センターは、包括的支援事業（総合相談業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務）を実施するほか、介護予防ケアマネジメント業務を実施することとなっている。

・介護予防ケアマネジメント業務は、要支援者等のケアプランを作成する業務であり、地域包括支援センターがケアプランを直接作成するほか、指定居宅介護支援事業所に委託することができる。

・本市の現状として、地域包括支援センターの職員1人が、毎月、給付管理するケアプラン件数（＝担当する要支援者等の人数）は、

**センター平均で、 20.9件**（平成31年4月時点）

・地域包括支援センターごとにみると、職員1人が、毎月、給付管理するケアプラン件数が**最も多いセンターでは、 38.0件**（平成31年4月時点）

・本市では、地域包括支援センターが、直接作成するケアプラン件数（＝担当する要支援者等の人数）の基準を設定していないため、件数にバラツキが生じていると判断できる。

・地域包括支援センター職員に、ケアプラン件数に関するアンケート調査を行ったところ、毎月給付管理する ケアプラン件数が多い地域包括支援センターにおいて、ケアプランの作成に時間を要し、地域包括支援センターの本来の業務である 包括的支援事業に手がまわらない との声もある。

地域包括ケアシステムの深化・推進にあたり、地域包括支援センターが取り組むべき業務である「包括的支援事業」をさらに充実させる観点から、ケアマネジメントの件数の目安の設定などについて、意見を聴取する。



## 2. 他政令指定都市の例

・地域包括支援センターを委託で運営している政令指定都市18市中14市が、職員1人あたりのケアプラン件数の基準を設定している。(北九州市の包括は直営のため除く)

職員1人あたり40件まで……	1市
〃 30件まで……	2市
〃 25件まで……	1市
〃 24件まで……	1市
〃 <b>20件まで……</b>	<b>7市</b>
その他……	2市

## 3. さいたま市の地域包括支援センターのケアプラン作成状況

ケアプラン件数（職員1人あたり）	包括数
30.0件～	3包括
<b>20.0～29.9件</b>	<b>12包括</b>
<b>10.0～19.9件</b>	<b>10包括</b>
～9.9件	2包括

## 4. 今後のスケジュール

運営協議会において意見を聴取した後、地域包括支援センターに対して案を示し、包括からも意見を聴取する。

これらの意見を参考に成案としてまとめ、次回の運営協議会で報告する。

空白のページ

令和 2 年度

さいたま市地域包括支援センター

運営方針について

# さいたま市地域包括支援センター運営方針

令和2年4月

さいたま市 いきいき長寿推進課

## I 地域包括支援センターの目的

地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活を続けられるよう、心身の健康の維持、生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を図り、包括的に支援することを目的とします。

すなわち、地域包括支援センターは、高齢者の介護、福祉、医療などに関するさまざまな相談を受け付け、地域のネットワークを構築しつつ、個別サービスのコーディネートをも行う地域の中核機関として、地域の方に気軽に相談してもらえる“ワンストップサービスの拠点”となることを目指します。

## II 重要取組事項

### 1. 積極的に地域に出て、信頼関係を構築します

積極的に地域活動に関わり、地域包括支援センターを広く周知するとともに、地域の社会資源やニーズの把握、地域住民や関係機関等との信頼関係の構築を図ります。

### 2. 高齢者の自立支援・重度化防止の推進

高齢者が安心して暮らせる地域となるように、支援を必要とする地域の高齢者の把握に努め、保健・医療・福祉サービス等による適切な支援や、継続的な見守り等を行います。

また、介護が必要となる状態の前の、更に前の段階から高齢者の健康づくりや介護予防の取組を推進し、住民主体の通いの場の立ち上げを支援します。

### 3. 日常生活を支援する体制の整備

「さいたま市地域支え合い推進員（高齢者生活支援コーディネーター）等を中心に、元気な高齢者をはじめ、住民が担い手として参加する住民主体の活動や、地域の支え合いの体制づくりを推進します。

また、地区社会福祉協議会のネットワークや在宅介護支援センター、包括在宅総合支援センターと連携することで、地域の特性、状況に合わせた様々な関係者のネットワーク構築を図ります。

### 4. 介護者の支援の充実に努めます

介護者支援のため介護者サロンや認知症カフェを開催します。開催にあたっては、民生委員、自治会、サービス提供事業者、行政機関など多くの関係者を通じて、幅広く参加者を募り、また、出来るだけ様々な場所で開催するなど参加の機会の拡大に努めるとともに、参加者同士の交流や情報交換、悩み事の解消等を図り、参加者の心身の負担の軽減を図ります。

## Ⅲ 事業共通

### 1. 事業計画の策定と評価・改善

- ア 担当圏域の実情及びニーズに合った事業計画を策定し、重点目標や達成数値目標を設定します。
- イ 事業計画に基づいた事業を実施できたかどうかを自己評価し、市に報告します。
- ウ 自己評価を実施した後、市による業務評価の結果に基づき、運営等における指導・助言を受けた場合は改善に努めます。

### 2. 担当圏域の現状・ニーズに応じた業務の実施

- ア 積極的に地域活動に関わり、担当圏域の現状やニーズの把握に努めます。
- イ 担当圏域の現状やニーズに応じて重点業務を設定し、業務を行います。

### 3. 職員の確保・育成

- ア 多様なニーズに対応できる知識・経験のある職員の確保及び育成を行います。
- イ 職場での仕事を離れての研修（Off-JT）を積極的に実施し、職員の資質向上に努めます。
- ウ 地域包括支援センターの保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等のそれぞれの専門性を活用し、各専門職が「縦割り」に業務を行うのではなく、チームアプローチによる支援を行います。
- エ 地域の保健・医療・福祉・介護の専門職及びボランティア等の関連する他の機関と連携して業務を行います。

### 4. 利用者が相談しやすい相談体制の構築

- ア 年末年始を除いて毎日開所するとともに、夜間・早朝でも必ず連絡がとれる連絡システムを確保し、利用者が安心する相談体制を構築します。
- イ 地域で暮らす高齢者の介護、福祉、医療等に関する様々な相談を受け付けし、関係機関と協力して問題解決に取り組みます。
- ウ 地域包括支援センターのチラシの配布等を行い、市民への地域包括支援センターの認知度向上に努めます。

### 5. 個人情報の保護

- ア 各事業の実施にあたり、各業務の担当者が互いに情報を共有し、その活用を図ることが重要であることから、あらかじめ利用者から個人情報を目的の範囲内で利用する旨の了解を得ます。
- イ 個人情報の取扱いについては、関係法令を遵守し、厳重に取り扱うことと

し、その保護に遺漏のないよう十分に注意します。

ウ 介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメントを居宅介護支援事業所に委託する場合、委託先の事業所の個人情報の取扱いについては、委託契約において関係法令を遵守し、厳重に取り扱うことを明記し、その保管に遺漏のないよう指導・助言します。

エ 情報セキュリティに関する組織的な体制を明確化します。

## 6. 利用者満足度の向上

ア 利用者満足度向上のための適切な苦情対応体制を整備します。

イ 地域包括支援センターが利用者から苦情を受けた場合、市に対して報告や協議を行うとともに改善に努めます。

ウ 利用者が安心して相談できるよう、プライバシーの確保に努めます。

## IV 個別業務

### 1. 総合相談支援

ア 地域における関係機関・関係者のネットワークを構築し、職員間で共有できるしくみを整備します。

イ 相談内容の把握・分析を行うとともに、相談事例の解決のために、進捗管理や高齢者以外の他分野への支援要請等、必要な対応を行います。

ウ 家族介護者や複合的な課題を持つ世帯等への支援を、市や他分野の相談機関と協議しながら行います。

### 2. 権利擁護

ア 高齢者が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を送ることができるよう支援します。

イ 成年後見制度の普及啓発に努めます。

ウ 高齢者虐待等の早期発見、発生予防に努めるとともに高齢者虐待等の個別ケースには、市と十分に連携・協力し、専門的かつ継続的な視点で適切に対応します。

エ 消費者被害の防止のため、消費生活センターや警察等と連携し、情報提供を行います。

### 3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援

ア 介護支援専門員を支援するため、担当圏域の介護支援専門員の課題やニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者とのネットワークづくりを支援します。

イ 介護支援専門員からの相談体制を整備し、介護支援専門員が実施するケアマ

ネジメントを支援するとともに、必要に応じて市や他分野の相談機関への支援要請を行います。

#### **4. 地域ケア会議**

- ア 多職種との連携の下で、個別課題の支援内容を検討する「地域支援個別会議」を開催します。
- イ 地域の保健・医療・福祉・介護の専門職及び地縁組織・ボランティア等の関連する他の機関との連携の下で、必要とされる地域づくりや地域資源の検討を行う「地域支援会議」を開催します。
- ウ 各地域ケア会議の取組状況や課題等を区の連絡会に報告します。

#### **5. 介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援**

- ア 利用者の心身の状態や置かれている環境等に応じて、利用者の自立の可能性を引き出し、かつ自立への意欲が高まるような個別性を重視した支援を実施するとともに、高齢者同士の支え合いによる、生きがいの獲得につながるような仕組みの構築を目指します。
- イ 要支援者だけでなく、基本チェックリストを用いて事業対象者を把握し、基本チェックリストの結果や相談者、その家族の意向などを適切に把握し、自立に向けたケアマネジメントを通じて多様なサービスにつなげる流れを作ること、早期に介護予防に取り組むことが可能となる体制を構築します。
- ウ 介護予防の取り組みを地域に普及啓発し、相談業務や地域活動から閉じこもり等の何らかの支援を要する者の把握に努め、「身近な場所で・住民が主体となった・継続性のある運動」を市民自らが行えるよう介護予防教室等の周知及び自主化への働きかけを行うほか、地域活動や地域ケア会議へのリハビリテーション専門職等への参加を促進します。

#### **6. 在宅医療・介護連携**

- ア 医療関係者と合同の事例検討会・講演会・勉強会等への積極的な参加を通じて、医療関係者とのネットワーク構築に努めます。
- イ 在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口との連携を図り、在宅医療・介護連携に関する相談支援の充実を図ります。

#### **7. 認知症高齢者等支援**

- ア 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症の人とその家族を支える地域づくりを推進します。
- イ 認知症初期集中支援チームへの参画、認知症サポーター養成講座や認知症カフェの開催、認知症地域支援推進員としての活動、認知症ケアパスの作成等



の各種取組を行います。

## **8. 高齢者生活支援体制整備事業**

- ア 地域支え合い推進員（高齢者生活支援コーディネーター）が実施する社会資源の情報収集、不足するサービスや担い手の創出・養成といった資源開発、関係者間のネットワーク構築の支援を行います。
- イ 協議体の運営の支援を行います。

## **V 運営にあたっての留意事項**

### **1. 在宅介護支援センターとの連携・協力**

- ア ブランチ（地域包括支援センターにつなぐ窓口）である在宅介護支援センターが受けた相談や情報を集約し、支援が必要な高齢者の情報を相互に共有するとともに、地域の高齢者の見守りや実態把握、対応等を連携して行います。
- イ 地域包括支援センターと在宅介護支援センターが協力して地域活動を実施するとともに、地域のネットワークを構築していきます。
- ウ 在宅介護支援センターとともに事業計画を策定していきます。

### **2. 包括在支総合支援センターとの連携・協力**

地域包括支援センターへの情報提供、研修、指導及び助言等の後方支援を行う包括在支総合支援センターと連携して業務を行います。

### **3. サービスの公正・中立性を確保します**

利用者に必要なサービスを提供するサービス事業所の選定にあたっては、利用者の選択の意思を尊重し、それ以外の理由で特定の事業所に偏らないように、公正・中立性の確保に努めます。

空白のページ

令和元年度

さいたま市地域包括支援センター

運営状況について

## さいたま市地域包括支援センターの運営状況について

### 1 総合相談支援業務

#### 総合相談の受付

高齢者に関するさまざまな相談に対応します。本人のほか、家族や関係機関等からの相談を受け、問題に応じて適切なサービスや機関、制度の利用につなげます。

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
26,679	29,663	30,590	103.1%

#### 地域支援会議の開催

地域支援個別会議における個別ケースの検討から明らかになった有効な支援方法や地域に共通する課題について協議するとともに、必要とされる地域づくりや地域資源の検討を行っています。

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
98	91	71	78.0%

#### 地域支援個別会議の開催

多職種の協働のもと、個別ケースの支援内容の検討を行い、その積み重ねを通じ地域包括支援ネットワークを構築していきます。

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
87	83	196	236.1%

#### 地域活動

地域包括支援センターが主催となって地域活動(介護保険相談会や健康相談会等)を行ったり、他機関が開催した地域活動(高齢者サロンやうんどう教室、老人福祉センター主催の健康講話等)に参加しています。

(地域包括支援センター主催の回数)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
1,553	1,576	1,412	89.6%

(他機関による開催への参加回数)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
2,674	3,663	3,209	87.6%

#### 介護者サロンの開催

介護している方同士が、悩みや疑問などについて情報交換したり、交流を図ったりしています。

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
923	950	899	94.6%

#### 継続見守り支援の実施

利用者本人から相談を受けているわけではないが、定期的に見守りや安否確認のために訪問や連絡をしています。

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
2,206	2,299	2,145	93.3%

## 2 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### 個別事例に対するサービス担当者会議開催支援の開催

個別事例に対するサービス担当者会議（介護保険のサービス担当者会議）開催の支援を行います。

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
120	79	111	140.5%

#### ケアプラン作成指導等を通じた介護支援専門員のケアマネジメントの指導

ケアマネジャーから支援困難事例等に関する相談を受けるなどの支援や指導を行います。

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
2,157	2,328	2,423	104.1%

### ケアマネ会議の開催

地域のケアマネジャーが円滑に仕事を進められるよう、ケアマネジャー相互の情報交換等を行う場（ケアマネ会議）を設定します。

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
172	196	167	85.2%

### 関係機関との連携

利用者の支援するにあたり、医療機関やその他の関係機関と連携して対応します。

(医療機関との連携)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
2,836	3,030	3,435	113.4%

(その他機関との連携)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
5,604	5,347	5,406	101.1%

## 3 権利擁護業務

### 高齢者虐待への対応

虐待の早期発見・把握に努め、事例に即した対応を行います。

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
1,087	1,295	1,221	94.3%

### 成年後見制度の活用

判断能力の低下により、金銭管理や契約行為等が困難な方に対し、必要に応じて成年後見制度の利用が円滑に行われるよう支援します。

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
350	365	418	114.5%

#### 困難事例への対応

高齢者やその家庭に重層的に課題が存在している場合等の困難事例を把握した際には、地域包括支援センターの専門職種が相互に連携して対応を検討します。

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
3,097	3,297	3,953	119.9%

#### 消費者被害の防止

悪質な訪問販売や消費者金融などの被害を防止するため、消費生活センターなどと連携して対応します。

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
104	66	74	112.1%

### 4 介護予防ケアマネジメント業務

#### (1) 要支援者に対する介護予防ケアマネジメント

要支援1・2に認定された高齢者に対し、介護予防サービス利用のケアプランを作成します。原則として地域包括支援センターが行うこととされていますが、ケアマネジメントCを除く一部を居宅介護支援事業所に委託することが認められています。

(介護予防支援作成件数)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
65,213	44,346	48,888	110.2%

(介護予防支援作成件数のうち、居宅介護支援事業所に委託した件数)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
37,494	27,451	31,648	115.3%

(ケアマネジメントA作成件数)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
28,315	54,672	55,004	100.6%

(ケアマネジメントA作成件数のうち、居宅介護支援事業所に委託した件数)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
15,621	31,677	33,977	107.3%

(ケアマネジメントC作成件数)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
1	4	0	—

(2) 事業対象者に対する介護予防ケアマネジメント

基本チェックリストの結果、事業対象者となった高齢者に対し、介護予防・生活支援サービス等の利用のケアプランを作成します。原則として地域包括支援センターが行うこととされていますが、ケアマネジメントCを除く一部を居宅介護支援事業所に委託することが認められています。

(ケアマネジメントA作成件数)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
2,734	4,541	4,962	109.3%

(ケアマネジメントA作成件数のうち、居宅介護支援事業所に委託した件数)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
293	664	1,166	175.6%

(ケアマネジメントC作成件数)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	伸び率 (30年度から元年度)
57	44	46	104.5%



				西						北						大宮								
				三恵苑			くるみ			緑水苑			諏訪の苑			ゆめの園			白菊苑			春陽苑		
				29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度
総合相談業務	総合相談業務	相談件数	合計	784	911	1,006	901	1,100	1,080	884	657	849	825	941	997	929	1,023	1,077	975	1,385	1,743	1,330	1,378	994
			電話(文書、メール、FAX含む)	407	524	563	473	592	577	501	376	447	473	543	597	415	513	548	732	987	1,246	704	767	585
			来所	78	79	94	125	128	137	135	92	98	149	167	153	397	387	404	90	145	146	119	149	113
			訪問	299	312	349	303	380	366	248	189	304	203	231	247	117	123	125	153	253	351	507	462	296
	相談者実人数	632	692	790	523	581	589	1,087	805	936	647	768	703	891	1,020	1,010	1,063	943	918	1,528	1,596	1,142		
	地域におけるネットワーク構築	地域支援会議	開催回数	3	2	3	3	3	3	3	2	2	4	4	4	3	3	2	3	3	2	3	3	2
			参加者人数	59	39	64	71	60	57	33	18	23	80	88	98	63	62	38	61	57	45	67	70	42
		地域支援個別会議	開催回数	3	2	14	3	3	9	0	2	8	4	6	11	2	2	12	4	4	7	3	3	5
			個別事例検討件数(検討延べ件数)	3	2	15	3	3	10	0	2	8	4	6	11	2	2	11	4	4	5	5	3	5
			個別事例の対象者数(個別事例の件数)	3	2	15	3	3	10	0	3	8	4	6	11	2	2	11	4	4	5	3	3	5
地域活動(主催・共催)		開催回数	33	16	142	33	36	108	0	5	58	23	36	85	18	15	99	78	64	48	39	52	43	
		参加者人数	11	13	11	97	62	56	120	124	118	122	143	127	191	211	192	32	39	44	19	16	9	
地域活動(他機関の開催)		開催回数	99	301	186	1,832	1,631	1,553	2,011	2,336	2,312	1,885	2,588	2,033	4,264	4,737	4,058	609	667	611	536	540	265	
		参加者人数	100	138	116	97	100	88	79	87	69	141	215	289	90	80	62	141	109	98	201	165	185	
介護者サロン		開催回数	3,885	4,027	3,946	4,372	3,597	2,872	2,073	2,138	1,267	3,457	4,006	5,061	3,121	3,043	2,074	2,397	2,114	2,223	4,728	3,868	3,882	
	参加者人数(男性)	37	29	25	25	25	22	144	159	126	38	39	35	48	42	44	21	34	32	23	21	21		
	参加者人数(女性)	170	93	70	39	96	115	556	596	388	71	46	45	73	54	33	33	122	155	6	21	52		
継続見守り支援	参加者人数(女性)	423	395	352	156	283	338	963	855	996	527	592	487	562	528	485	53	350	299	105	205	242		
	対象人数	84	119	168	19	23	24	270	244	161	38	65	46	60	26	37	55	72	110	62	121	196		
ケアマネジメンツ	ケアマネ会議	訪問・連絡回数	89	129	172	26	25	26	476	444	187	69	106	65	32	32	48	66	100	48	76	191	358	
		個別事例に対するサービス担当者会議開催支援の回数	0	0	0	1	1	0	0	3	2	10	11	8	8	0	2	0	6	1	0	1	0	
ケアマネジメンツ	ケアマネ会議	ケアプラン作成指導等を通じた介護支援専門員のケアマネジメンツの指導回数	138	122	134	186	183	211	38	7	16	105	152	191	52	24	41	38	27	66	70	74	149	
		開催回数	6	7	6	9	9	7	0	5	4	5	14	10	6	5	5	8	8	8	6	5	5	
	関係機関との連携	参加事業者数	105	111	97	94	104	82	0	50	40	66	84	65	130	103	45	95	108	67	108	76	92	
		医療機関	64	75	76	145	195	184	37	29	52	97	98	119	41	61	82	45	150	212	78	57	49	
権利擁護業務	相談件数	延回数	その他	188	157	127	485	354	356	40	19	61	229	233	249	220	169	183	75	246	389	184	107	162
			高齢者虐待	5	1	1	100	106	102	4	3	8	1	27	26	10	50	32	30	46	34	43	72	51
			成年後見制度	0	5	4	38	38	107	0	0	3	30	14	25	1	6	3	4	3	6	4	6	9
			困難事例	25	69	61	294	51	296	86	74	155	233	73	54	4	49	45	17	196	68	60	267	338
			消費者被害	4	0	0	10	2	6	0	2	7	1	11	1	8	12	3	2	0	1	26	3	8
	実件数	高齢者虐待	3	1	1	1	6	6	2	2	5	1	4	4	6	9	9	4	7	7	10	14	10	
		成年後見制度	0	2	2	2	5	6	0	0	3	6	4	5	1	5	3	4	2	3	3	2	2	
		うち、首長申立件数	0	2	0	0	1	3	0	0	0	1	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
		困難事例	4	7	7	6	4	9	18	26	32	14	11	8	3	8	5	4	28	18	11	20	20	
		消費者被害	2	0	0	10	2	6	0	2	6	1	2	1	8	9	3	1	0	1	13	2	5	
マネ介護予防ケアマネジメント実施状況	要支援者	介護予防支援	介護予防支援事業件数(当該月に給付管理票を作成した件数)	3,564	2,465	2,742	2,411	1,562	1,981	2,747	1,845	1,836	2,415	1,567	1,602	1,953	1,108	1,159	3,271	2,050	2,277	2,689	1,598	1,734
			うち、業務委託件数	1,911	1,514	1,784	1,213	911	1,328	2,139	1,468	1,443	1,798	1,225	1,324	1,262	722	831	890	886	1,209	800	658	856
			業務委託事業者数	324	293	400	314	265	286	550	428	466	440	406	438	362	280	345	383	339	398	333	269	271
	事業対象者	ケアマネジメントA	介護予防ケアマネジメント件数(当該月に給付管理票を作成した件数)	1,310	2,452	2,348	1,272	2,329	2,395	1,282	2,475	2,565	1,336	2,411	2,340	1,075	2,053	2,205	1,434	2,791	2,806	1,515	2,878	2,801
			うち、業務委託件数	618	1,265	1,361	621	1,299	1,354	836	1,517	1,610	1,033	1,848	1,857	693	1,369	1,509	547	1,666	1,627	420	883	1,238
			業務委託事業者数	203	310	324	151	219	230	275	477	484	328	470	474	200	252	322	234	432	427	192	280	297
	ケアマネジメントC	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		介護予防ケアマネジメント件数(当該月に給付管理票を作成した件数)	249	377	449	143	258	389	145	220	225	55	103	95	80	195	103	69	94	71	14	51	87	
		うち、業務委託件数	42	90	122	0	12	182	15	11	0	0	11	20	55	81	56	0	7	18	0	0	17	
	ケアマネジメントA	業務委託事業者数	29	51	86	0	9	81	15	11	0	0	11	19	44	70	47	0	7	18	0	0	16	
件数		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

				見沼												中央						桜						
				さいたまやすらぎの里			敬寿園七里ホーム			大和田			敬寿園			ナーシングヴィラ与野			きりしき			彩寿苑			ザイタック			
				29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	
総合相談業務	総合相談業務	相談件数	合計	592	746	696	1,473	1,190	1,148	837	1,011	1,006	1,334	1,598	1,327	662	666	764	708	969	998	586	833	896	1,200	1,291	1,599	
			電話(文書、メール、FAX含む)	404	510	476	778	625	603	386	480	422	734	891	735	451	453	453	509	653	696	287	506	570	579	597	776	
			来所	54	56	50	223	181	192	214	223	272	255	347	275	91	110	99	90	147	147	105	94	83	313	319	324	
			訪問	134	180	170	472	384	353	237	308	312	344	360	317	119	102	212	109	153	155	194	233	243	308	375	499	
	相談者実人数	448	572	546	1,114	993	1,014	724	928	1,035	1,305	1,486	1,221	717	712	764	285	543	467	495	836	930	989	1,097	1,374			
	地域におけるネットワーク構築	地域支援会議	開催回数	3	2	2	4	4	3	3	3	3	4	4	2	1	3	2	8	8	6	6	7	2	3	3	2	
			参加者人数	33	23	23	76	62	69	55	48	53	60	51	35	22	102	86	126	147	103	114	132	34	49	55	32	
		地域支援個別会議	開催回数	4	1	7	6	4	9	0	2	10	6	4	11	1	4	4	8	9	5	6	2	5	4	3	10	
			個別事例検討件数(検討延べ件数)	7	2	5	6	4	6	0	2	8	112	4	10	4	4	7	11	9	8	6	1	6	4	3	9	
			個別事例の対象者数(個別事例の件数)	6	2	5	17	4	9	0	2	9	116	4	10	7	4	7	8	9	8	6	1	6	4	3	9	
地域活動(主催・共催)		開催回数	7	7	8	47	22	25	4	10	2	13	103	103	33	16	19	24	31	19	23	26	16	65	63	20		
		参加者人数	100	138	74	502	287	330	86	141	23	187	1,870	2,124	591	179	447	554	546	403	229	301	160	934	832	237		
地域活動(他機関の開催)		参加回数	113	65	65	116	281	76	236	292	237	132	149	116	124	222	152	113	241	163	43	36	49	105	89	110		
		参加者人数	3,007	2,648	2,534	3,606	6,642	2,897	6,162	7,063	5,813	3,937	4,596	3,409	2,813	4,774	2,719	3,290	4,300	3,248	1,565	580	1,978	3,981	3,224	2,558		
介護者サロン		開催回数	19	22	20	33	28	22	24	26	35	33	28	32	20	18	18	21	21	20	29	27	26	39	36	42		
	参加者人数(男性)	49	64	52	67	89	63	27	63	79	70	44	57	30	44	25	28	36	14	142	103	105	47	52	88			
	参加者人数(女性)	262	341	452	459	553	359	97	201	296	141	92	105	139	272	183	109	108	100	404	343	296	124	113	222			
継続見守り支援	対象人数	18	15	13	10	16	17	47	56	47	10	17	3	37	16	6	40	15	10	127	68	16	344	427	400			
	訪問・連絡回数	27	18	12	10	16	17	75	84	67	10	18	4	75	19	18	55	18	21	130	74	18	353	440	411			
ケアマネジメント	ケアマネジメント	介護の個別支援専門員へ	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援の回数	0	1	1	3	3	0	1	1	0	1	2	11	13	3	9	1	8	7	1	1	0	2	1	3	
			ケアプラン作成指導等を通じた介護支援専門員のケアマネジメントの指導回数	93	107	103	142	151	105	52	46	32	31	40	44	2	9	8	69	29	16	16	61	39	3	38	48	
	関係機関との連携	開催回数	5	10	9	6	6	5	5	5	4	5	5	8	6	10	4	8	2	2	5	5	3	10	11	9		
		参加事業者数	99	122	120	109	111	100	142	97	104	129	114	117	85	125	63	111	42	44	31	35	71	241	257	213		
	医療機関	医療機関	44	70	60	216	227	249	126	110	134	64	116	111	135	85	152	140	117	96	101	154	96	134	152	190		
		その他	128	112	79	420	322	342	199	213	202	250	313	238	329	262	228	119	50	174	87	129	68	180	260	285		
	権利擁護業務	相談件数	延回数	高齢者虐待	41	25	12	34	86	19	25	9	13	12	6	15	27	38	44	21	19	7	10	20	12	167	146	242
				成年後見制度	32	9	4	4	9	6	4	3	0	5	1	1	14	10	13	11	4	4	5	2	0	4	1	2
				困難事例	153	138	46	48	66	207	63	32	33	55	83	72	116	45	15	151	108	50	46	123	49	183	602	693
			実件数	消費者被害	4	2	3	1	5	2	0	2	0	1	0	0	0	0	1	16	1	3	1	0	2	0	1	5
高齢者虐待				5	7	4	8	5	4	5	3	5	5	3	3	5	7	8	4	12	7	7	7	3	10	17	24	
成年後見制度				7	3	2	3	4	4	2	2	0	3	1	1	4	3	3	5	11	4	1	2	0	2	1	2	
うち、首長申立件数		うち、首長申立件数	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		困難事例	10	14	13	14	12	18	8	5	2	14	8	7	11	8	6	24	42	31	11	18	17	18	40	40		
		消費者被害	1	2	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	7	1	3	1	0	1	0	1	3		
介護予防ケアマネジメント実施状況		要支援者	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防支援事業案件数(当該月に給付管理票を作成した件数)	1,517	1,088	1,217	2,076	1,480	1,721	3,224	2,286	2,285	2,546	1,840	2,039	2,326	1,472	1,496	2,534	1,665	1,782	2,052	1,066	1,652	2,424	1,575
	うち、業務委託事業者数			665	564	658	1,015	829	936	1,310	1,087	1,157	1,290	1,035	1,093	1,752	1,127	1,126	1,836	1,225	1,361	447	263	769	2,199	1,302	1,483	
	業務委託事業者数			270	268	279	353	325	331	409	350	421	370	295	274	465	412	388	522	411	449	212	135	303	383	362	391	
	ケアマネジメントA	介護予防ケアマネジメント件数(当該月に給付管理票を作成した件数)	645	1,081	1,041	1,090	2,198	2,238	1,131	2,020	2,062	1,029	2,221	2,508	974	1,948	1,928	1,012	1,939	1,824	923	1,464	1,973	931	2,060	2,198		
		うち、業務委託事業者数	245	425	377	566	1,177	1,303	507	901	890	365	854	975	749	1,514	1,428	727	1,389	1,318	173	301	1,169	856	1,755	1,957		
		業務委託事業者数	114	185	195	267	336	368	242	284	300	164	298	317	276	432	429	296	422	415	99	135	314	246	365	419		
	ケアマネジメントC	件数	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		介護予防ケアマネジメント件数(当該月に給付管理票を作成した件数)	178	178	104	75	69	69	81	182	179	102	213	250	312	723	820	176	195	169	115	204	305	76	132	215		
		うち、業務委託事業者数	3	8	0	0	0	3	8	0	0	0	0	0	44	124	136	40	35	13	6	16	170	34	60	143		
	ケアマネジメントB	業務委託事業者数	3	8	0	0	0	2	8	0	0	0	0	0	42	91	90	30	35	13	6	15	110	24	31	71		
件数		2	0	0	1	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

				浦和												南									
				かさい医院			スマイルハウス浦和			ジェイコー埼玉			尚和園			社協みなみ			ハートランド浦和			けやきホームズ			
				29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	
総合相談業務	総合相談業務	相談件数	合計	2,132	2,115	<b>2,112</b>	1,916	1,910	<b>2,032</b>	704	820	<b>1,210</b>	939	1,078	<b>890</b>	1,027	1,095	<b>1,120</b>	713	803	<b>858</b>	841	939	<b>896</b>	
			電話（文書、メール、FAX含む）	1,660	1,595	<b>1,594</b>	1,043	1,021	<b>1,094</b>	413	504	<b>777</b>	429	413	<b>367</b>	658	680	<b>703</b>	411	532	<b>585</b>	440	498	<b>440</b>	
			来所	185	194	<b>276</b>	479	489	<b>531</b>	106	108	<b>156</b>	276	302	<b>271</b>	162	178	<b>183</b>	95	107	<b>100</b>	152	182	<b>164</b>	
			訪問	287	326	<b>242</b>	394	400	<b>407</b>	185	208	<b>277</b>	234	363	<b>252</b>	207	237	<b>234</b>	207	164	<b>173</b>	249	259	<b>292</b>	
			相談者実人数	776	768	<b>731</b>	1,402	1,509	<b>1,332</b>	825	957	<b>1,568</b>	563	614	<b>561</b>	850	866	<b>901</b>	783	922	<b>978</b>	736	766	<b>877</b>	
	地域におけるネットワーク構築	地域支援会議	開催回数	7	3	<b>3</b>	3	3	<b>3</b>	5	6	<b>5</b>	2	2	<b>2</b>	3	3	<b>2</b>	4	4	<b>3</b>	3	3	<b>2</b>	
			参加者人数	92	39	<b>40</b>	65	65	<b>74</b>	100	96	<b>99</b>	38	43	<b>39</b>	75	46	<b>45</b>	57	65	<b>53</b>	67	60	<b>44</b>	
		地域支援個別会議	開催回数	1	2	<b>4</b>	3	3	<b>6</b>	4	4	<b>8</b>	2	2	<b>4</b>	1	3	<b>7</b>	1	1	<b>8</b>	3	4	<b>5</b>	
			個別事例検討件数 （検討延べ件数）	1	3	<b>6</b>	3	3	<b>8</b>	4	4	<b>10</b>	2	2	<b>6</b>	1	3	<b>7</b>	1	1	<b>8</b>	3	4	<b>6</b>	
			個別事例の対象者数 （個別事例の件数）	2	2	<b>6</b>	3	3	<b>8</b>	4	4	<b>10</b>	2	2	<b>6</b>	1	16	<b>7</b>	0	1	<b>8</b>	3	4	<b>6</b>	
			参加者人数	19	44	<b>66</b>	36	73	<b>113</b>	46	22	<b>82</b>	19	23	<b>72</b>	8	25	<b>71</b>	14	16	<b>85</b>	50	63	<b>60</b>	
		地域活動 （主催・共催）	開催回数	57	26	<b>23</b>	106	100	<b>86</b>	106	141	<b>158</b>	25	28	<b>60</b>	44	44	<b>30</b>	51	44	<b>25</b>	61	68	<b>60</b>	
			参加者人数	497	1,416	<b>236</b>	3,092	2,884	<b>2,477</b>	4,246	5,410	<b>3,027</b>	344	430	<b>1,451</b>	1,474	1,522	<b>727</b>	1,322	1,141	<b>760</b>	1,535	1,368	<b>1,236</b>	
地域活動 （他機関の開催）		参加回数	94	226	<b>271</b>	41	79	<b>53</b>	102	143	<b>113</b>	32	182	<b>171</b>	54	80	<b>64</b>	67	67	<b>61</b>	60	67	<b>70</b>		
		参加者人数	1,873	2,811	<b>3,833</b>	782	2,411	<b>1,022</b>	1,851	2,385	<b>2,161</b>	1,515	3,132	<b>2,607</b>	1,123	1,674	<b>1,554</b>	1,557	2,046	<b>1,900</b>	2,044	2,460	<b>3,103</b>		
介護者サロン	開催回数	24	33	<b>34</b>	33	27	<b>29</b>	25	28	<b>27</b>	42	41	<b>37</b>	29	22	<b>20</b>	31	31	<b>22</b>	35	35	<b>36</b>			
	参加者人数（男性）	38	42	<b>44</b>	50	25	<b>63</b>	152	151	<b>108</b>	66	70	<b>38</b>	34	36	<b>57</b>	120	86	<b>73</b>	38	34	<b>32</b>			
	参加者人数（女性）	81	187	<b>166</b>	155	103	<b>222</b>	185	193	<b>191</b>	287	263	<b>207</b>	126	90	<b>59</b>	444	354	<b>337</b>	266	268	<b>278</b>			
継続見守り支援	対象人数	1	0	<b>0</b>	53	55	<b>54</b>	379	252	<b>319</b>	67	55	<b>32</b>	4	0	<b>0</b>	27	17	<b>21</b>	16	16	<b>13</b>			
	訪問・連絡回数	1	0	<b>0</b>	69	68	<b>69</b>	111	71	<b>104</b>	79	63	<b>51</b>	3	0	<b>0</b>	30	18	<b>25</b>	16	16	<b>13</b>			
ケアマネジメント	ケアマネジメント	介護の個別支援 （個別支援専門員へ）	個別事例に対するサービス担当者会議開催 支援の回数	0	1	<b>0</b>	0	2	<b>0</b>	14	6	<b>51</b>	0	0	<b>1</b>	1	0	<b>0</b>	12	1	<b>1</b>	16	9	<b>0</b>	
			ケアプラン作成指導等を通じた介護支援等 専門員のケアマネジメントの指導回数	137	248	<b>302</b>	312	248	<b>237</b>	57	112	<b>46</b>	34	19	<b>41</b>	34	72	<b>155</b>	48	68	<b>43</b>	126	120	<b>126</b>	
	関係機関との連携	開催回数	13	14	<b>19</b>	8	5	<b>14</b>	8	6	<b>3</b>	10	10	<b>5</b>	3	6	<b>5</b>	5	8	<b>6</b>	4	5	<b>4</b>		
		参加事業者数	215	336	<b>312</b>	112	71	<b>89</b>	182	137	<b>76</b>	243	222	<b>125</b>	33	90	<b>75</b>	134	136	<b>79</b>	94	115	<b>89</b>		
		医療機関	108	70	<b>86</b>	231	213	<b>220</b>	46	65	<b>101</b>	82	91	<b>102</b>	132	162	<b>161</b>	138	137	<b>170</b>	110	71	<b>123</b>		
その他	229	201	<b>113</b>	208	417	<b>440</b>	63	120	<b>232</b>	328	270	<b>230</b>	555	542	<b>375</b>	176	164	<b>193</b>	220	136	<b>157</b>				
権利擁護業務	相談件数	延回数	高齢者虐待	242	211	<b>282</b>	48	67	<b>50</b>	49	94	<b>43</b>	1	16	<b>38</b>	63	56	<b>52</b>	10	0	<b>13</b>	11	49	<b>49</b>	
			成年後見制度	55	52	<b>30</b>	32	21	<b>54</b>	7	37	<b>24</b>	34	10	<b>21</b>	0	12	<b>17</b>	1	3	<b>5</b>	5	2	<b>21</b>	
			困難事例	397	237	<b>665</b>	282	306	<b>259</b>	209	108	<b>182</b>	99	111	<b>118</b>	46	64	<b>97</b>	174	141	<b>62</b>	48	76	<b>70</b>	
		実件数	消費者被害	12	3	<b>2</b>	3	0	<b>3</b>	3	0	<b>15</b>	0	8	<b>0</b>	0	0	<b>0</b>	0	1	<b>0</b>	0	2	<b>6</b>	
			高齢者虐待	16	15	<b>20</b>	6	13	<b>15</b>	6	6	<b>7</b>	1	11	<b>12</b>	8	5	<b>8</b>	2	0	<b>2</b>	7	6	<b>5</b>	
	要支援者	介護予防ケアマネジメント実施状況	介護予防支援	介護予防支援実案件数 （当該月に給付管理票を作成した件数）	1,972	1,285	<b>1,324</b>	2,482	1,606	<b>1,648</b>	1,533	972	<b>1,077</b>	1,930	1,355	<b>1,525</b>	2,281	1,902	<b>2,125</b>	3,213	2,206	<b>2,284</b>	1,825	1,465	<b>1,551</b>
				うち、業務委託件数	1,263	730	<b>859</b>	1,446	1,150	<b>1,415</b>	1,158	796	<b>890</b>	1,252	853	<b>991</b>	1,214	1,173	<b>1,318</b>	2,225	1,555	<b>1,585</b>	901	886	<b>881</b>
				業務委託事業者数	453	517	<b>316</b>	471	406	<b>420</b>	384	353	<b>346</b>	476	437	<b>423</b>	376	322	<b>318</b>	631	589	<b>616</b>	366	310	<b>319</b>
			ケアマネジメントA	介護予防ケアマネジメント件数 （当該月に給付管理票を作成した件数）	1,019	1,954	<b>1,898</b>	1,013	2,071	<b>1,967</b>	814	1,482	<b>1,424</b>	792	1,452	<b>1,232</b>	874	1,674	<b>1,742</b>	1,216	2,548	<b>2,638</b>	630	1,360	<b>1,404</b>
				うち、業務委託件数	496	947	<b>981</b>	507	1,295	<b>1,609</b>	513	997	<b>1,170</b>	481	786	<b>635</b>	393	802	<b>914</b>	858	1,827	<b>1,967</b>	311	878	<b>837</b>
ケアマネジメントC	業務委託事業者数	223	372	<b>420</b>	233	398	<b>468</b>	234	351	<b>348</b>	230	354	<b>356</b>	184	333	<b>350</b>	340	507	<b>524</b>	177	312	<b>315</b>			
事業対象者	ケアマネジメントA	件数	0	0	<b>0</b>	0	0	<b>0</b>	0	0	<b>0</b>	0	2	<b>0</b>	0	0	<b>0</b>	0	0	<b>0</b>	0	0	<b>0</b>		
		介護予防ケアマネジメント件数 （当該月に給付管理票を作成した件数）	0	81	<b>88</b>	21	58	<b>82</b>	11	65	<b>47</b>	45	163	<b>162</b>	110	80	<b>76</b>	164	218	<b>186</b>	53	82	<b>179</b>		
		うち、業務委託件数	0	0	<b>0</b>	6	28	<b>52</b>	0	19	<b>35</b>	0	38	<b>33</b>	0	0	<b>2</b>	11	51	<b>40</b>	4	30	<b>37</b>		
ケアマネジメントC	業務委託事業者数	0	0	<b>0</b>	5	28	<b>51</b>	0	20	<b>35</b>	0	22	<b>24</b>	0	0	<b>2</b>	8	39	<b>40</b>	4	30	<b>34</b>			
	件数	0	0	<b>0</b>	0	0	<b>0</b>	0	0	<b>0</b>	0	46	<b>46</b>	0	0	<b>0</b>	0	0	<b>0</b>	0	1	<b>0</b>			

				緑						岩槻						市合計					
				リバティハウス			浦和しぶや苑			松鶴園			社協岩槻						白鶴ホーム		
				29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度				29年度	30年度	元年度
総合相談業務	総合相談業務	相談件数	合計	933	1,074	908	1,088	1,151	1,195	1,148	1,275	1,316	755	1,096	1,062	463	608	811	26,679	29,663	30,590
			電話(文書、メール、FAX含む)	648	655	556	714	729	825	875	934	986	322	539	558	235	335	386	15,681	17,452	18,165
			来所	66	107	99	108	128	119	88	99	100	325	385	307	115	100	131	4,595	5,003	5,024
			訪問	219	312	253	266	294	251	185	242	230	108	172	197	113	173	294	6,401	7,195	7,401
		相談者実人数	820	1,015	864	790	961	976	924	991	1,075	667	944	991	343	522	665	21,927	24,407	24,958	
	地域におけるネットワーク構築	地域支援会議	開催回数	5	3	2	3	2	2	3	2	2	3	3	2	3	3	3	98	91	71
			参加者人数	110	83	61	54	46	56	47	30	42	57	53	26	63	71	77	1,794	1,711	1,458
		地域支援個別会議	開催回数	3	1	5	7	4	6	2	3	7	4	3	5	2	2	4	87	83	196
			個別事例検討件数(検討延べ件数)	3	1	5	7	4	6	1	3	7	4	3	8	4	2	4	205	84	205
			個別事例の対象者数(個別事例の件数)	3	1	5	7	4	6	2	3	6	4	3	8	4	2	4	218	97	208
			参加者人数	33	11	65	52	24	77	22	30	66	66	39	57	15	16	33	886	884	2,009
		地域活動(主催・共催)	開催回数	79	68	62	91	45	42	34	42	29	40	35	26	51	49	42	1,553	1,576	1,412
			参加者人数	1,141	1,072	1,215	1,654	606	743	475	692	712	957	766	622	671	881	742	31,827	35,282	28,764
		地域活動(他機関の開催)	参加回数	132	141	152	109	213	138	76	108	164	25	27	32	51	61	45	2,674	3,663	3,209
			参加者人数	3,707	3,493	3,297	1,908	3,372	2,271	2,416	2,359	3,779	813	1,234	1,147	1,607	2,093	2,140	73,590	86,090	75,295
介護者サロン		開催回数	48	58	51	25	35	43	21	22	23	29	34	29	27	29	28	923	950	899	
	参加者人数(男性)	124	166	191	41	57	62	32	67	29	85	116	80	89	88	97	2,277	2,461	2,215		
	参加者人数(女性)	251	292	261	128	138	182	147	287	253	141	161	160	109	150	191	6,844	7,717	7,719		
継続見守り支援	対象人数	54	50	47	18	118	37	137	141	164	3	16	33	64	52	54	2,044	2,072	2,028		
	訪問・連絡回数	54	52	50	18	35	38	172	187	223	3	18	34	81	57	66	2,206	2,299	2,145		
ケアマネジメント	ケアマネジメント	介護支援専門員への個別支援	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援の回数	2	1	1	7	8	1	8	5	7	18	2	0	1	2	5	120	79	111
			ケアプラン作成指導等を通じた介護支援専門員のケアマネジメントの指導回数	103	135	95	103	113	88	85	84	60	69	19	14	14	20	13	2,157	2,328	2,423
	関係機関との連携	開催回数	7	6	5	8	9	4	7	6	4	5	7	4	4	7	5	172	196	167	
		参加事業者数	151	141	89	166	166	83	138	122	48	92	198	64	36	108	81	3,141	3,381	2,530	
		医療機関	202	209	221	157	210	215	51	38	73	72	25	3	40	43	98	2,836	3,030	3,435	
	その他	281	174	176	230	258	238	58	71	72	123	12	12	0	36	25	5,604	5,347	5,406		
権利擁護業務	相談件数	延回数	高齢者虐待	33	33	25	87	73	30	9	16	9	2	18	9	2	8	3	1,087	1,295	1,221
			成年後見制度	5	3	4	18	54	16	21	31	6	7	14	11	7	8	25	350	365	418
			困難事例	115	99	33	40	24	93	68	77	102	77	40	41	8	38	49	3,097	3,297	3,953
		実件数	消費者被害	0	0	1	3	10	1	5	1	2	0	0	0	4	0	2	104	66	74
			高齢者虐待	12	17	15	9	18	8	4	5	5	1	8	3	1	5	2	149	213	202
			成年後見制度	4	3	3	12	9	5	11	20	5	6	12	5	2	6	10	117	126	123
	うち、首長申立件数	うち、首長申立件数	0	0	0	4	6	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	10	23	17	
		困難事例	55	43	22	8	6	13	35	49	18	38	25	13	3	14	7	482	518	470	
		消費者被害	0	0	1	3	4	1	2	1	2	0	0	0	2	0	1	60	37	44	
マネ介護予防ケアマネジメント実施状況	要支援者	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援事件数(当該月に給付管理票を作成した件数)	2,679	1,927	2,404	2,802	1,904	2,088	2,568	1,999	2,195	1,904	1,310	1,414	2,275	1,748	1,956	65,213	44,346	48,888
			うち、業務委託件数	1,652	1,226	1,459	1,805	1,197	1,276	1,562	1,283	1,646	1,208	816	889	1,281	970	1,081	37,494	27,451	31,648
			業務委託事業者数	480	420	380	552	443	450	438	470	480	361	353	360	380	323	343	11,058	9,781	10,211
		ケアマネジメントA	介護予防ケアマネジメント件数(当該月に給付管理票を作成した件数)	1,131	2,113	2,021	1,409	2,687	2,459	1,116	2,076	1,936	730	1,511	1,505	612	1,424	1,546	28,315	54,672	55,004
	うち、業務委託件数		724	1,302	1,231	835	1,443	1,269	715	1,281	1,310	527	1,175	1,156	305	781	925	15,621	31,677	33,977	
		業務委託事業者数	289	520	444	337	486	436	276	468	451	190	362	355	137	254	292	6,137	9,614	10,074	
	ケアマネジメントC	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	
	事業対象者	ケアマネジメントA	介護予防ケアマネジメント件数(当該月に給付管理票を作成した件数)	39	35	33	73	94	81	114	158	155	139	140	123	95	173	220	2,734	4,541	4,962
うち、業務委託件数			7	8	9	0	7	1	0	4	43	18	12	15	0	5	19	293	664	1,166	
業務委託事業者数			7	7	9	0	7	1	0	4	38	4	12	15	0	5	19	229	520	821	
ケアマネジメントC	件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	44	46		

令和元年度

さいたま市地域包括支援センター

介護者サロン実施一覧について

令和元年度さいたま市地域包括支援センター介護者サロン実施一覧

区	圏域	センター名	サロン名	開催回数(延べ)	参加人数(延べ)	会場	対象者	内容等	介護者サロンの参加者の主な声
西	北部	三恵苑	介護者サロン	10	151	①指扇公民館 ②内野公民館 ③おおみや診療所 ④清河寺ふれあい館 ⑤西新井自治会館	限定なし	・お茶を飲みながら、介護経験者の経験談や介護アドバイスや交流	介護の話は尽きないです。自分の時間が取れず、出かけたときに出かけられないのがつらい。近いところでサロンがあり感謝します。続けて欲しい。介護した方の実体験のお話を伺うことができ、理論を踏まえて経験を重ねる熟練の大切さも感じる。考えすぎると気分が暗くなってしまいますね。障害を持っている子どももいるので、将来が心配。
			オレンジカフェ	15	271	①ケア・ローソン ②SOMPOケア ラヴィーレ ③内野本郷自治会館	限定なし	レクレーションやミニ講演会と茶話会	参加してよかった。また出席したい。もっと大勢の方が参加するよいに。認知症もいろんな症状があると思った。
	南部	くるみ	介護者サロン	11	235	①三橋5丁目自治会館 ②佐知川上自治会館 ③榑水公民館 ④加茂川団地自治会館 ⑤馬宮団地集会所 ⑥二ツ宮住宅集会所 ⑦飯田自治会館 ⑧馬宮コミュニティセンター 通所介護施設デイホーム	限定なし	・自治会サロン等に出張して、介護経験者の体験や思いを聞いたり、介護にまつわる情報交換を行った。 ・情報提供として、福祉用具の展示会や宅配弁当の試食会を開催した。 ・高齢者住宅で開催した際は、施設見学を行った。	・家の近くで開催してもらえると参加しやすい。 ・福祉用具や宅配弁当など、知らなかったサービスを知る事ができた。施設見学も参考になった。 ・マッサージしてもらおうと、話しやすいリフレッシュできる。
			オレンジカフェ	11	218	まみや	限定なし	・毎月第3土曜日 10:00～11:30 認知症の当事者や家族が地域住民やボランティアと交流しながら、歓談、折り紙、手芸、カラオケなど思い思いに好きな事をして過ごしていただけた。	・同じ境遇の方と知り合う事ができ、思いを共有できた。 ・デイサービスとは違い、誰でも参加できるのが良い。
北	北部	緑水苑	夢眠・マダム (R1.8～マダム・クラブへ名称変更)	3	17	夢眠クリニック大宮北 (R1.8～エスケアステーションさいたま北へ場所変更)	女性限定	介護者への癒し・勉強会、茶話会 第1月曜日10:00～11:30	女性同士、楽しいおしゃべりができます。ここに来ることが毎月の楽しみとなっています
			みかんクラブ	8	24	夢眠クリニック大宮北 (R1.8～エスケアステーションさいたま北へ場所変更)	うつ・気分が落ち込んでいる方	当事者同士のサークルトーク 薬剤についての勉強会 第3金曜日10:00～11:30	落ち着いた静かな環境で少人数で自分の話を聞いてくれるのが助かる
			ダンディ倶楽部	10	57	ハートランド大宮	男性限定	勉強会、社会体験、社会奉仕、地域リハビリテーション 第1木曜日14:00～16:00	男ばかりなので気兼ねなく参加ができる
			介護者サロン風	7	11	マクドナルド大宮本郷店	対象なし	茶話会(飲食物の持ち込み不可) 第1水曜日10:00～11:30	喫茶店でおしゃべりしているようで気分転換になります
			サロンちどり	6	26	茶の間	対象なし	茶話会を中心に塗り絵・理学療法士指による集団体操・トランプ等 第1水曜日14:00～15:00	おしゃべりだけではなく体操もできるからここを選びました
			オレンジカフェやさしえ宮原	92	1249	サ高住やさしえ宮原	対象なし	近隣住民との交流、麻雀、歌、体操、紙芝居、手芸等。好きな物をいつでも 毎週月・金曜日10:00～11:20	このサロンがあるから入所を決めた。たくさん開催してくれるので施設生活のいい刺激になっている。
	東部	諏訪の苑	オレンジカフェ今羽	10	138	特別養護老人ホーム 今羽の森	制限なし	毎月第3金曜日13:30～15:00 介護者、当事者、近隣住民との交流の場。フリードリンクで、歌・体操・レクリエーション・楽器の演奏会等を楽しみ、気分転換を行う。	毎回美味しい手作りのお菓子を頂いたり、健康になるための講座や物づくり、演奏等があり、明るく広い空間で気持ちよく過ごせて、リフレッシュしています。
			介護者サロンうえたけ	4	50	高齢者生きがい活動センター	制限なし	5・8・11・2月の13:30～15:00 30～50分程度の企画(健康・介護に関する内容)と茶話会にて、介護者同士の情報交換や悩み相談を行う。	福祉用具の話や体に良い体操等を教えてもらった。お茶を飲みながら話を聞いて貰えてゆっくりとした時間を過ごすことができます。
			お茶飲みサロン	11	218	包括諏訪の苑	制限なし	毎月第3水曜日13:45～15:15 体操・脳トレ・様々なレクリエーション・歌の後、お茶を飲みながら情報交換を行い交流を深める。	歩いてくるのが大変だけど楽しい。迎えに来てくれたり、掃りも一緒に掃ってくれる人がいるので助かっています。毎月、楽しみにしています。
			若年大宮のつとい	9	101	包括諏訪の苑	若年で発症した認知症の方と介護している家族	毎月第4水曜日11:00～13:00 会費200円(軽食)介護者同士の情報交換や悩み相談を行う。(ボランティア2名)。	刻々と変わる状態や思いもかけない出来事に日々翻弄されている中で、同じように悪戦苦闘している仲間の話を知り聞いたり頂いたりする事で、また頑張ろうという気持ちになります。見送った後でも気持ちを共有してきた仲間との時間が大切に、何かのお役に立てればと参加継続しています。
			北区介護者の集い	1	25	コスモスクエア6F	介護をしている家族	不定期に開催。初めに音楽鑑賞等で雰囲気作りをして、その後お茶を飲みながら、介護者同士の情報交換や悩み相談を行う。	懐かしい歌をみんなで歌って楽しかった。2部構成で家族だけの時間、当事者同士の交流の時間がありとてもよかった。

令和元年度さいたま市地域包括支援センター介護者サロン実施一覧

区	圏域	センター名	サロン名	開催回数(延べ)	参加人数(延べ)	会場	対象者	内容等	介護者サロンの参加者の主な声
北	西部	ゆめの園	ほっとサロンつば(介護者のつどい)	11	184	日進公民館	限定なし	毎月第1月曜日13:30~15:00 地域住民対象のミニ講座。講師を依頼し介護や健康や生活をテーマに知識を広める。講座後は、お茶を飲みながら、情報共有や情報交換をし、交流をはかる。	「色々な講座を通して、介護や医療、社会の事を学べて、とても役立ちます。」 「茶話会でおしゃべりができて、楽しいです。」 「毎回、講座内容が違うので、行くのが楽しみです。」
			リラクゼーションヨガ(介護者のつどい)	11	124	日進公民館	限定なし	毎月第3月曜日13:30~15:00 講師によるヨガ・茶話会	「ヨガをする事で、身体がほぐれて、リフレッシュできる。」 「ヨガ後の茶話会が楽しい。」
			介護者のつどい なでしこ*日進	11	47	日進月歩	限定なし	毎月第三木曜日10:30~11:30 茶話会で情報交換や悩みを話す。	「少人数で他愛のない会話や世間話ができて、気分が明るくなる。」 「認知症介護の体験談が聞けてよかった。」
			オレンジカフェみやび	6	58	雅スクール	限定なし	隔月(偶数月)第4水曜日10:00~11:30 参加費無料。カルチャースクール内で開催。学校のような雰囲気のあるオレンジカフェ。脳トレ、茶話会、認知症介護の体験談。	「小学校の小教室のような部屋と、学校の机等、音を思い出し懐かしいです。」 「毎回、脳トレや作品作り等、催しものが楽しみです。」 「認知症介護の体験談が聞けて良かったです。」 「入れたてのコーヒーやお茶を飲みながら、他愛のない会話をするのが、とても楽しいです。季節感のある茶菓子が出てきて、行事の話で盛り上がります。」
			オレンジカフェ なの花	5	105	大宮明生苑	限定なし	隔月(奇数月)第4土曜日10:00~11:30 参加費100円 有料老人ホーム内でのオレンジカフェ。厨房手作りの焼きたてのパンを食べながら、カフェのような雰囲気。ロコモ体操、レクリエーション、介護相談等。近隣のグループホーム入居者も参加。	「手先を使って季節感のある作品を作ったりすることで、認知症予防になります。」 「定期的に児童との交流があるのが楽しい。子供達と一緒にいると若いパワーを貰える。」
大宮	東部	白菊苑	介護者サロン(フリー)	3	9	白菊苑201会議室	限定なし	日頃の悩みを語り合ったり情報交換をしたりできる場所 ほっと一息つける集いの場	実際に介護している人から話を聞き、参考になった。 悩みを共有出来てよかった。
			男性介護者サロン	2	16	白菊苑201会議室	男性介護者	介護をしている男性同士で相談や情報交換ができる集いの場	自分が大変だと思っていることや困っていることを話せる。
			ケアラズカフェ だんだん	11	46	埼玉福祉保育医療専門学校 第2校舎4階	限定なし	想いを話したり、ゆったり寛いだり、介護者同士の情報交換ができる場所 共催:ほっと・おみや	参加すると息抜きになる。
			オレンジカフェほほえみ	5	185	ニチイケアセンター大宮公園	限定なし	グループホームにて開催 ミニ講座や茶話会を行い、お話ししたりリフレッシュできる場所 共催:ニチイケアセンター大宮公園	参加するといろいろな情報が聞けるから良い。 講座を楽しみに参加している。 施設に入居している方と交流ができるのでよかった。 認知症の人のイメージが変わった。 いろいろな話を聞けてよかった。
			グリーンセル オレンジカフェ	10	176	グリーンセルカルチャーサロン	限定なし	個人宅にて開催 ゆっくりお話をしたり相談し合ったりしながら、リフレッシュできる場所 サロンやコンサートなどのイベントを年数回企画。	毎回楽しみに参加している。 認知症がある方はサービスは拒否するがオレンジカフェには一緒に参加してくれる。 参加者の人たちから元気をもらえる。
			オレンジカフェふくふく	1	22	埼玉福祉保育専門学校 第2校舎1階	限定なし	埼玉福祉保育専門学校(介護福祉士科)の学生とともに企画、運営を実施 留学生も含め、多世代交流・国際交流を持ちながら、お話ししたりリフレッシュできる場所 共催:埼玉福祉保育専門学校	楽しく参加できた。 学生さんとの交流がよかった。 また参加したい。 外国の学生から外国の話が聞けてよかった。 知らない文化を聞くことができて貴重な機会だった。
			西部	春陽苑	リフレッシュサロン	10	61	大成公民館 三機公民館 桜木公民館 西大宮病院 パナソニックエイジフリー 桜本二丁目自治会館 メディカルケアサービス	介護している方 介護していた方
オレンジカフェ	11	233			かえりえ 上小町	制限なし	飲食、談話、相談、ストレッチ体操、歌のレクリエーション等	「歌は本当に楽しい。歌があるときには参加したい。声が出せるのが良い。」 「笑いヨガは楽しかった。他方で「何がおかしいのか!」と怒っている方もいた。」 「尺八を触ったことがなく、吹いたりするのも楽しかった。(ボランティア参加時)」	

令和元年度さいたま市地域包括支援センター介護者サロン実施一覧

区	圏域	センター名	サロン名	開催回数(延べ)	参加人数(延べ)	会場	対象者	内容等	介護者サロンの参加者の主な声	
見沼	北部	やすらいぎたのま里	やすらぎサロン	10	157	春岡公民館 さいたまやすらぎの里	介護をしている人 どなたでも	介護について知りたい方が、どなたでも参加できる「学ぼう会」と介護をしている方向士が、気持ちを語りあう「語ろう会」を行っている。	介護に役立つ情報が得られるので助かる。 他の人の話も聞きたい。	
			オレンジカフェはるおか	10	347	春岡地区社会福祉協議会	認知症の本人 介護者、支援をしている人	・介護を行っている家族やその本人だけではなく、地域住民や専門職等のだれもが参加でき、認知症の理解を広げる集いの場。毎月、第3木曜日に地区社協の集会所を利用して開催で行っている。ミニ講座や音楽会など企画している。	毎月開催を楽しみにしている。 認知症の夫と二人で行ける場所があっというらしい。	
	東部	敬寿園七里ホーム	ななさとサロン	9	13	敬寿園七里ホーム	地域の介護者	寿々の会(ボランティア団体)と共に日々の介護者の介護状況や介護経験、悩み等の意見交換や情報交換を行う。	久しぶりに参加しました。偶然ですが、ボランティアさんも以前お話しした方と同じだったのうれしかったです。	
			けあけあ交流講座	2	41	敬寿園七里ホーム	地域の介護者や 介護に興味のある方	介護や医療に関する講座や交流を行い、在宅介護等を行う上での勉強や意見交換や情報交換を行う。	高齢者住宅の選び方とポイントについて学ぶことができました。施設見学方法は、施設と直接やり取りしなくてもできる事がわかりました。	
			オレンジカフェ 縁がわ (七里地区社会福祉協議会と共催)	11	368	敬寿園七里ホーム	認知症の方、 地域住民、介護者、 専門職等	茶話会を中心に、脳トレ体操やボランティアのピアノ演奏等を組みあわせて地域の交流の場としている。	コミュニティバスを利用しているので17日(開催日)が平日であれば参加できます。 月に1回縁がわで仲間に来ておしゃべりするのを楽しみにしています。	
	西部	大和田	介護者のつどい	10	53	見沼区役所多目的室	介護者・本人	介護者や本人の日常生活状況や介護状況、介護経験、悩み、不安等の意見交換、情報交換、情報提供を行う。	話せる場所があって良かった。 悩みをみんなに聞いてもらえるだけでも元気が出る。 ・手作りのカードが毎回あるので楽しい。 ・認知症についての情報が聞けるので良かった。	
			オレンジカフェあつたか	9	98	ニチケアセンター堀崎	認知症の人と 家族、地域住民、 専門職等	お茶を飲みながらの交流、情報交換の場	・他の参加者のいる中での相談ははしにくい。 ・介護保険について知りたい。 ・認知症の話が聞きたい。	
			オレンジカフェまつぼっくり	9	108	見沼緑水苑1階ラウンジ	認知症の人と 家族、地域住民、 専門職等	お茶を飲みながらの交流、情報交換の場	・声を出して歌ったり、指の運動等が出来て楽しかった。 ・歌が好きなので毎回歌いかけた。 ・毎回楽しんでいる。 ・朗読、バイオリンがとても良かった。	
			オレンジカフェ東大宮	7	116	ディーフェスタ東大宮1階食堂	認知症の人と 家族、地域住民、 専門職等	ミニ講話、個別相談、情報交換、交流	・回想法での昔の映像が懐かしかった。 ・笑いヨガ、学生のバルーンアートが良かった。 ・ハーモニカ演奏と一緒に歌って楽しかった。 ・アンサンブル演奏はもっと長い時間聞きたかった。	
	南部	敬寿園	かたらいの場	11	11	ケアサポートサロンみぬま	介護者	介護者同士の交流、情報交換	・ボランティア団体寿々の会の協力のもと開催。 ・かたらいの場に参加した介護者が、認知症の家族と共に参加できるいきいき百歳体操や認知症カフェの情報を得たことで、新たな参加の場に繋がった。「一緒にいける場所が増えた良かった」	
			カフェ楽苑南中野	11	78	地域包括支援センター敬寿園	認知症の人と 家族、地域住民、 専門職等	茶話会、体操やミニ講座	・地域の薬剤師や民生委員も参加され、情報交換の場となっている。 ・「顔馴染みの方と月一度会えるのが嬉しい」	
			カフェまる	10	73	ボランティア宅	認知症の人と 家族、地域住民、 専門職等	茶話会、体操やミニ講座	・「ボランティア宅にいる犬や猫と触れ合えることが楽しい」と、小学生も認知症の祖母と共に参加している。 ・「近所の方がギター演奏や歌を披露してくれたり、みんなで歌うのが楽しい」 ・オレンジパートナーの活躍の場ともなっている。	
	中央	北部	ナース と 野 グ ヴ イ ラ	バラのまちと野のつどい	5	55	①特別養護老人ホームナーシングワイルド ②特別養護老人ホームきりしき	介護者、本人、 「認知症の人と 家族の会」世話 人、 専門職等	「認知症の人と家族の会」の世話人をはじめとする介護経験者やケアマネジャーも参加し、日頃の介護の悩みの相談や情報交換・交流の場としている	・初参加者「どこに相談したら良いかわからなかったが、包括とつながることができて良かった」。 ・2度目の参加者「ここにきて友人ができた。心強い」。 ・「終了後の雑談で更に踏み込んだ話ができて、肩の荷が下りた。」 ・3年ほど参加している介護者「悩みを吐き出したり、他の方へのアドバイスもできるようになった」。
				オレンジカフェよの	10	130	与野本町デイサービスセンター3階	認知症の方、ご 家族、地域住民、 専門職等、どなた でも	茶話会、簡単な体操、当事者や介護者同士が交流できる場。ピアノがあり、時に演奏する方もいる。	・「毎月来るたびに皆に力をもらっている」 ・「介護のアドバイスをもらって心がスツとした」
				ひろちゃんカフェ	3	23	ご本人宅	若年性認知症の 方、ご家族、民生 委員、専門職等	茶話会、ピアノ演奏、若年性認知症の方同士の交流	【ご家族】「カフェの前には身だしなみを整えるなど、本人にとって良い刺激となっている。【民生委員】「マンションの自治会や管理人も認知症の方への理解が深まっている」
南部		きりしき	バラのまちと野のつどい	5	57	①特別養護老人ホームきりしき ②特別養護老人ホームきりしきユニット棟2F会議室	介護者、本人、 「認知症の人と 家族の会」世話 人、 専門職等	認知症の人と家族の会の人やケアマネジャーも参加し、日頃の介護の悩みの相談や情報交換・交流の場としている	初めて参加された方：普段話す機会のない内容を聞いてもらえてよかった。参加者からの助言もただで参考になった。 リビート参加されている方：しばらくぶりになみなさんとお顔合わせ出来るのが良い。	
			おれんじサロンきりしき	15	57	①特別養護老人ホームきりしき ②特別養護老人ホームきりしきユニット棟2F会議室	認知症の人やそ の家族、本人や 家族に関わる地 域の方	お茶やお菓子を提供し日頃の介護の悩みの相談や情報交換・交流の場としている	ゆつりを時間をかけてお話し出来たり、聞くことができ良かった。	



令和元年度さいたま市地域包括支援センター介護者サロン実施一覧

区	圏域	センター名	サロン名	開催回数(延べ)	参加人数(延べ)	会場	対象者	内容等	介護者サロンの参加者の主な声
桜	北部	彩寿苑	オレンジカフェマクドナルド埼玉大通り店	10	108	マクドナルド埼玉大通り店	認知症の方や介護をされている家族、地域住民	相談、茶話会、交流	メンバーが顔見知り同士で話しやすく、和気あいあいと楽しい。
			彩寿苑サロン	5	140	彩寿苑	介護をしている家族、地域の高齢者	介護者の集い、会食、創作活動、健康講座	ランチ付きで、食事の内容が特に美味しいと好評。
			寿楽荘カフェ	5	128	寿楽荘(老人福祉センター)	地域の高齢者	茶話会、ミニ講座	様々な講師(警察官、消防士等)の話が聞けて、ためになる。
			介護者のつどい	6	25	彩寿苑	介護をしている家族、地域の高齢者	相談、情報交換、ミニ講座	介護に苦労している人同士、話が合って盛り上がる。ストレス発散になる。
	南部	ザイタック	オレンジカフェ	29	201	①みんなの家・中浦和 ②田島団地Eラウンジ ③夢眠さくら	認知症の方、介護をしている家族、地域住民、専門職	認知症に関する情報交換、茶話会、講話など	・オレンジカフェをとても気に入っている ・もっと参加者を増やしている人々と交流したい
			介護者ハッピーカフェ	13	109	①グループホーム山久保 ②にしらわ内科クリニック	認知症の方、介護をしている家族	情報交換、茶話会	・財産管理や遺言など、どこに相談に行けばよいか分からなかった ・介護していた当時の苦労話や自分の表えへの不安を話すことができた
	北部	かさい医院	メンズ音楽部	5	14	針ヶ谷公民館	男性介護者	・男性介護者を対象にした集い。主に調理実習を行っている。料理やお菓子を食べながら介護の悩みや趣味の話等で楽しく時間が過ぎている。	・調理実習で行う料理が参考になる。介護の悩みなどの話ができるのが良い。
			カフェケア木	11	59	北浦和公民館	介護者 介護経験者	・介護者の集い。お飲み物やお菓子を用意しカフェのようにほっと一息ついて、介護の悩みや経験をお話いただき、共感しあったり情報提供したりしている。	・参加された皆さんとお話が出来て良かった。介護経験者の方のお話が聞けたので参考になった。
			さぼーと	6	43	針ヶ谷公民館	認知症の方 一般の方	・認知症の方も地域の方も気軽に立ち寄れるカフェのようなサロン。お菓子や飲み物を用意し自由な雰囲気の中で会を進めている。	・話を出るところがありませんのでこういう所はとても良い。
			ダブルケアカフェ	6	51	あいばれっと	ダブルケア対象者	・主に、「子育て」と「高齢者介護」を同時に行っている方の交流の場となっており、各自子育てと介護のはさまで悩んでいることや困っている事を語り合う場となっている。託児ボランティアも依頼しているため。	・同じ境遇の人とお話が出来て嬉しい。辛いのは自分だけではないと思える。
オレンジウォーキング			6	43	見沼周辺	認知症の方 一般の方	・認知症の方も地域の方も気軽に参加できるウォーキング。春夏秋冬は見沼の自然を観察しながら、植物の説明をガイドの方から聞くこともできる。冬は浦和郷土文化会の方をお呼びして地区内の歴史散策を行っている。	・ウォーキングしながら季節や歴史を感じることで皆さんとお話できるのが楽しみである。	
東部			スマイルハウス浦和	浦和領家のつどい	11	84	領家公民館	介護者・一般の方	・「認知症の人と家族の会」「在宅介護支援センターらしん」の協力を得て、訪問看護・訪問リハビリ・薬剤師・歯科衛生士等の介護・医療の専門職を招いて、1時間程度の講座と、「今困っていること」講座の内容についてなど話し合う茶話会を開催している。
	大東のつどい	2		2	大東公民館	介護者・一般の方	・「領家介護を考える会」の協力を得て、介護をされている方の悩みや訴えをじっくり傾聴している。	・地域の施設やデイの情報交換もしたい。	
	おたっしやのつどい	1		2	おたっしや倶楽部うらわ	介護者・一般の方	・小規模多機能型事業所の利用者のご家族を中心に集まる。介護の困りごとや、介護保険についての質問を受け、事業所の担当者へ交えて茶話会を行っている。	・介護の大変さを共有できる場があるのは大変ありがたい。	
	オレンジカフェ瀬ヶ崎	11		165	愛・グループホーム瀬ヶ崎	本人・介護者・一般の方	・最初に「いきいき100歳体操」をご利用者と一緒に行う。脳トレを楽しんだり、茶話会を行っている。	・茶話会や百歳体操を通じてみんなと会えるのが楽しみ。	
	なんがのつどい	2		10	南宮公民館	本人・介護者・一般の方	・「領家介護を考える会」の協力を得て、朗読をご家族や認知機能の低下した方と一緒に楽しみながらの茶話会を行っている。	・普段から声を出すことが少なく、声を出すことが気持ち良く、ストレス解消になった。 ・詩や歌詞から介護や認知症の話にまで広がって、興味深かった。	
	オレンジカフェルピナス	2		22	ルピナスケアセンター	本人・介護者・一般の方	・悩みや困りごとを皆で共有しながら助言。茶話会も行う。 ・歯科医の「お口の健康の話」の講話も開催した。	・地域の方に誘ってもらって来てみたが、勉強になったし、良い時間だった。	
	介護者のつどい	6		52	ジェイコー埼玉老健会議室	認知症の家族を介護されている方、介護し看取った方	・各自介護で悩んでいること、困っていることなど語り、共感したり経験した方からの経験談を聴く。時にはアドバイスをもらう。	・まだ本格的な介護をされているわけではないが、今後どうなっていくのか、どうしたらよいかなど知っておきたい。 ・デイサービスに行かされたが嫌がって続かなかった。このままでよいのか、どこに相談したらよいのかと思いついた。	
中部	ジェイコー埼玉	終末期のつどい	5	54	ジェイコー埼玉老健会議室	認知症終末期の家族を介護されている方、介護し、看取った方	・各自介護で悩んでいること、困っていることなど語り、共感したり経験した方からの経験談を聴く。時にはアドバイスをもらう。7月は看取り後のつどいも合同で実施している。	どのタイミングで胃ろうにするのか、他の選択肢はないのか、決断が難しい。経験者の話は参考になる。 ・看取りの経験も、同じように困っている方の何か役に立てればと参加している。	
		おれんじカフェ	10	142	ジェイコー埼玉老健ケア室	限定なし	・各自介護で悩んでいること、困っていることなど語り、共感したり経験した方からの経験談を聴く。時にはアドバイスをもらう。 ・フルーツのミニコンサートを行っている。	・デイサービスに行かなくなってしまい、ケアマネジャーの紹介で連れてきた。介護の悩み事を相談できるだけでなく本人の話を傾聴してくれるので、また参加したい。 ・おしゃべりやここでお弁当を食べるのが楽しみ。	
		ダブルケアカフェ	6	51	あいばれっと	ダブルケアの方(子育て、高齢者介護)	・主に、「子育て」と「高齢者介護」を同時に行っている方の交流の場となっており、各自子育てと介護のはさまで悩んでいることや困っている事を語り合う場となっている。託児ボランティアも依頼しているため、子供を連れての参加も可能となっている。	・経験している方から自分の気持ちの持ち方やアドバイスがもらえて良かった。 ・辛いこともあるが、ここに集ると明るい気持ちになれるのでまた来ようと思えます。 ・ダブルケアカフェがいろいろな場所で広まるとよい。	

令和元年度さいたま市地域包括支援センター介護者サロン実施一覧

区	圏域	センター名	サロン名	開催回数(延べ)	参加人数(延べ)	会場	対象者	内容等	介護者サロンの参加者の主な声
浦和	南部	尚和園	介護者サロン仲本荘	5	53	老人福祉センター仲本荘 ※奇数月開催	介護者 高齢者	・コーヒーを飲みながら、介護者、高齢者の相談に応じ情報を提供している。 ・専門のスタッフもおり、成年後見制度等についての相談等も行うことができる。	・集える場所があり、近況が話せるので楽しみ。 ・介護疲れでストレスが溜まっていたが、話を聞いてもらえたので嬉しかった。
			介護者サロン岸町	11	59	岸町公民館	介護者 高齢者	・コーヒーを飲みながら介護者、高齢者の相談に応じ情報を提供している。 ・専門のスタッフもおり、成年後見制度等についての相談等も行うことができる。 ・ハンドセラピーにより、心身共にリフレッシュできる場となっている。	・認知症の相談が出来て良かった。 ・薬剤師からの専門的な情報がもたらえたので良かった。
			オレンジカフェ円蔵寺	10	117	円蔵寺	認知症高齢者 家族 地域住民	・参加者の宗派は問わない。 ・お寺による写経や法話等、茶葉を提供しての款待、月ごとのイベントや専門職によるミニ講座等を開催し、認知症の予防や交流・情報交換などを行っている。 ・専門のスタッフによる介護相談や介護サービス等の情報提供もしている。	・認知症や介護に関する新しい情報が得られて良かった。 ・副住職の講話などを楽しみに参加している。
			オレンジカフェトレノヴェ	11	16	喫茶店トレノヴェ	認知症高齢者 家族 近隣住民	・フロの入れたコーヒーを飲むことで一般的な生活の中で款待することでリラックスできる場となっている。 ・静かな環境で情報交換ができ、本人や介護者同士の交流やつながりができる。 ・ハーモニカの演奏に合わせて合唱することで、ストレスの発散につながる場となっている。	・ここでしか顔を合わせない人もいるが、楽しい気持ちで過ごす事ができた。 ・ゆっくりと話ができ良かった。
南	東部	社協みなみ	おしゃべりカフェみなみ	10	69	南浦和公民館	介護者、 介護経験者	介護者や介護経験者、 介護に関心のある方との意見交換、情報交換。	・馴染みの人と会えるので、参加を楽しみにしている。 ・色々な方の意見を聞け、介護の参考になる。 ・ミニ講座での「相続」の話は為になった。今後も介護に関する講座を聞いてほしい。
			オレンジカフェみなみ	10	47	大谷場共同自治会館	介護者、当事者、 専門職、 地域住民等	認知症に関する情報交換、交流、相談	・今後の自分のために参加している。 ・認知症にならないように気を付けたいと思う。 ・月に一度ここに来て話すのがうれしい。
	中部	ハートランド浦和	辻ニチイおしゃべりルーム	3	26	ニチイケアセンター武蔵浦和	制限なし	健康講座・談話・防災	今年度グループホームでの開催が4月から初回となりホーム長を中心に皆を話しの中へ引き入れ会話が弾んだ。参加者の方から「元気なうちは良いが、体調が悪化した時は、どのようにしていけばよいか？」との質問に「お困りことはいつでもご連絡ください。」と、ホーム長に言われたことで、「とても安心しました。」と話された。
			おしゃべりルーム文蔵	5	21	文蔵公民館	制限なし	健康講座・談話・歌・ 脳トレ・体操	新規の参加者であったが、今まで特に介護経験も介護体験もなく介護のことが何も分からずに参加した。介護体験を聞く事により「とても参考になった。」と話される。また、介護している方の不安な思いを皆で共有し、解決の方法を話し合うことにより、「大変勉強になった。」との意見があった。
			おしゃべりカフェ	4	44	ラヴィール武蔵浦和	制限なし	談話・脳トレ・手工芸	「隔月のため、より参加者との会話・手工芸が楽しく、毎回楽しみに参加しています。」との声を頂いている。
			オレンジカフェ	9	304	ハートランド浦和	制限なし	相談・談話・脳トレ・歌	年間の開催数は12回の予定であったが、ハートランドアイ閉鎖・台風も重なり9回の開催であったが、参加者からは、「午前中の体操・脳トレ・歌・隣席の方との会話を毎月第2日曜日が楽しみ。」と言う方が多かった。若年性認知症の夫とその妻が参加し皆と脳トレ・歌を楽しんだ。「このような場所と機会があることが有難い。」との声があった。
			介護者サロン拡大版	1	15	ハートランド浦和	制限なし	介護講習 (車椅子操作・衣服の着脱)	車椅子操作・衣服の着脱の体験を行う。毎年同じような企画だが、参加者からは、「毎回新鮮であり今後、介護をされる側・する側に立ったときに役に立つ。」との声が多くなる。
	西部	けやきホームズ	だいじょうぶ会	11	120	コミュニティー サロンbe-room	介護をしている方 介護をされている方 介護を終えた方	茶話会	・参加者同士で話すだけではなく、シニアサポートセンターの職員に介護の相談や質問ができるのがいい。 ・ここで知り合った方と仲良くなり、交流をしている。一緒に他のイベントにも参加している。介護から離れる時間が少しもてるようになり良かった。
			おひさまサロン	10	29	西浦和公民館	介護をしている方 介護をされている方 介護を終えた方	茶話会、 簡単な作品作り等の趣味活動	・月に1回だけでも、ここに来て顔見知りの人に会い話をすることが楽しみにしている。外出のきっかけにもなった。 ・ただ話すだけではなく、何か作りながらのおしゃべりもいい。
			オレンジカフェ癒しの家	10	134	愛の家グループホーム さいたま松本	対象者限定なし	茶話会、認知症に関する ミニ講座や音楽やアロマ等による癒しの時間、 入所者との交流	・入居者の方々が外を散歩をしている時に偶然会い、自ら挨拶をした。認知症の方だとあまり身構えずにお話できた。 ・自分の周りにももしかしたら認知症かなと思う方がいるが、こまめに連絡を取るようになっている。
オレンジカフェなごみの家			5	27	スマイリングホーム メディス武蔵浦和	対象者限定なし	茶話会 認知症に関するミニ講座や音楽による癒しの時間 入居者との交流	・誰かに話を聞いてもらうことで気持ちが晴れた。話せてよかった。 ・なかなか友人や近所の人と認知症のことについて話す機会がない。ここだとたくさん話すことができる。	
緑	北部	リパティハウス	介護者のつどい	10	39	①スマイルハウス ②三宅ふれあい会館 ③道祖土 地藏堂 ④リパティハウス ⑤大古里公民館 ⑥白寿園	対象者限定なし	介護者同士の交流 茶話会	・同じ境遇の方と話ができて、気持ちが楽になった。 ・月に一回、皆さんと集まることができて、楽しみにしている。 ・いろんな情報が聞けて、勉強にもなる。
			介護者サロン みどり (浦和しずや苑と共催)	8	34	緑区役所1階多目的ホール	対象者限定なし	介護者同士の交流 茶話会	・介護を経験した方と話ができて、共感することも多く、自分の話も聞いてくれるのでよかった。 ・毎月、皆さんと話ができることを楽しみにしている。
			オレンジカフェ	33	379	①白寿園デイサービスセンター ②グリーンヒルらわ (喫茶おれんじ) ③大門中自治会館	対象者限定なし	介護者同士の交流	・昔夢中になっていた将棋を皆さんとすることができて、よかった。 ・散歩がてら、オレンジカフェに行くのを楽しみにしている。

令和元年度さいたま市地域包括支援センター介護者サロン実施一覧

区	圏域	センター名	サロン名	開催回数(延べ)	参加人数(延べ)	会場	対象者	内容等	介護者サロンの参加者の主な声
緑	南部	浦和しぶや苑	介護者サロン	6	18	浦和しぶや苑	対象者限定なし	介護者同士の交流・茶話会	ここに来るといろいろ話せて安心します。
			介護者サロン みどり(リハビリハウスと共催)	8	34	緑区役所1階多目的ホール	対象者限定なし	介護者同士の交流・茶話会	ここに来るといろいろ話せて安心します。
			おれんじかふえ(尚和園と共催)	10	48	尚仁堂	対象者制限なし	認知症・ご家族・地域の方の交流の場	みんなと話ができて毎回楽しみです。
			おれんじかふえ	9	45	市民セレモ	対象者制限なし	認知症・ご家族・地域の方の交流の場	みんなと話ができて毎回楽しみです。
			おれんじかふえ(アズハイム東浦和と共催)	10	99	アズハイム東浦和	対象者限定なし	認知症・ご家族・地域の方の交流の場	みんなと話ができて毎回楽しみです。
岩槻	北部	松鶴園	岩槻北部おれんじカフェ名栗	11	231	特別養護老人ホーム岩槻名栗園地域交流室	限定なし	毎月第2月曜日午後開催 茶話会 脳トレ・レクリエーション	・一緒に話をしたり、物を作ったりいろんな体験が出来て楽しい。 ・顔見知りが出てくるので、知っている顔を見られることがうれしい。
			介護者サロンなごみ ひなの社	5	23	特別養護老人ホームひなの社	限定なし	偶数月第3木曜日午後開催(8月を除く) 茶話会 情報交換会	・地域の情報を聞く事ができてよい。 ・台風19号の時の避難について等、サロンの中で情報の共有が出来て安心できた。
			介護者サロンなごみ 松鶴園	2	9	特別養護老人ホーム松鶴園	介護者	不定期開催(7/26、11/26) 茶話会 個別相談	・専門職(認知症ケア専門士)がじっくり話を聞いてくれてよかった。 ・会場提供施設の施設長、相談員が出席。その際、特養ホームの特徴、料金の違い等についての説明があり、参考になった。 ・不定期開催の為、いつあるのかわからなくて参加が難しい。
			介護者サロンなごみ 千年の里	4	13	特別養護老人ホーム千年の里	限定なし	奇数月第3木曜日午後開催(1月を除く) 茶話会	・昨年夫を亡くした元介護者が2名参加。互いに喪失体験等共有できてよかった。 ・いろいろな方の体験談を聞くことができてよい。
			介護者サロン フローラ岩槻西町	1	6	グループホームフローラ岩槻西町	限定なし	不定期開催(12/23) 茶話会 情報交換会 施設見学	・グループホームがどういふところか分かった。 ・施設の中を見せてもらい、金額のことなど詳しく教えてもらえて、大変勉強になった。 ・認知症の夫も、今は近所の理解を得て生活しているが、いざというときに入所をお願いしたい。
	中部	社協岩槻	介護者サロンやまぶき	10	72	岩槻本町公民館	介護者、当事者	毎月第4水曜日開催 茶話会、ミニ講座等	他の参加者の体験談やアドバイスにより気持ちが悪くなった。もう少し頑張ろうと思えた。 被介護者が自宅で転倒した時に顔に傷ができ、自分が虐待を疑われて悲しかったが、サロンで皆に励まされ元気になった。
			男性だけの介護者のつどい	9	47	城址公民館	男性介護者	毎月第2火曜日開催(6月・1月を除く) 男性同士の悩み等の相談や介護保険利用の情報交換	男性のみなので話しやすい。 認知症徘徊模擬訓練に参加したが、有意義だった。今後も参加したい。
			オレンジカフェ えがお	10	121	細田医院早朝待合室	介護者、当事者	毎月第3木曜日開催(8月を除く) 茶話会、百歳体操、利用当事者からの歳時記講話、童謡・歌謡の合唱、折り紙など	スタッフが多くアットホームな雰囲気を楽しみ。 歌や体操ができて良い。
	南部	白鶴ホーム	介護者サロン虹	11	62	ハーウィル東岩槻	介護者、当事者、介護経験者	毎月第3火曜日に開催 茶話会、情報交換	「聞こえの勉強会」や「口腔ケアの重要性」を知っておきたい/健康のこと、お金のこと等の講座を介護者サロンに取り入れたが、とても評判が良く参加者も多かった。今後も講座を定期的に行ってほしいとの要望が多く聞かれた。
			新和リフレッシュサロン	3	35	新和地区社会福祉協議会事務所	限定なし	不定期開催(6/26、9/25、11/27、2/26) 絵手紙、ピアノ演奏と合唱、レクリエーション、茶話会	昨年度に引き続き絵手紙を中心にサロンを行ったが、参加者が固定化し、作品が上達するとともに絵手紙が楽しみで参加していると言う声が多く聞かれるようになった。今年度は、絵手紙以外にも認知症高齢者自身によるピアノ演奏や講座等の企画を取り入れたが、大変好評であった。
			和土ほっとサロン	3	27	和土地区社会福祉協議会事務所	限定なし	不定期開催(7/13、9/14、11/9、2/8) 工作、茶話会	不定期開催、工作(デコパージュやアクセサリー作りなど)と茶話会で構成されており、女性中心の参加者が徐々に顔なじみのメンバーとなっている。工作は、自分で作った作品をお持ち帰りできるので、参加した皆さんから「参加してとても良かった。」「作品のお土産があり嬉しい。」などの感想をいただいた。
			おれんじカフェ フレンド	11	164	東岩槻中央自治会館	介護者、当事者を中心に地域住民や認知症サポーター、専門職など	回想法とレクリエーション、茶話会 毎月第2金曜日開催	懐かしい映像や音楽を使った回想法レクリエーションを認知症本人によるピアノ・ハーモニカ演奏 & 茶話会を行っており、毎回多くの参加者がある。回想法は全員で楽しみ、懐かしむことができるという声が多い。認知症本人が得意な事を活かし活躍する場を提供することで「生きがいを見つけた」「皆さんに楽しんでもらえて嬉しい」と言う声があがり、毎回、楽しみにされている。

空白のページ

令和元年度

さいたま市地域包括支援センター

決算状況について

令和元年度 地域包括支援センター決算状況

区	センター名	高齢者 人口数 (H30.10.1)	必要 職員数	収入 (A)+(C)	支出 (B)+(D)	収支状況 (A)+(C)-(B)+(D)	他会計から 繰入 (A)	他会計へ 繰出 (B)	収入(C)				
									委託料収入		介護保険収入		雑収入
						包括的支援事業			認定調査委託料	要支援者ケアプラン等 作成収入 (初回加算等含む)	介護保険住宅改修 理由書手数料		
西	北部圏域 三恵苑	13,426	7	65,298,169	68,192,235	-2,894,066	0	0	37,659,139	0	27,249,193	0	389,837
	西区南部圏域 くるみ	10,726	6	57,977,705	57,175,558	802,147	0	0	34,769,136	0	23,193,449	15,120	0
北	北部圏域 緑水苑	11,095	6	56,318,091	56,318,091	0	0	0	34,869,139	0	21,285,165	10,840	152,947
	東部圏域 諏訪の苑	10,378	6	59,900,345	59,900,345	0	5,947,135	0	34,209,139	0	19,712,231	10,840	21,000
	西部圏域 ゆめの園	9,352	5	47,278,498	47,278,498	0	0	0	30,744,139	0	16,490,879	6,480	37,000
大宮	東部圏域 白菊苑	13,467	7	56,299,485	56,245,258	54,227	0	0	30,910,805	0	25,049,720	2,160	336,800
	西部圏域 春陽苑	12,948	7	59,150,961	59,266,512	-115,551	0	0	36,514,139	0	22,585,256	21,800	29,766
見沼	北部圏域 さいたまやすらぎの里	6,754	4	35,028,430	34,851,237	177,193	0	0	23,559,139	0	11,463,291	0	6,000
	東部圏域 敬寿園七里ホーム	10,235	6	49,821,613	49,657,975	163,638	0	0	29,944,139	8,720	19,567,334	8,720	292,700
	西部圏域 大和田	13,374	7	48,337,474	48,305,962	31,512	0	0	30,967,471	4,320	17,337,603	28,080	0
	南部圏域 敬寿園	11,880	6	57,475,015	56,731,254	743,761	0	0	34,194,139	0	23,244,461	21,640	14,775
中央	北部圏域 ナーシングヴィラ与野	10,334	6	51,329,931	51,303,827	26,104	0	0	30,559,139	0	20,484,892	6,520	279,380
	南部圏域 きりしき	10,715	6	51,319,900	51,299,468	20,432	0	0	32,959,139	0	18,358,459	2,160	142
桜	北部圏域 彩寿苑	10,375	6	44,743,238	42,199,286	2,543,952	0	0	25,630,807	173,920	18,928,745	8,680	1,086
	南部圏域 ザイタック	12,104	7	52,183,279	51,734,958	448,321	0	0	31,942,055	0	20,216,615	6,520	18,089
浦和	北部圏域 かさい医院	8,856	5	46,180,224	46,165,480	14,744	0	0	30,331,139	4,320	15,667,285	6,480	171,000
	東部圏域 スマイルハウス浦和	8,966	5	42,418,188	41,047,353	1,370,835	0	0	24,470,805	0	17,908,082	6,480	32,821
	中部圏域 ジェイコー埼玉	7,309	4	35,709,636	40,670,231	-4,960,595	0	0	23,594,139	0	12,077,497	0	38,000
	南部圏域 尚和園	8,087	5	45,418,405	43,117,705	2,300,700	0	0	31,094,139	0	14,307,170	0	17,096
南	東部圏域 社協みなみ	12,678	7	52,569,628	50,041,241	2,528,387	0	0	35,154,971	0	17,404,297	4,360	6,000
	中部圏域 ハートランド浦和	13,566	7	58,323,027	66,720,007	-8,396,980	0	0	33,444,148	0	24,846,239	8,640	24,000
	西部圏域 けやきホームズ	9,675	5	44,322,125	40,123,016	4,199,109	0	0	28,995,389	0	15,298,019	15,280	13,437
緑	北部圏域 リバティハウス	12,356	7	54,907,782	53,500,893	1,406,889	0	0	33,218,930	0	21,688,852	0	0
	南部圏域 浦和しぶや苑	14,663	8	59,976,441	59,710,556	265,885	0	0	37,322,500	0	22,467,961	8,680	177,300
岩槻	北部圏域 松鶴園	12,829	7	56,379,212	55,375,922	1,003,290	0	0	32,574,139	0	20,670,725	4,320	3,130,028
	中部圏域 社協岩槻	9,436	5	40,182,261	37,762,329	2,419,932	0	0	26,229,139	0	13,941,122	0	12,000
	南部圏域 白鶴ホーム	11,397	6	49,127,230	49,127,230	0	0	0	30,934,139	0	18,184,602	4,320	4,169
合計		296,981	163	1,377,976,293	1,373,822,427	4,153,866	5,947,135	0	846,795,241	191,280	519,629,144	208,120	5,205,373
平均		10,999	6.0	51,036,159	50,882,312	153,847	220,264	0	31,362,787	7,084	19,245,524	7,708	192,792

令和元年度 地域包括支援センター決算状況

区	センター名	高齢者人口数 (H30.10.1)	必要職員数	収入 (A)+(C)	支出 (B)+(D)	収支状況 (A)+(C)-(B)+(D)	他会計から 繰入 (A)	他会計へ 繰出 (B)	支出(D)					
									人件費 支出金額	事務費支出	事業費支出	委託料支出		減価償却費
										要支援者ケアプラン 作成委託料 (初回加算等含む)		払込手数料		
西	北部圏域 三恵苑	13,426	7	65,298,169	68,192,235	-2,894,066	0	0	49,488,258	3,866,598	598,239	13,789,140	0	450,000
	西区南部圏域 くるみ	10,726	6	57,977,705	57,175,558	802,147	0	0	36,743,363	7,434,760	586,716	11,961,689	0	449,030
北	北部圏域 緑水苑	11,095	6	56,318,091	56,318,091	0	0	0	35,832,648	7,320,342	239,705	12,894,355	22,956	8,085
	東部圏域 諏訪の苑	10,378	6	59,900,345	59,900,345	0	5,947,135	0	36,027,965	8,969,272	1,084,891	13,190,373	0	627,844
	西部圏域 ゆめの園	9,352	5	47,278,498	47,278,498	0	0	0	31,949,186	5,107,877	250,574	9,887,464		83,397
大宮	東部圏域 白菊苑	13,467	7	56,299,485	56,245,258	54,227	0	0	32,315,878	7,073,900	5,224,000	11,631,480		0
	西部圏域 春陽苑	12,948	7	59,150,961	59,266,512	-115,551	0	0	42,157,099	7,361,200	1,072,860	8,675,353	0	0
見沼	北部圏域 さいたまやすらぎの里	6,754	4	35,028,430	34,851,237	177,193	0	0	24,591,782	4,889,660	1,148,620	4,221,175	0	0
	東部圏域 敬寿園七里ホーム	10,235	6	49,821,613	49,657,975	163,638	0	0	33,021,954	7,309,215	108,236	9,209,404	0	9,166
	西部圏域 大和田	13,374	7	48,337,474	48,305,962	31,512	0	0	31,237,607	7,599,073	459,540	8,371,862	0	637,880
	南部圏域 敬寿園	11,880	6	57,475,015	56,731,254	743,761	0	0	37,864,589	10,055,742	349,005	8,412,152	0	49,766
中央	北部圏域 ナーシングヴィラ与野	10,334	6	51,329,931	51,303,827	26,104	0	0	37,787,054	1,690,464	218,003	10,953,249	0	655,057
	南部圏域 きりしき	10,715	6	51,319,900	51,299,468	20,432	0	0	37,026,566	1,787,556	1,427,562	11,057,784	0	0
桜	北部圏域 彩寿苑	10,375	6	44,743,238	42,199,286	2,543,952	0	0	30,966,444	3,106,031	459,570	7,667,241	0	0
	南部圏域 ザイタック	12,104	7	52,183,279	51,734,958	448,321	0	0	30,750,247	6,173,725	258,956	14,552,030	0	0
浦和	北部圏域 かさい医院	8,856	5	46,180,224	46,165,480	14,744	0	0	34,357,361	3,440,349	121,094	7,579,676	0	667,000
	東部圏域 スマイルハウス浦和	8,966	5	42,418,188	41,047,353	1,370,835	0	0	22,844,955	5,248,299	180,771	12,621,482	0	151,846
	中部圏域 ジェイコー埼玉	7,309	4	35,709,636	40,670,231	-4,960,595	0	0	31,136,847	1,256,946	2,529	8,273,909	0	0
	南部圏域 尚和園	8,087	5	45,418,405	43,117,705	2,300,700	0	0	32,178,770	3,733,588	44,650	6,752,021	0	408,676
南	東部圏域 社協みなみ	12,678	7	52,569,628	50,041,241	2,528,387	0	0	36,211,849	5,327,581	144,074	8,357,737	0	0
	中部圏域 ハートランド浦和	13,566	7	58,323,027	66,720,007	-8,396,980	0	0	40,694,248	10,655,330	412,660	14,732,269	25,500	200,000
	西部圏域 けやきホームズ	9,675	5	44,322,125	40,123,016	4,199,109	0	0	27,433,126	5,000,721	400,296	7,194,485	4,368	90,020
緑	北部圏域 リバティハウス	12,356	7	54,907,782	53,500,893	1,406,889	0	0	36,176,235	3,951,716	2,291,579	11,081,363	0	0
	南部圏域 浦和しぶや苑	14,663	8	59,976,441	59,710,556	265,885	0	0	41,794,819	5,886,096	257,583	10,388,929	0	1,383,129
岩槻	北部圏域 松鶴園	12,829	7	56,379,212	55,375,922	1,003,290	0	0	36,865,273	6,089,808	242,684	12,178,157	0	0
	中部圏域 社協岩槻	9,436	5	40,182,261	37,762,329	2,419,932	0	0	27,435,574	1,923,494	150,330	8,252,931	0	0
	南部圏域 白鶴ホーム	11,397	6	49,127,230	49,127,230	0	0	0	31,476,865	8,760,485	399,717	8,490,163	0	0
合計		296,981	163	1,377,976,293	1,373,822,427	4,153,866	5,947,135	0	926,366,562	151,019,828	18,134,444	272,377,873	52,824	5,870,896
平均		10,999	6.0	51,036,159	50,882,312	153,847	220,264	0	34,309,873	5,593,327	671,646	10,088,069	1,956	217,441

空白のページ



令和元年度

さいたま市地域包括支援センター

業務評価について

# 令和元年度さいたま市地域包括支援センター業務評価

## 1 概要

地域包括支援センターが、その機能を適切に発揮していくためには、地域包括支援センターごとに業務の状況を明らかにし、それに基づいた必要な機能強化を図っていく必要があります。

こうした観点から、地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律（平成29年法律第52号）において、市町村や地域包括支援センターは、地域包括支援センターの事業について評価を行うとともに、必要な措置を講じなければならないこととされたことから、以下のとおり評価を実施したものです。

## 2 評価時期

業務評価対象期間を令和元年度とし、厚生労働省から提示されている調査項目をもとに令和2年2月に評価をしております。

## 3 評価方法

国が示す調査票に記載されている評価項目に対して、まずセンターが自己評価を実施します。

センターの自己評価に対して各区役所高齢介護課の担当職員が、センター職員へのヒアリングや各種書類の確認等を行い、評価内容を決定しました。

## 4 評価結果

### (1) 評価結果（大項目）

評価項目	結果（市平均）
組織・運営体制（12問）	93.2%
個人情報の保護（4問）	88.9%
利用者満足の向上（3問）	100.0%
総合相談支援（6問）	84.6%
権利擁護（5問）	98.5%
包括的・継続的ケアマネジメント支援（6問）	93.2%
地域ケア会議（9問）	87.2%
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援（5問）	61.5%
業務連携（5問）	92.6%

(2) 評価結果 (個別項目)

1   1  組 織 ・ 運 営 体 制	<b>(1) 事業を適切に運営するための体制構築</b>		はい	いいえ
	市町村が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか。	27	0	
	事業計画の策定に当たって、市町村と協議し、市町村から受けた指摘がある場合、これを反映しているか。	22	5	
	市町村の支援・指導の内容により、逐次、センターの業務改善が図られているか。	27	0	
	市町村が設置する定期的な連絡会合に、毎回、出席しているか。	27	0	
	<b>(2) 担当圏域の現状・ニーズに応じた取組みの実施</b>		はい	いいえ
	市町村から、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報の提供を受けているか。	27	0	
	把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの取組における重点項目を設定しているか。	27	0	
	<b>(3) 職員の確保・育成</b>		はい	いいえ
	三職種（それぞれの職種の準ずる者は含まない）について、必要数を配置しているか。	10	17	
	市町村から、年度当初までに、センター職員を対象とした研修計画が示されているか。	27	0	
	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修（Off-JT）を実施しているか。	27	0	
	<b>(4) 利用者が相談しやすい相談体制の構築</b>		はい	いいえ
	夜間・早朝の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。	27	0	
	平日以外の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。	27	0	
	パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。	27	0	

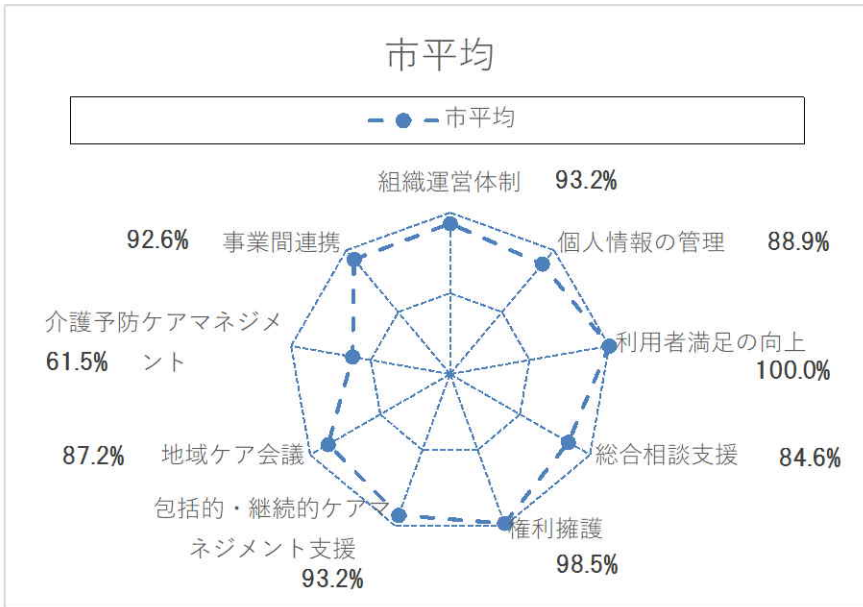
1   2  個人情報 の 管理	(1) 個人情報保護の徹底	はい	いいえ
	個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル（個人情報保護方針）を整備しているか。	26	1
	個人情報が漏えいした場合の対応など、市町村から指示のあった個人情報保護のための対応を、各職員へ周知しているか。	27	0
	個人情報の保護に関する責任者を配置しているか。	27	0
	個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか。	16	11
1   3  利用者 満足 の 向上	(1) 利用者の満足度向上のための相談・苦情対応体制の整備	はい	いいえ
	市町村の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。	27	0
	センターが受けた介護サービスに関する相談について、市町村に対して報告や協議を行う仕組みが設けられているか。	27	0
	(2) プライバシーの確保	はい	いいえ
	相談者のプライバシー確保に関する市町村の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。	27	0
2   1  総合 相談 支援	(1) 地域における関係機関・関係者のネットワーク構築	はい	いいえ
	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。	27	0
	(2) 相談事例の解決のための必要な対応	はい	いいえ
	相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか。	2	25
	相談事例の分類方法を、市町村と共有しているか。	27	0
	1年間の相談件数を市町村に報告しているか。	27	0
	相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から支援があったか。	27	0
	家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。	27	0

2   2 権利擁護	(1) 成年後見制度の活用の取組み	はい	いいえ
	成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準が、市町村から共有されているか。	27	0
	(2) 高齢者虐待への対応	はい	いいえ
	高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか。	27	0
	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。	26	1
	(3) 消費者被害の防止取組み	はい	いいえ
2   3 包括的・継続的ケアマネジメント支援	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。	27	0
	消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。	26	1
	(1) 介護支援専門員を支援するための体制構築	はい	いいえ
	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ（事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等）を把握しているか。	27	0
	介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか。	23	4
	介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市町村からの情報提供や、市町村による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。	27	0
	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を設けているか。	26	1
	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。	27	0
(2) 介護支援専門員に対する効果的な相談対応	はい	いいえ	
介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。	21	6	

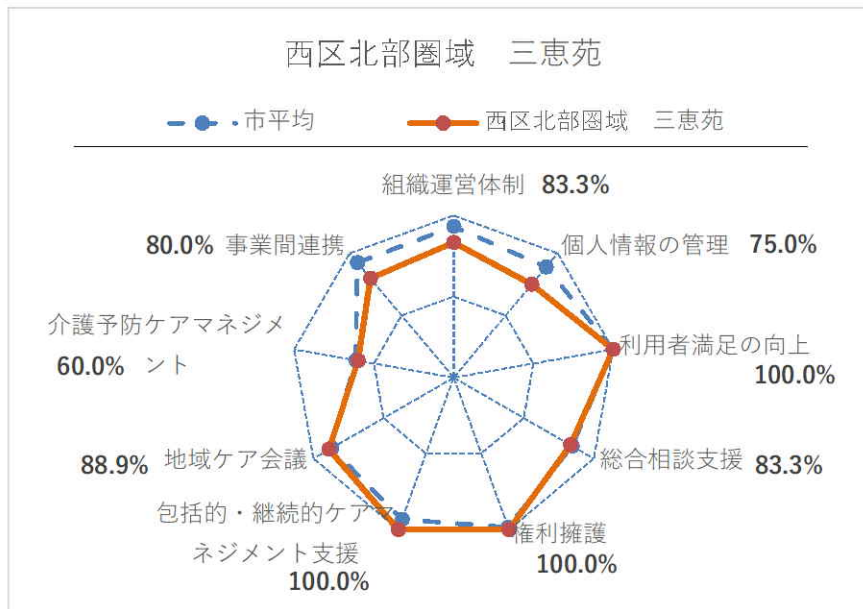
2   4 地 域 ケ ア 会 議	(1) 個別課題や地域課題の解決のための地域ケア会議の開催	はい	いいえ
	地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュール等を盛り込んだ開催計画が市町村から示されているか。	0	27
	センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。	26	1
	センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。	27	0
	センター主催の地域ケア会議において、個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより地域課題に関して検討しているか。	27	0
	(2) 個別事例や地域課題の解決のための地域ケア会議の活用	はい	いいえ
	センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	27	0
	市町村から示された地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。	26	1
	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。	27	0
	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。	25	2
センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。	27	0	
2   5 介 護 予 防 ケ ア マ ネ ジ メ ン ト ・ 介 護 予 防 支 援	(1) 自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント	はい	いいえ
	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市町村から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。	26	1
	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか。	27	0
	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか。	3	24
	(2) 介護予防ケアマネジメント等の委託の適正化	はい	いいえ
	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針が市町村から示されているか。	0	27
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。	27	0	

3 事業間連携		はい	いいえ
	医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。	25	2
	医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。	27	0
	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。	22	5
	認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。	24	3
生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。	27	0	

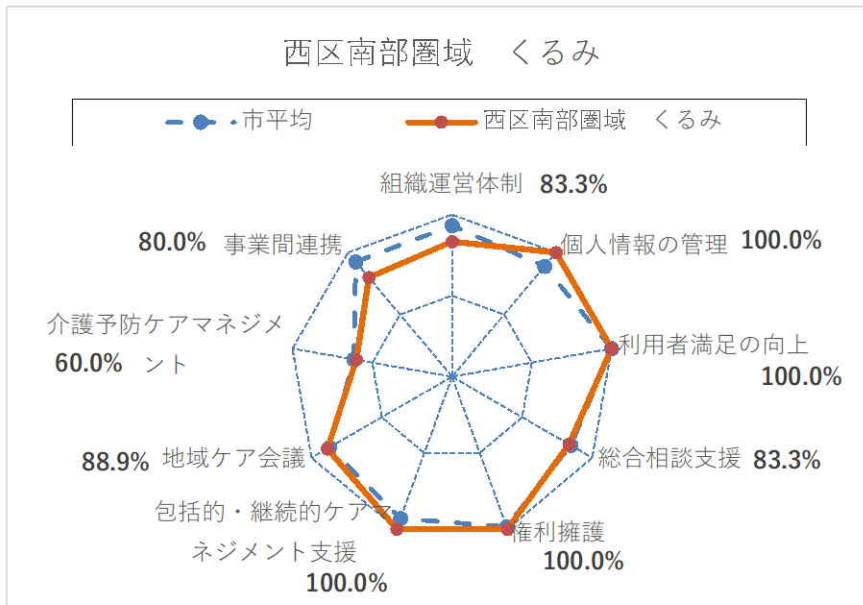
令和元年度さいたま市地域包括支援センター業務評価(圏域別)レーダーチャート



	市平均
1-1	11.2
1-2	3.6
1-3	3.0
2-1	5.1
2-2	4.9
2-3	5.6
2-4	7.9
2-5	3.1
3	4.6
合計	48.9



	三恵苑
1-1	10
1-2	3
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	6
2-4	8
2-5	3
3	4
合計	47

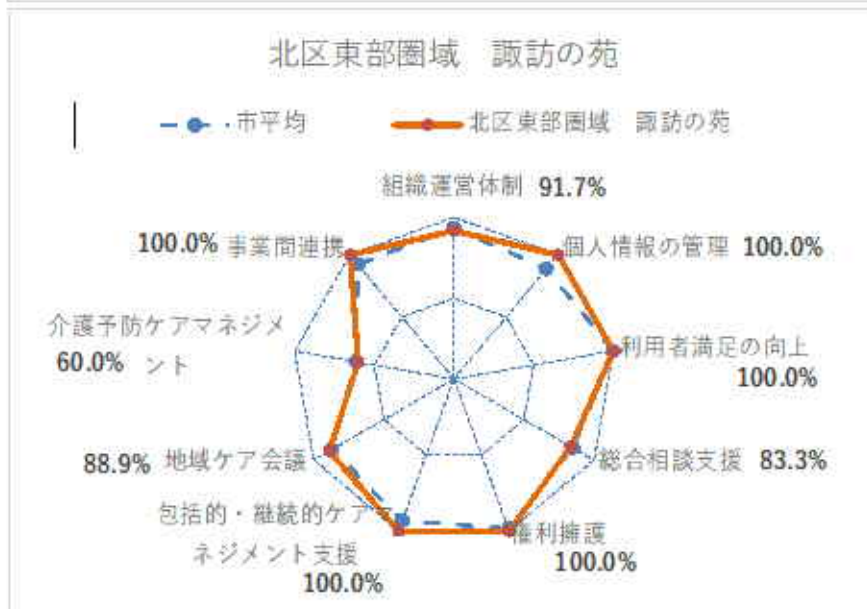


	くるみ
1-1	10
1-2	4
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	6
2-4	8
2-5	3
3	4
合計	48





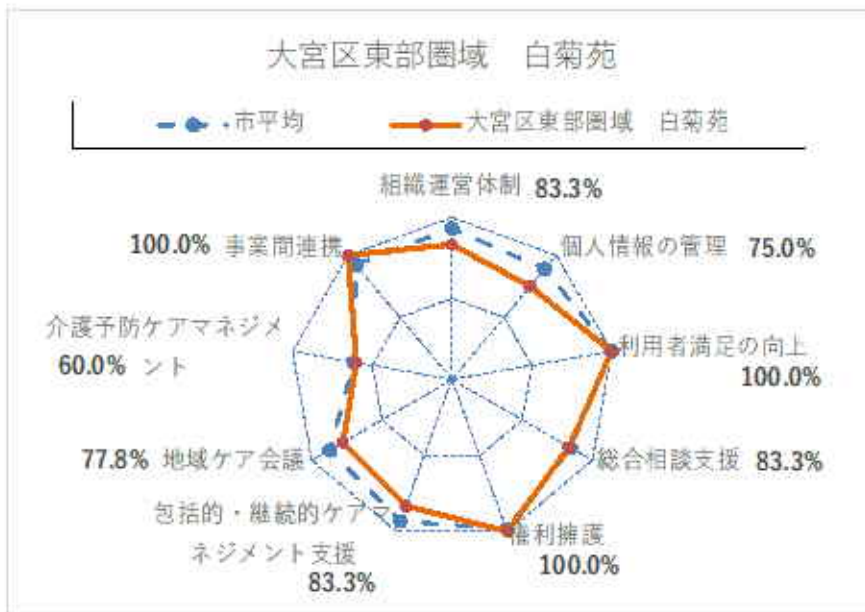
	緑水苑
1-1	12
1-2	4
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	6
2-4	8
2-5	3
3	5
合計	51



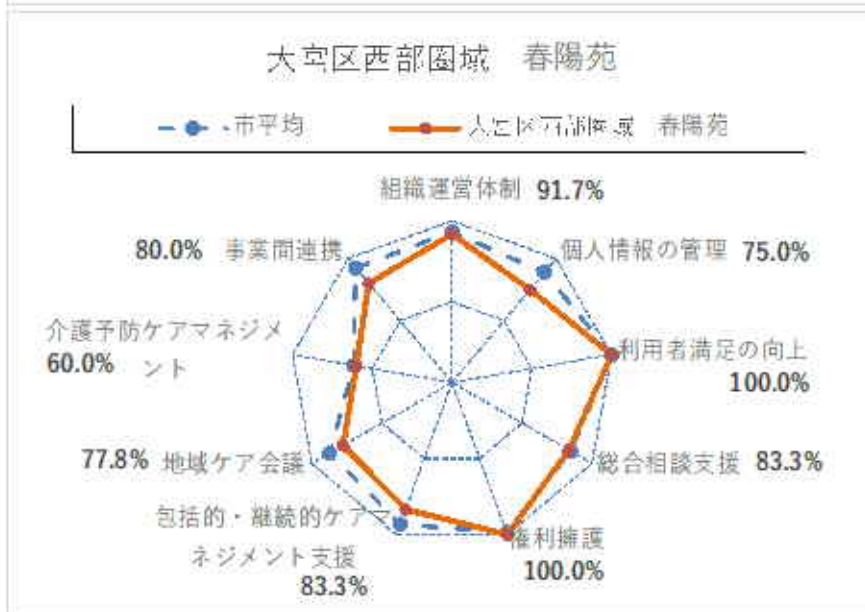
	諏訪の苑
1-1	11
1-2	4
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	6
2-4	8
2-5	3
3	5
合計	50



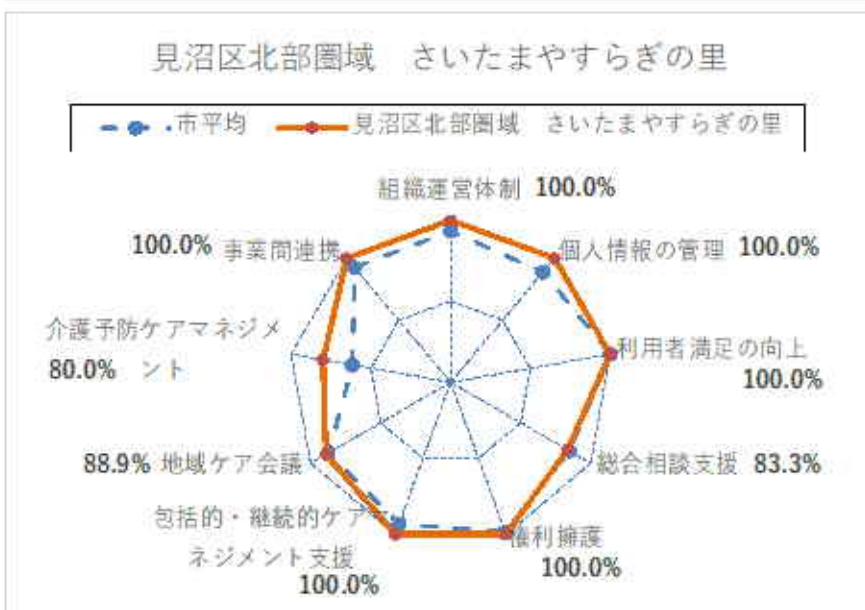
	ゆめの園
1-1	11
1-2	4
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	6
2-4	8
2-5	3
3	5
合計	50



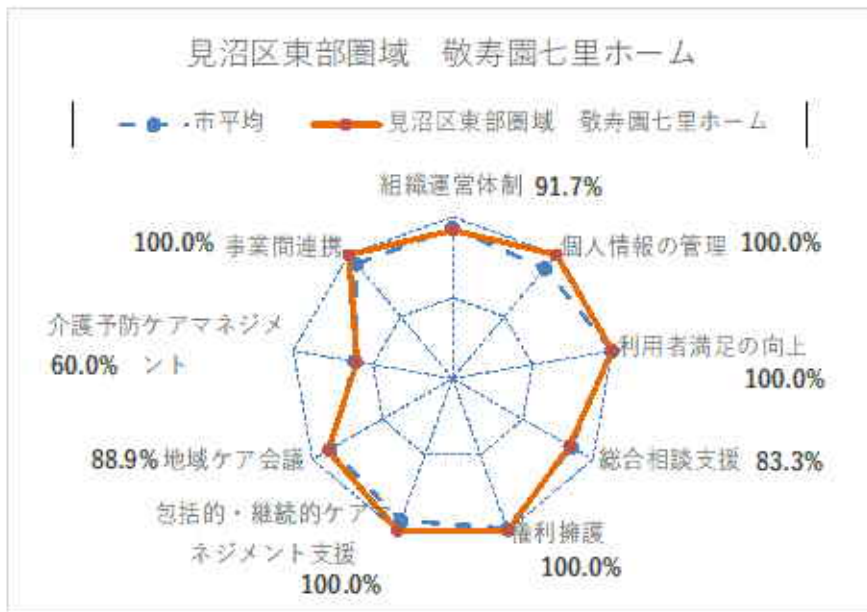
	白菊苑
1-1	10
1-2	3
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	5
2-4	7
2-5	3
3	5
合計	46



	春陽苑
1-1	11
1-2	3
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	5
2-4	7
2-5	3
3	4
合計	46



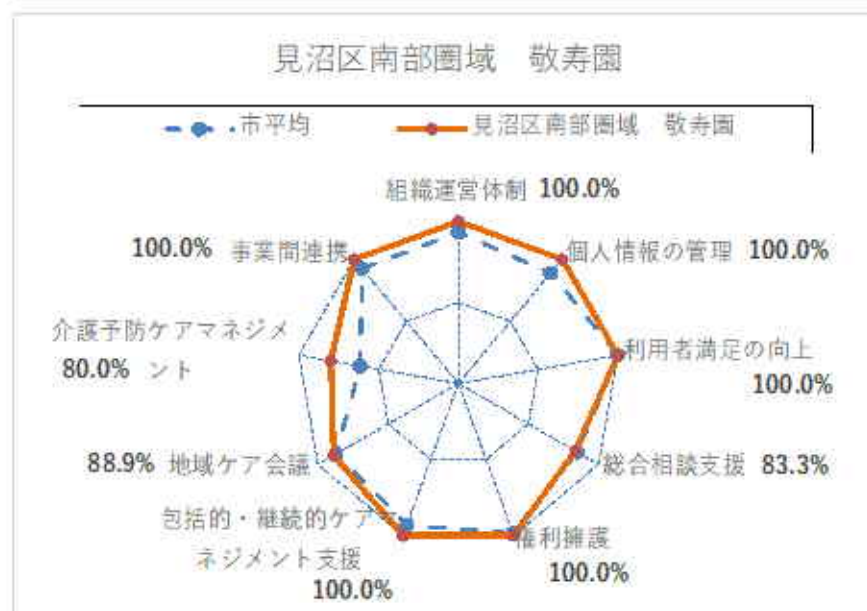
	さいたまやすらぎの里
1-1	12
1-2	4
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	6
2-4	8
2-5	4
3	5
合計	52



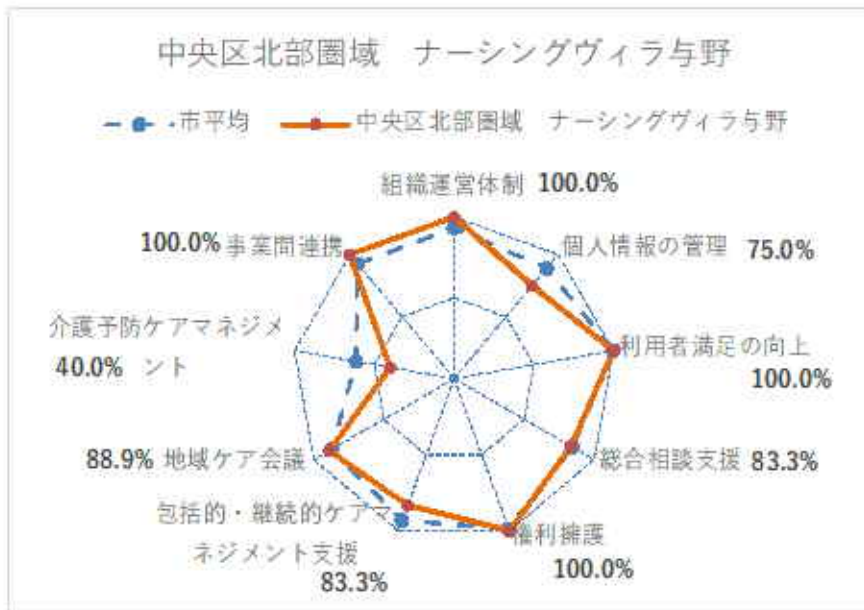
	敬寿園七里ホーム
1-1	11
1-2	4
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	6
2-4	8
2-5	3
3	5
合計	50



	大和田
1-1	12
1-2	3
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	5
2-4	8
2-5	3
3	4
合計	48



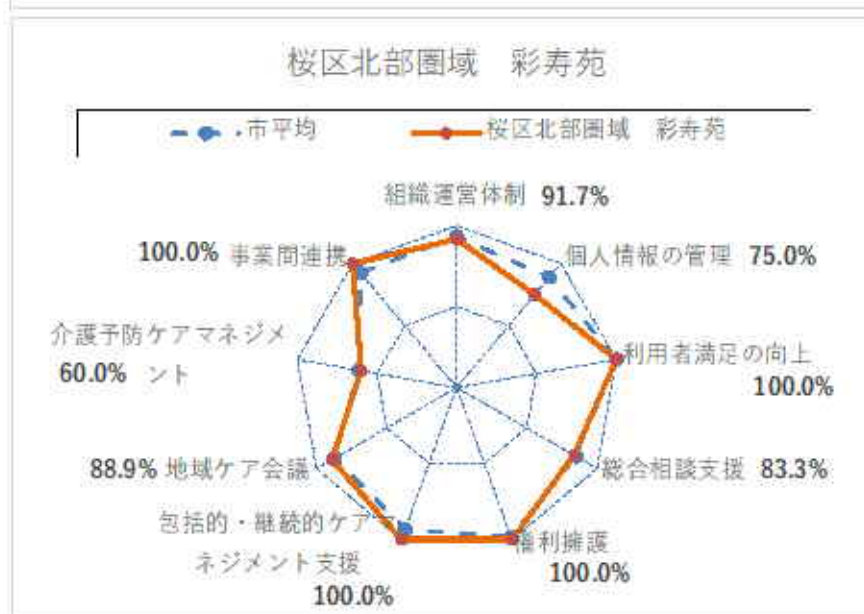
	敬寿園
1-1	12
1-2	4
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	6
2-4	8
2-5	4
3	5
合計	52



	ナーシングヴィラ与野
1-1	12
1-2	3
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	5
2-4	8
2-5	2
3	5
合計	48



	きりしき
1-1	11
1-2	3
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	6
2-4	8
2-5	3
3	4
合計	48



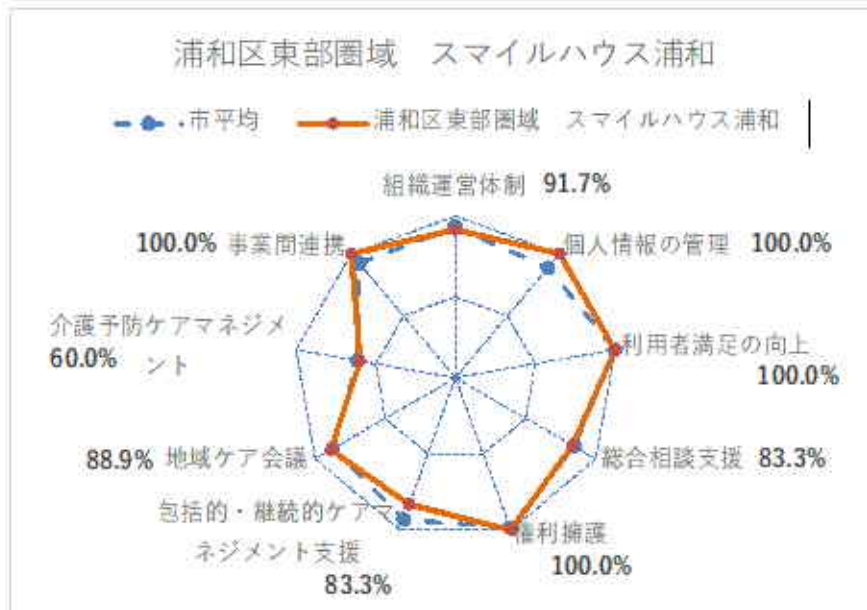
	彩寿苑
1-1	11
1-2	3
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	6
2-4	8
2-5	3
3	5
合計	49



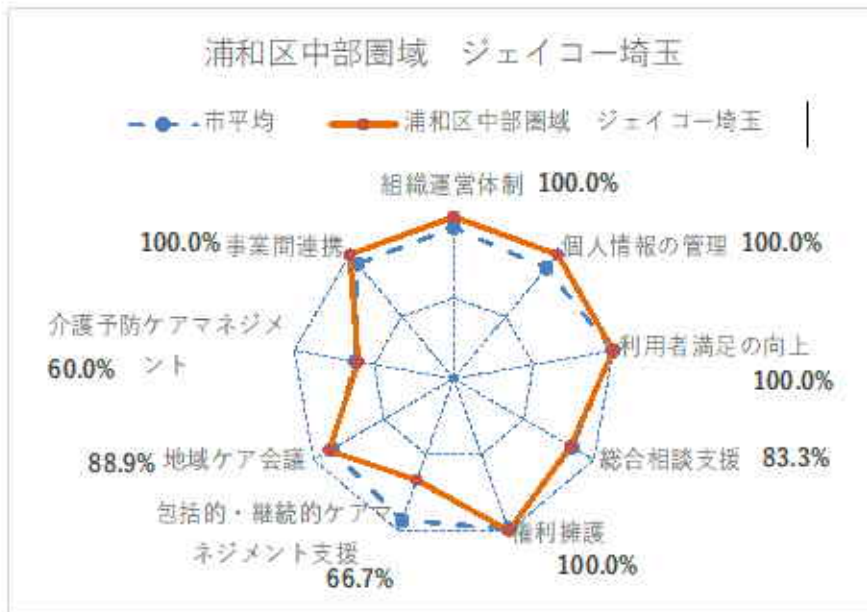
	ザイタック
1-1	12
1-2	3
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	5
2-4	8
2-5	3
3	5
合計	49



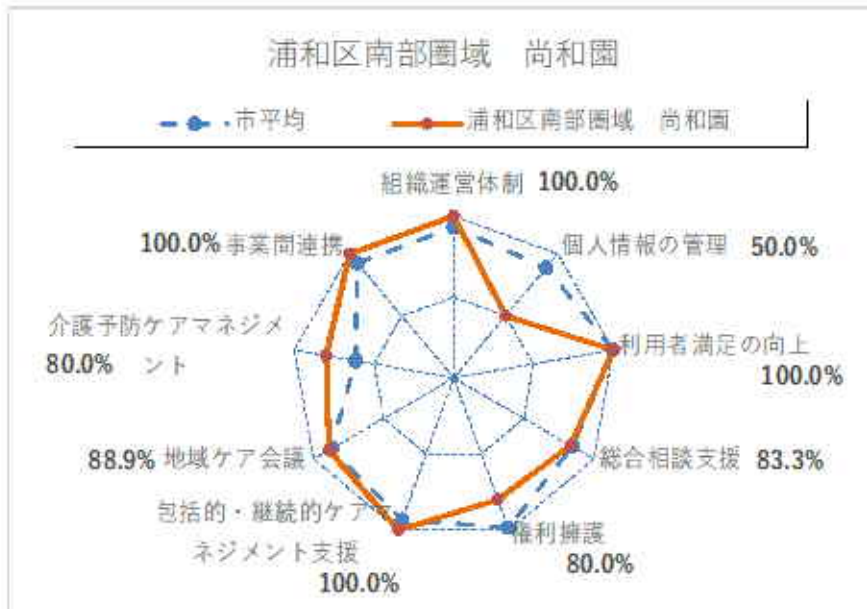
	かさい医院
1-1	11
1-2	4
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	6
2-4	7
2-5	3
3	5
合計	49



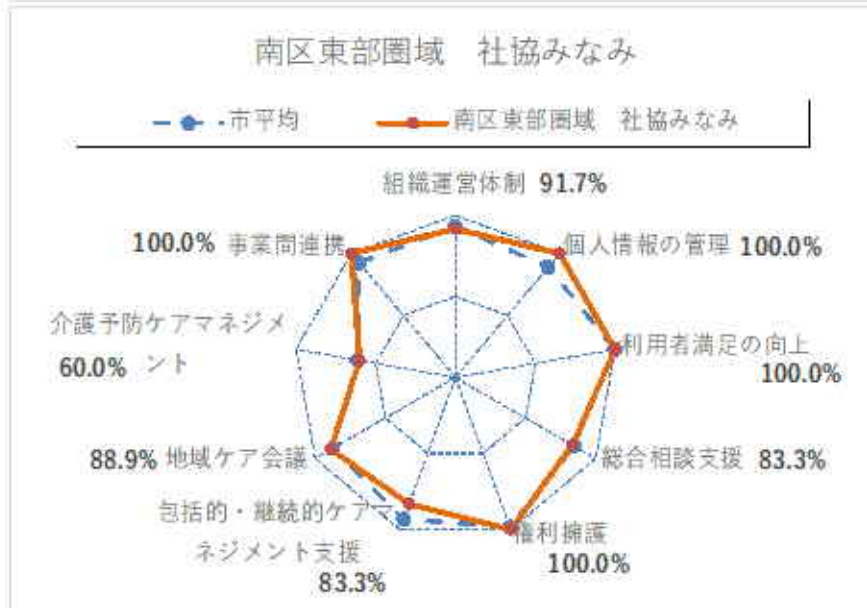
	スマイルハウス浦和
1-1	11
1-2	4
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	5
2-4	8
2-5	3
3	5
合計	49



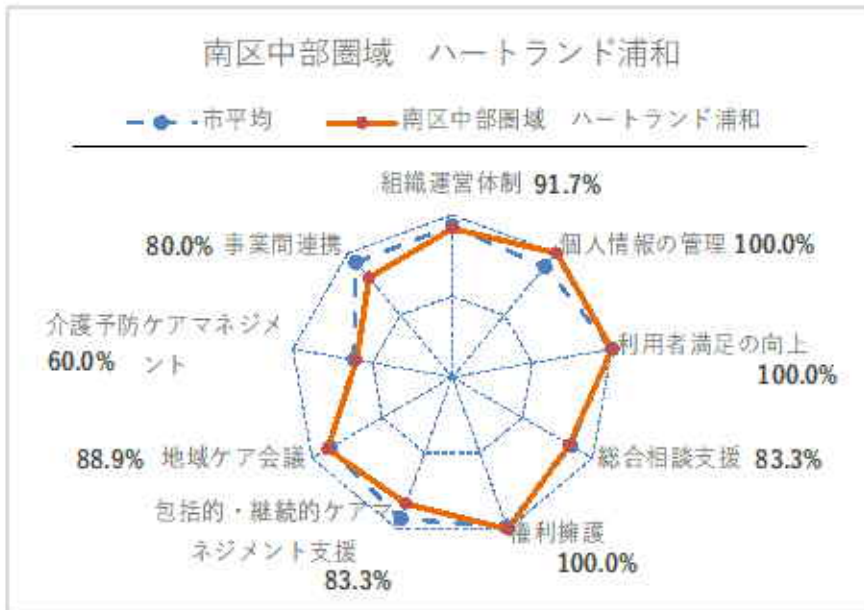
	ジェイコー埼玉
1-1	12
1-2	4
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	4
2-4	8
2-5	3
3	5
合計	49



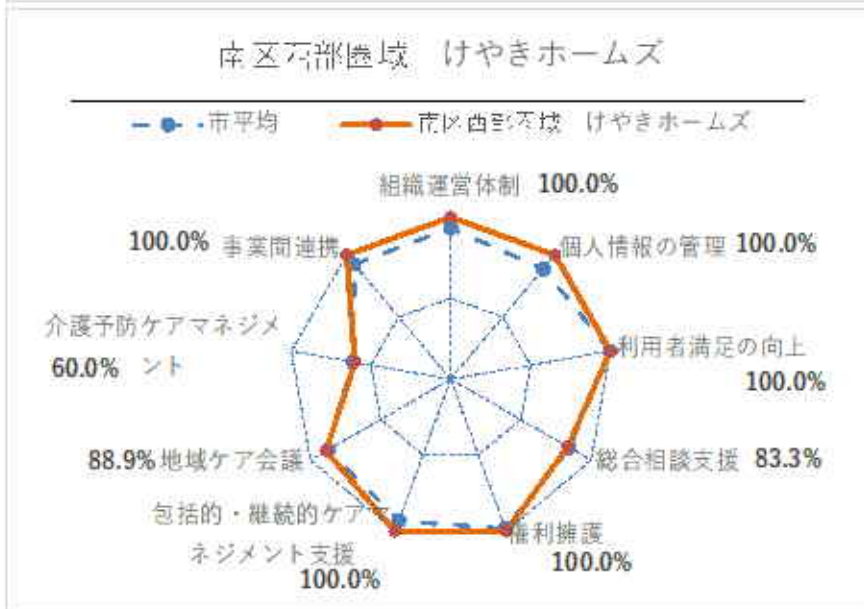
	尚和園
1-1	12
1-2	2
1-3	3
2-1	5
2-2	4
2-3	6
2-4	8
2-5	4
3	5
合計	49



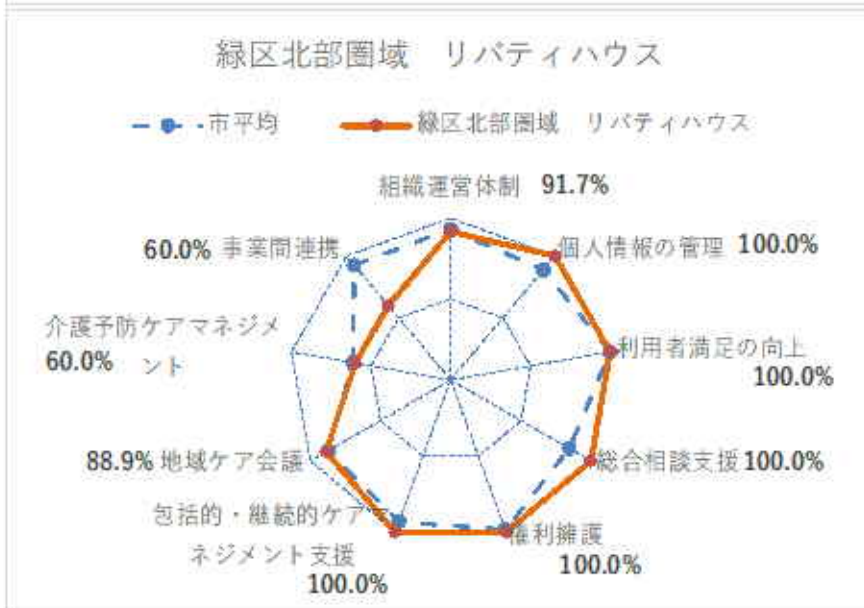
	社協みなみ
1-1	11
1-2	4
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	5
2-4	8
2-5	3
3	5
合計	49



	ハートランド浦和
1-1	11
1-2	4
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	5
2-4	8
2-5	3
3	4
合計	48



	けやきホームズ
1-1	12
1-2	4
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	6
2-4	8
2-5	3
3	5
合計	51



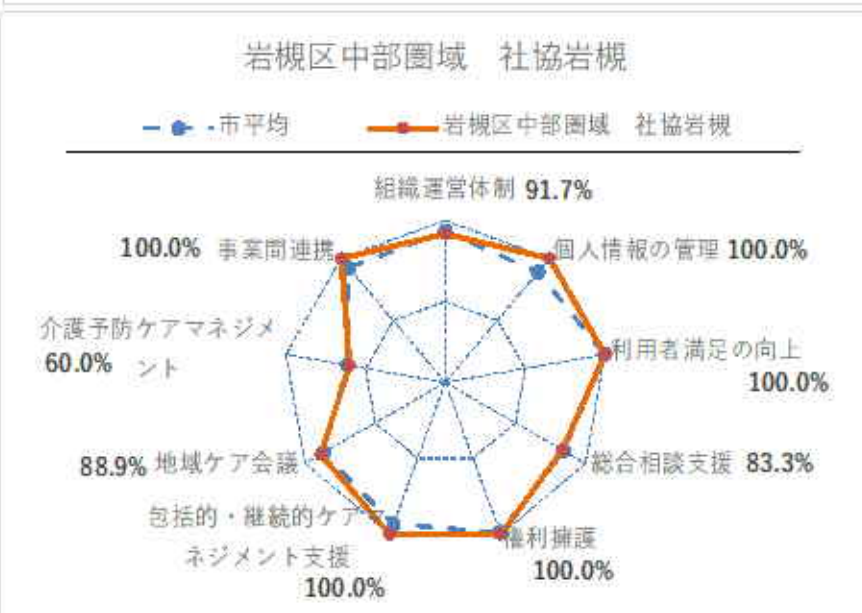
	リバティハウス
1-1	11
1-2	4
1-3	3
2-1	6
2-2	5
2-3	6
2-4	8
2-5	3
3	3
合計	49



	浦和しぶや苑
1-1	11
1-2	4
1-3	3
2-1	6
2-2	5
2-3	6
2-4	8
2-5	3
3	4
合計	50

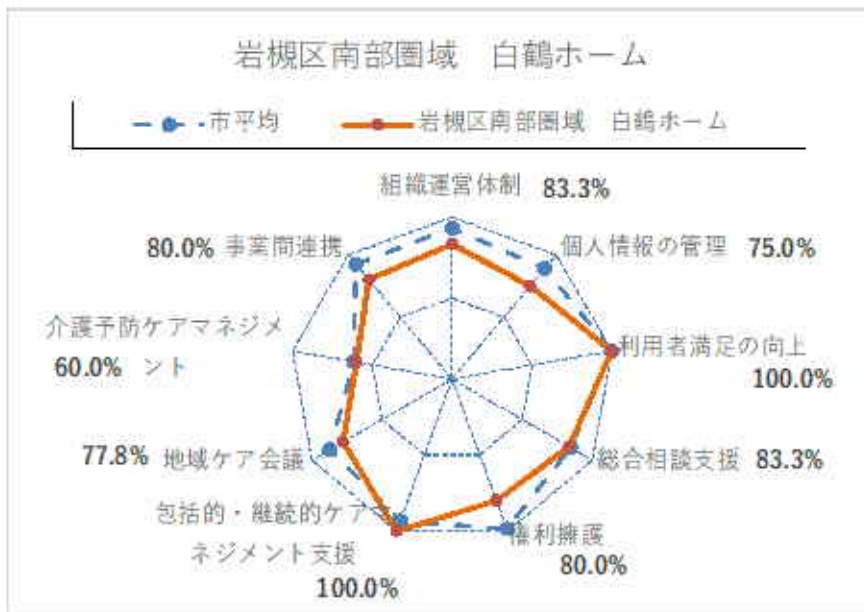


	松鶴園
1-1	11
1-2	3
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	5
2-4	8
2-5	3
3	5
合計	48



	社協岩槻
1-1	11
1-2	4
1-3	3
2-1	5
2-2	5
2-3	6
2-4	8
2-5	3
3	5
合計	50





	白鶴ホーム
1-1	10
1-2	3
1-3	3
2-1	5
2-2	4
2-3	6
2-4	7
2-5	3
3	4
合計	45

空白のページ

令和元年度

在宅介護支援センター

実績報告及び自己評価表について

令和元年度 さいたま市在宅介護支援センター実績報告

事業所名	総合相談			会議・地域福祉活動		実態把握 件数	在支ケアプラン	
	相談件数	実人数		活動件数	その内の 包括 連携件数		年間担当 実人数	支援件数 (延べ)
		延べ件数	年間実人数					
1 三恵苑	140	130	4	103	40	2	3	19
2 春陽苑	77	60	0	40	27	1	0	0
3 くるみ	55	55	0	45	45	1	5	46
4 中野林ゆめの園	81	81	15	59	36	0	0	0
5 学研ココファンしらかば	19	13	0	30	27	0	1	1
6 ザイタック大宮	73	73	1	25	17	1	8	73
7 ひばり	16	11	0	54	54	3	4	27
8 三橋そよ風	8	8	0	38	38	0	2	20
9 なごみ	23	17	0	55	55	2	4	39
10 見沼緑水苑	82	13	2	66	62	2	10	62
11 諏訪の苑	141	32	11	56	51	0	7	29
12 敬寿園	39	26	2	54	54	6	6	52
13 北与野ニチイ	33	30	17	18	9	4	1	1
14 桜丘そよ風	42	23	6	24	10	12	2	19
15 西与野	3	3	1	120	117	2	5	21
16 大久保	9	9	0	62	42	0	0	0
17 ニチイ浦和	3	3	0	82	81	0	12	93
18 すずのき	5	5	5	94	75	0	5	41
19 こうき	8	5	5	58	36	5	11	78
20 うらしん	169	164	56	23	3	6	0	0
21 アズミメディケアセンターさいたま	58	58	41	49	47	0	5	30
22 わかくさ	29	29	2	42	14	2	4	17
23 ニチイ南浦和	16	12	2	30	14	0	2	20
24 埼玉ライフサービス	12	10	2	40	23	0	5	24
25 けやきホームズ	10	8	0	52	22	4	4	10
26 スマイルハウス	12	10	0	54	27	0	0	0
27 白寿園	39	38	17	46	44	0	0	0
28 グリーンヒルうらわ	146	64	8	104	73	0	10	36
29 尚和園	89	74	32	49	49	0	0	0
30 白鶴ホーム	22	15	0	49	46	0	2	10
31 いわつき	3	3	3	60	47	28	5	32
32 岩槻そよ風	3	3	2	30	22	3	5	13
33 かけはし	5	5	2	42	20	2	17	136
34 岩槻まきば園	8	8	2	31	20	0	5	17
平均値	43.5	32.3	7.0	52.5	39.6	2.5	4.4	28.4
標準偏差	46.4	37.1	12.5	23.8	23.5	5.1	4.0	30.3

令和元年度 在宅介護支援センター自己評価表

区分	評価基準	達成度の評価	全体	西	北	大宮	見沼	中央	桜	浦和	南	緑	岩槻
運営体制	(1) ケアマネジャーやデイサービス職員等と兼務している場合でも、在宅介護支援センター業務との業務配分を心がけて取組んでいる	A:実施できている	29	3	3	0	4	3	2	2	4	3	5
		B:実施しているが不十分	5	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0
		C:実施できていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) 業務上知り得た秘密を他に漏らさず、また個人台帳等適切に管理している	A:実施できている	32	4	3	0	4	3	4	2	4	3	5
		B:実施しているが不十分	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
		C:実施できていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) 相談票・実態把握台帳等必要な書類を作成・整備し、実績を毎月10日までに地域包括支援センターに提出している	A:実施できている	31	3	3	1	4	3	4	2	4	3	4
		B:実施しているが不十分	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		C:実施できていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブランチ業務	(1) 在宅介護支援センターとして受けた相談等を地域包括センターに報告し、必要に応じ、支援方法の検討を行っている。	A:実施できている	26	4	3	0	3	3	0	2	3	4	4
		B:実施しているが不十分	7	0	0	1	1	0	4	0	0	0	1
		C:実施できていない	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	(1) 地域包括支援センターから調査や見守りの依頼を受けた場合は、積極的に対応し、その状況を地域包括支援センターに報告している。	A:実施できている	28	4	3	0	4	3	2	1	4	3	4
		B:実施しているが不十分	5	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1
		C:実施できていない	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	(2) 在支見守り・継続支援対象者の情報及び支援経過等について地域包括支援センターに報告、相談、必要に応じ、連携して対応している。	A:実施できている	28	4	3	0	3	3	3	2	3	3	4
		B:実施しているが不十分	4	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1
		C:実施できていない	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
	(3) 地域包括支援センターが開催する会議や講習会、介護相談会等に積極的に協力している。	A:実施できている	31	4	3	0	4	3	3	2	3	4	5
		B:実施しているが不十分	3	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0
		C:実施できていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(4) 地域住民や関係機関等に対しチラシの作成や地域での会合等への参加を通して、地域包括支援センターや在宅介護支援センターの所在・役割等を広報している。	A:実施できている	21	4	1	0	2	3	2	1	2	2	4	
	B:実施しているが不十分	13	0	2	1	2	0	2	1	2	2	1	
	C:実施できていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

空白のページ

令和 2 年度

さいたま市地域包括支援センター

予算状況について

令和2年度 地域包括支援センター予算状況

区	センター名	収入 (A)+(C)	支出 (B)+(D)	収支状況 (A)+(C)-(B)+(D)	他会計から 繰入 (A)	他会計へ 繰出 (B)	収入(C)				
							委託料収入		介護保険収入		雑収入
							包括的支援事業	認定調査委託料	要支援者ケアプラン等 作成手数料 (初回加算等含む)	介護保険住宅改修 理由書手数料	
西	北部圏域 三恵苑	65,623,309	65,009,311	613,998	0	0	38,334,139	0	27,278,370	10,800	0
	西区南部圏域 くるみ	57,209,950	56,442,512	767,438	0	0	35,138,136	0	22,054,534	17,280	0
北	北部圏域 緑水苑	57,511,259	57,511,259	0	0	0	35,228,139	0	22,112,520	17,600	153,000
	東部圏域 諏訪の苑	59,581,082	59,581,082	0	5,619,638	0	34,209,139	0	19,752,305	0	0
	西部圏域 ゆめの園	48,433,889	48,433,889	0			31,658,139	0	16,755,270	6,480	14,000
大宮	東部圏域 白菊苑	62,126,079	61,890,074	236,005			37,508,139	0	24,278,940	0	339,000
	西部圏域 春陽苑	61,180,979	61,180,979	0			38,628,139	0	22,530,840	22,000	0
見沼	北部圏域 さいたまやすらぎの里	38,063,129	38,508,868	-445,739			26,539,139	0	11,517,990	0	6,000
	東部圏域 敬寿園七里ホーム	50,776,911	50,580,911	196,000			30,589,139	21,600	19,790,532	8,640	367,000
	西部圏域 大和田	54,305,849	54,036,131	269,718			36,653,139	0	17,631,110	21,600	0
	南部圏域 敬寿園	63,502,738	63,438,000	64,738			38,728,139	44,000	24,708,599	22,000	0
中央	北部圏域 ナーシングヴィラ与野	52,273,514	52,273,514	0			30,918,139	0	21,062,775	6,600	286,000
	南部圏域 きりしき	51,489,579	51,489,579	0			34,028,139	0	17,461,440	0	0
桜	北部圏域 彩寿苑	45,108,950	45,108,950	0			25,630,000	0	19,478,950	0	0
	南部圏域 ザイタック	51,877,832	51,877,832	0			32,889,139	0	18,974,415	6,600	7,678
浦和	北部圏域 かさい医院	43,564,604	44,440,504	-875,900			27,984,139		15,534,645	4,320	41,500
	東部圏域 スマイルハウス浦和	45,804,562	47,231,780	-1,427,218			27,744,000		17,987,602	12,960	60,000
	中部圏域 ジェイコー埼玉	35,422,343	39,760,744	-4,338,401			23,908,139		11,502,204	0	12,000
	南部圏域 尚和園	46,221,000	46,221,000	0			31,728,000		14,451,750	10,800	30,450
南	東部圏域 社協みなみ	53,431,999	53,431,999	0			35,269,139		18,157,860	0	5,000
	中部圏域 ハートランド浦和	56,700,689	56,700,689	0			34,684,139		21,992,550	0	24,000
	西部圏域 けやきホームズ	45,578,494	45,578,494	0			30,310,639		15,257,055	10,800	0
緑	北部圏域 リバティハウス	56,183,139	54,964,190	1,218,949			34,528,139		21,655,000	0	0
	南部圏域 浦和しづや苑	58,095,916	58,887,220	-791,304			38,028,136		20,046,180	21,600	0
岩槻	北部圏域 松鶴園	55,444,699	53,369,280	2,075,419			34,528,139		20,435,560	0	481,000
	中部圏域 社協岩槻	41,613,619	41,613,619	0			27,124,139		14,478,480	0	11,000
	南部圏域 白鶴ホーム	49,425,339	49,425,339	0			31,004,139		18,421,050	0	150
合計		1,406,551,452	1,408,987,749	-2,436,297	5,619,638	0	883,519,830	65,600	515,308,526	200,080	1,837,778
平均		52,094,498	52,184,731	-90,233	208,135	0	32,722,957	2,430	19,085,501	7,410	68,066



令和2年度 地域包括支援センター予算状況

区	センター名	収入 (A)+(C)	支出 (B)+(D)	収支状況 (A)+(C)-(B)+(D)	他会計から 繰入 (A)	他会計へ 繰出 (B)	支出(D)					
							人件費 支出金額	事務費支出	事業費支出	委託料支出		減価償却費
										要支援者ケアプラン 作成委託料 (初回加算等含む)	払込手数料	
西	北部圏域 三恵苑	65,623,309	65,009,311	613,998	0	0	46,095,926	3,894,000	700,000	13,819,385	60,000	440,000
	西区南部圏域 くるみ	57,209,950	56,442,512	767,438	0	0	37,000,000	6,640,000	630,000	11,715,912	6,600	450,000
北	北部圏域 緑水苑	57,511,259	57,511,259	0	0	0	38,615,809	5,225,000	242,000	13,396,450	23,000	9,000
	東部圏域 諏訪の苑	59,581,082	59,581,082	0	5,619,638	0	35,802,500	8,827,652	1,120,000	13,203,930	0	627,000
	西部圏域 ゆめの園	48,433,889	48,433,889	0			32,676,600	5,559,887	343,000	9,771,005	0	83,397
大宮	東部圏域 白菊苑	62,126,079	61,890,074	236,005			39,329,564	7,237,000	5,340,000	9,983,510	0	0
	西部圏域 春陽苑	61,180,979	61,180,979	0			44,307,000	7,415,649	1,010,000	8,448,330	0	0
見沼	北部圏域 さいたまやすらぎの里	38,063,129	38,508,868	-445,739			28,947,890	3,945,000	1,410,000	4,205,978	0	0
	東部圏域 敬寿園七里ホーム	50,776,911	50,580,911	196,000			31,346,000	9,746,160	120,000	9,359,646	0	9,105
	西部圏域 大和田	54,305,849	54,036,131	269,718			39,278,571	5,010,000	483,000	8,584,560	0	680,000
	南部圏域 敬寿園	63,502,738	63,438,000	64,738			43,551,000	10,168,853	335,000	9,333,147	50,000	0
中央	北部圏域 ナーシングヴィラ与野	52,273,514	52,273,514	0			38,430,000	1,743,189	220,000	11,230,325	0	650,000
	南部圏域 きりしき	51,489,579	51,489,579	0			37,750,000	2,387,747	1,530,000	9,821,832	0	0
桜	北部圏域 彩寿苑	45,108,950	45,108,950	0			34,200,000	2,807,585	700,000	7,401,365	0	0
	南部圏域 ザイタック	51,877,832	51,877,832	0			31,432,256	6,489,196	323,305	13,633,075	0	0
浦和	北部圏域 かさい医院	43,564,604	44,440,504	-875,900			32,450,000	3,433,961	390,114	7,721,540	0	444,889
	東部圏域 スマイルハウス浦和	45,804,562	47,231,780	-1,427,218			26,834,115	6,468,090	320,000	13,409,575	0	200,000
	中部圏域 ジェイコー埼玉	35,422,343	39,760,744	-4,338,401			31,154,000	1,200,500	1,200	7,405,044	0	0
	南部圏域 尚和園	46,221,000	46,221,000	0			34,937,000	4,063,520	130,000	6,690,480	0	400,000
南	東部圏域 社協みなみ	53,431,999	53,431,999	0			37,490,000	7,854,211	175,000	7,912,788	0	0
	中部圏域 ハートランド浦和	56,700,689	56,700,689	0			36,540,000	6,033,869	365,000	13,571,820	20,000	170,000
	西部圏域 けやきホームズ	45,578,494	45,578,494	0			31,370,000	6,360,000	641,483	7,117,011	0	90,000
緑	北部圏域 リバティハウス	56,183,139	54,964,190	1,218,949			37,579,000	4,007,000	2,300,000	11,078,190	0	0
	南部圏域 浦和しぶや苑	58,095,916	58,887,220	-791,304			41,888,000	5,866,000	270,000	9,480,220	0	1,383,000
岩槻	北部圏域 松鶴園	55,444,699	53,369,280	2,075,419			37,261,760	3,758,000	600,000	11,749,520	0	0
	中部圏域 社協岩槻	41,613,619	41,613,619	0			29,585,000	5,165,619	260,000	6,603,000	0	0
	南部圏域 白鶴ホーム	49,425,339	49,425,339	0			31,331,000	8,892,419	650,000	8,551,920	0	0
合計		1,406,551,452	1,408,987,749	-2,436,297	5,619,638	0	967,182,991	150,200,107	20,609,102	265,199,558	159,600	5,636,391
平均		52,094,498	52,184,731	-90,233	208,135	0	35,821,592	5,562,967	763,300	9,822,206	5,911	208,755

空白のページ